



中心市街地（駅前・大門地区および
本町・五稜郭地区）

活性化基本計画事業効果分析調査報告書

目 次

目 次	1
■ 調査の目的	3
■ 調査の方法	3
■ 調査結果	4
第 I 章 市民アンケート	4
1. 調査概要	4
2. 集計結果	7
(1)回答者の属性	
問 1 性別	7
問 2 年齢	8
問 3 職業	9
問 4 居住地	11
(2)函館駅前・大門地区について	
問 5 函館駅前・大門地区に行く頻度	13
問 6 滞在時間	15
問 7 平日に訪れるときの主な目的	17
問 8 休日に訪れるときの主な目的	21
問 9 主な交通手段	25
問 10 誰と訪れるか	29
問 11 行かない理由	33
問 12 魅力あるイベントは増えたと思うか	37
問 13 魅力的な商業施設（商店・飲食店）は増えたと思うか	39
問 14 公共交通（路面電車・バス）を利用して訪れる機会は増えたか	41
問 15 賑やかになってきたと感じるか	43
問 16 住みたいと思うか	45
(3)本町・五稜郭地区について	
問 17 本町・五稜郭地区に行く頻度	47
問 18 滞在時間	49

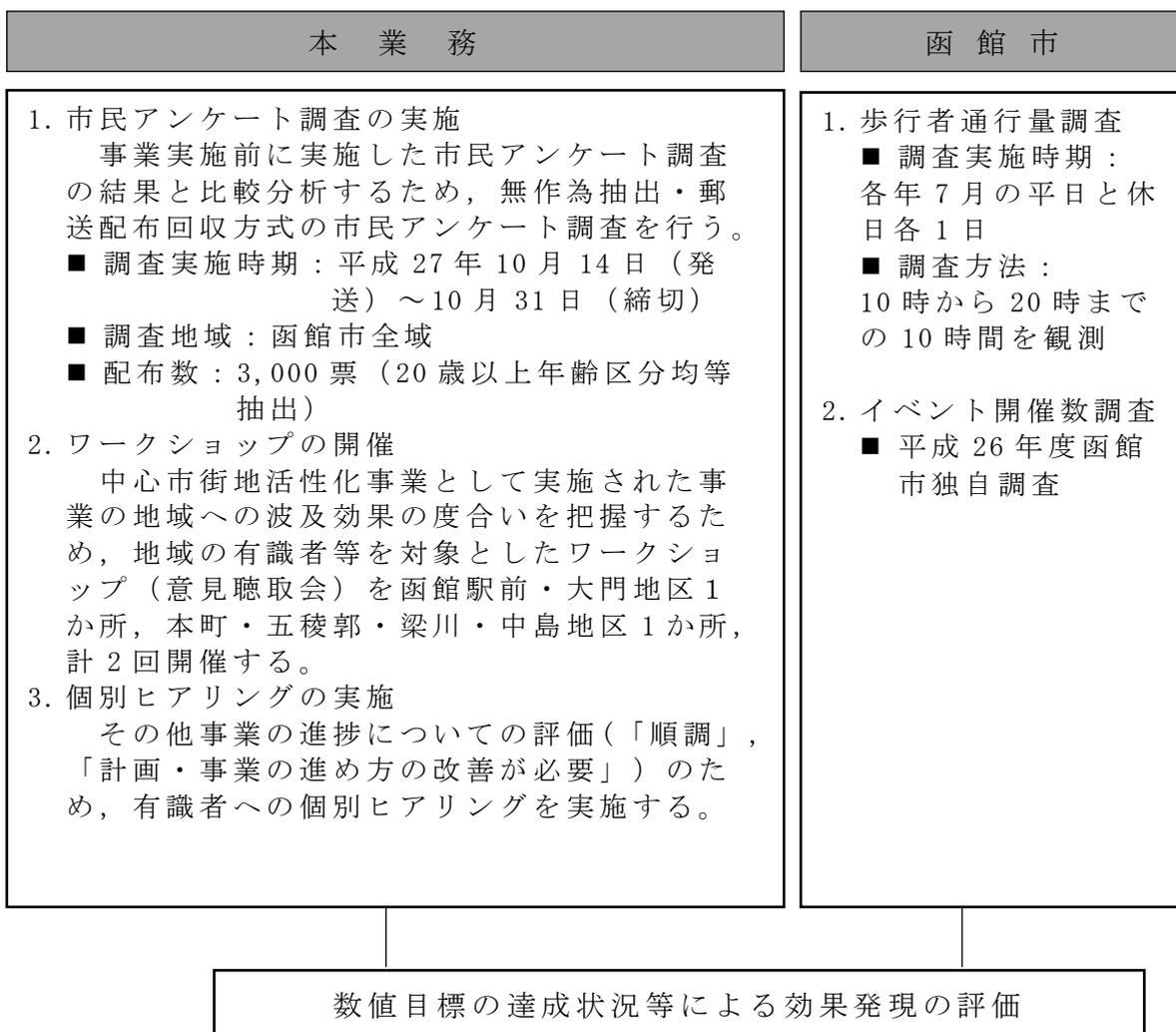
問 19	平日に訪れるときの主な目的	51
問 20	休日に訪れるときの主な目的	56
問 21	主な交通手段	60
問 22	誰と訪れるか	64
問 23	行かない理由	68
問 24	魅力あるイベントは増えたと思うか	72
問 25	魅力的な商業施設（商店・飲食店）は増えたと思うか ...	74
問 26	公共交通（路面電車・バス）を利用して訪れる機会は増えたか	76
問 27	賑やかになってきたと感じるか	78
問 28	住みたいと思うか	80
(4)自由記述		
問 29	中心市街地の活性化についての意見	82
第 II 章	地域有識者等を対象としたワークショップ ..	84
■	函館駅前・大門地区ワークショップ	84
■	本町・五稜郭地区ワークショップ	86
第 III 章	有識者への個別ヒアリング	87
第 IV 章	函館市調査	89
第 V 章	まとめ	91
■	数値目標の達成状況等による効果発現の評価（都市再生整備計画 定量指標との比較）	91
■	別の定量的な指標を用いた効果発現の評価（前回アンケート調査結果との比較考察）	91
■	来街頻度・目的および賑やかさについて（函館駅前・大門地区） ...	91
■	来街頻度・目的および賑やかさについて（本町・五稜郭地区）	94
第 VI 章	参考資料	98

■ 調査の目的

本業務は、社会資本整備総合交付金をもたらした成果等を客観的に検証するため、函館市中心市街地活性化基本計画（平成25年度～平成29年度）に基づき策定している中心市街地地区都市再生整備計画の中間評価として、事業効果分析調査を実施するものである。

■ 調査の方法

調査は次の手順で進める。



■ 調査結果

第 I 章 市民アンケート

1. 調査概要

■ アンケート調査実施時期

平成27年10月14日（発送）～10月31日（締切）（18日間）

※11月6日までに届いた回答を集計

■ 調査地域 函館市全域

■ 調査対象 平成27年8月末現在の住民基本台帳に登録されている満20歳以上の住民

■ 標本数 3,000人

■ 抽出方法 平成21年度に行ったアンケート調査に基づき、各年齢区分の回答数がほぼ均等になるよう、年齢区分別配布比率を決定し、無作為抽出した。

■ 調査方法 調査票を郵送し、回収も郵送にて行った。

■ 回収数 1,066通

■ 回収率 35.5%

■ 年齢別回収状況

年齢区分	対象者数(人)	有効回収数(人)	有効回収率(%)
函館市	3,000	1,066	35.5
20～29歳	1,000	253	25.3
30～39歳	600	212	35.3
40～49歳	500	184	36.8
50～59歳	450	208	46.2
60歳以上	450	208	46.2
無回答	—	1	—

1. 地域区分

新総合計画の地域区分とした

地域区分		町名
①西部地区		入舟町, 船見町, 弥生町, 弁天町, 大町, 末広町, 元町, 青柳町, 谷地頭町, 住吉町, 宝来町, 東川町, 豊川町, 大手町, 栄町, 旭町, 東雲町, 大森町, 松風町, 若松町
②中央部地区		千歳町, 新川町, 上新川町, 海岸町, 大縄町, 松川町, 万代町, 亀田町, 大川町, 田家町, 白鳥町, 八幡町, 宮前町, 中島町, 千代台町, 堀川町, 高盛町, 宇賀浦町, 日乃出町, 的場町, 時任町, 杉並町, 本町, 梁川町, 五稜郭町, 柳町, 松陰町, 人見町, 金堀町, 乃木町, 柏木町
③東央部地区		川原町, 深堀町, 駒場町, 広野町, 湯浜町, 湯川町1丁目, 湯川町2丁目, 湯川町3丁目, 戸倉町, 榎本町, 花園町, 日吉町1丁目, 日吉町2丁目, 日吉町3丁目, 日吉町4丁目, 上野町, 高丘町, 滝沢町, 見晴町, 鈴蘭丘町, 上湯川町, 銅山町, 旭岡町, 西旭岡町1丁目, 西旭岡町2丁目, 西旭岡町3丁目, 鱒川町, 寅沢町, 三森町, 紅葉山町, 庵原町, 亀尾町, 米原町, 東畑町, 鉄山町, 蛾眉野町, 根崎町, 高松町, 志海苔町, 瀬戸川町, 赤坂町, 銭亀町, 中野町, 新湊町, 石倉町, 古川町, 豊原町, 石崎町, 鶴野町, 白石町
④北東部地区		富岡町1丁目, 富岡町2丁目, 富岡町3丁目, 中道1丁目, 中道2丁目, 山の手1丁目, 山の手2丁目, 山の手3丁目, 本通1丁目, 本通2丁目, 本通3丁目, 本通4丁目, 鍛冶1丁目, 鍛冶2丁目, 陣川町, 陣川1丁目, 陣川2丁目, 神山町, 神山1丁目, 神山2丁目, 神山3丁目, 東山町, 東山1丁目, 東山2丁目, 東山3丁目, 美原1丁目, 美原2丁目, 美原3丁目, 美原4丁目, 美原5丁目, 赤川町, 赤川1丁目, 亀田中野町, 北美原1丁目, 北美原2丁目, 北美原3丁目, 水元町, 亀田大森町, 石川町, 昭和1丁目, 昭和2丁目, 昭和3丁目, 昭和4丁目, 亀田本町
⑤北部地区		浅野町, 吉川町, 北浜町, 港町1丁目, 港町2丁目, 港町3丁目, 追分町, 桔梗町, 桔梗1丁目, 桔梗2丁目, 桔梗3丁目, 桔梗4丁目, 桔梗5丁目, 西桔梗町, 昭和町, 亀田港町
⑥東部地区	戸井地区	小安町, 小安山町, 釜谷町, 汐首町, 瀬田来町, 弁才町, 泊町, 館町, 浜町, 新二見町, 原木町, 丸山町
	恵山地区	日浦町, 吉畑町, 豊浦町, 大潤町, 中浜町, 女那川町, 川上町, 日和山町, 高岱町, 日ノ浜町, 古武井町, 恵山町, 柏野町, 御崎町
	楯法華地区	恵山岬町, 元村町, 富浦町, 島泊町, 新恵山町, 絵紙山町, 新八幡町, 新浜町, 銚子町
	南茅部地区	古部町, 木直町, 尾札部町, 川汲町, 安浦町, 白尻町, 豊崎町, 大船町, 双見町, 岩戸町

2. 地域別回収状況

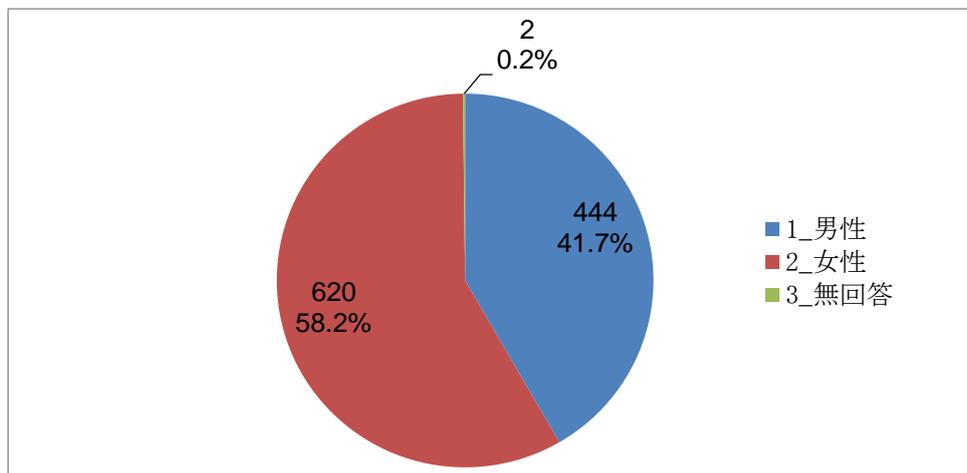
地域区分	対象者数(人)	有効回収数(人)	有効回収率(%)
函館市	3,000	1,066	35.5
西部地区	203	76	37.4
中央部地区	603	202	33.5
東央部地区	591	226	38.2
北東部地区	1,082	355	32.8
北部地区	397	165	41.6
東部地区	124	26	21.0
未回答	—	16	—

2. 集計結果

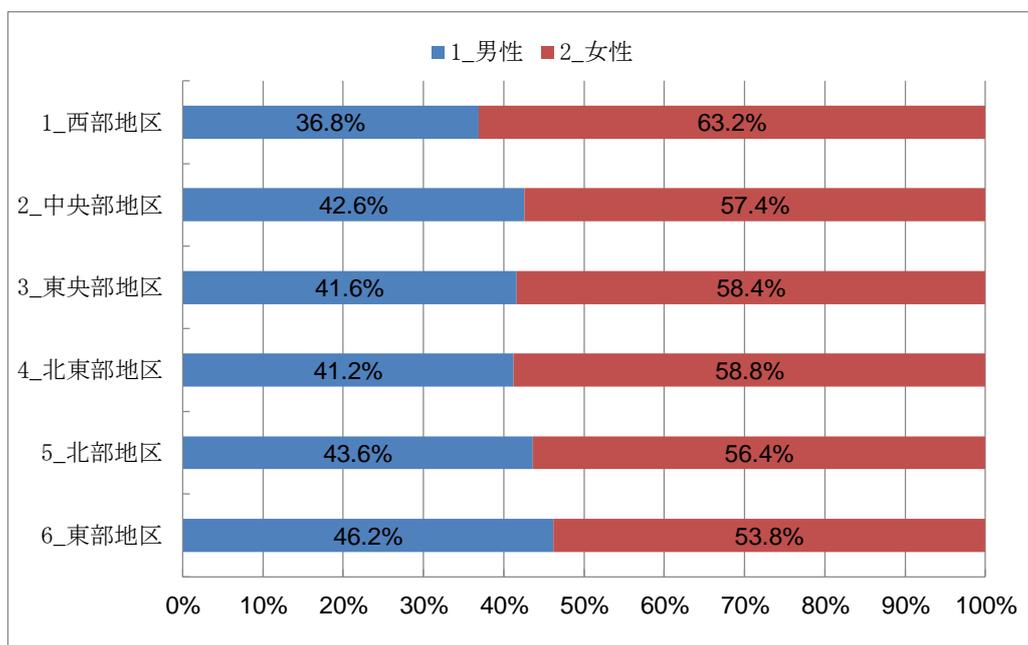
【回答者の属性】

問 1 性別を教えてください

(全体)



(地域別)

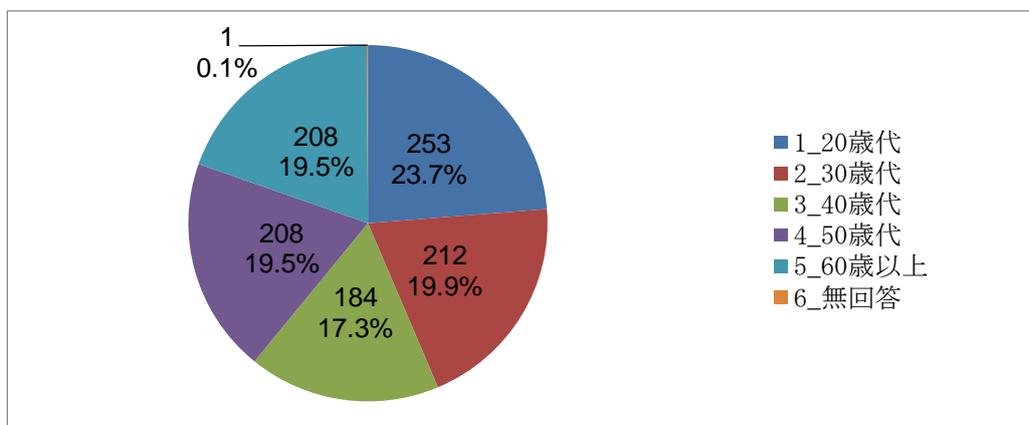


※無回答 2 名については、0.1%に満たないため、グラフ上表れない。

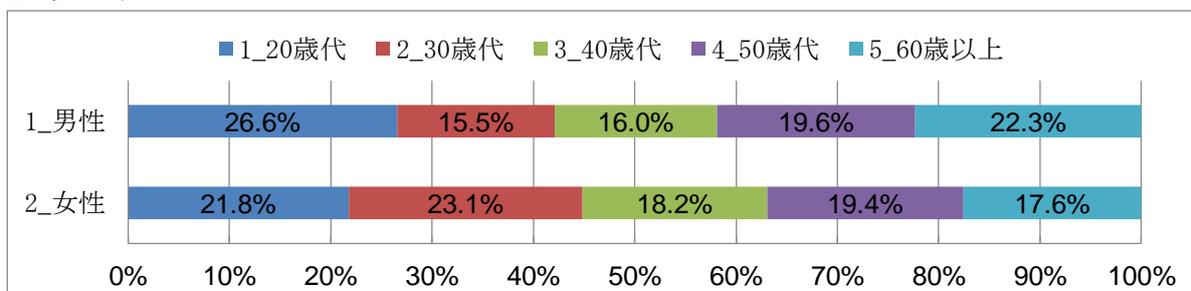
- 回答者の性別は地域別にみると、おおむね均等な割合で回答を得ることができた。

問 2 年齢を教えてください

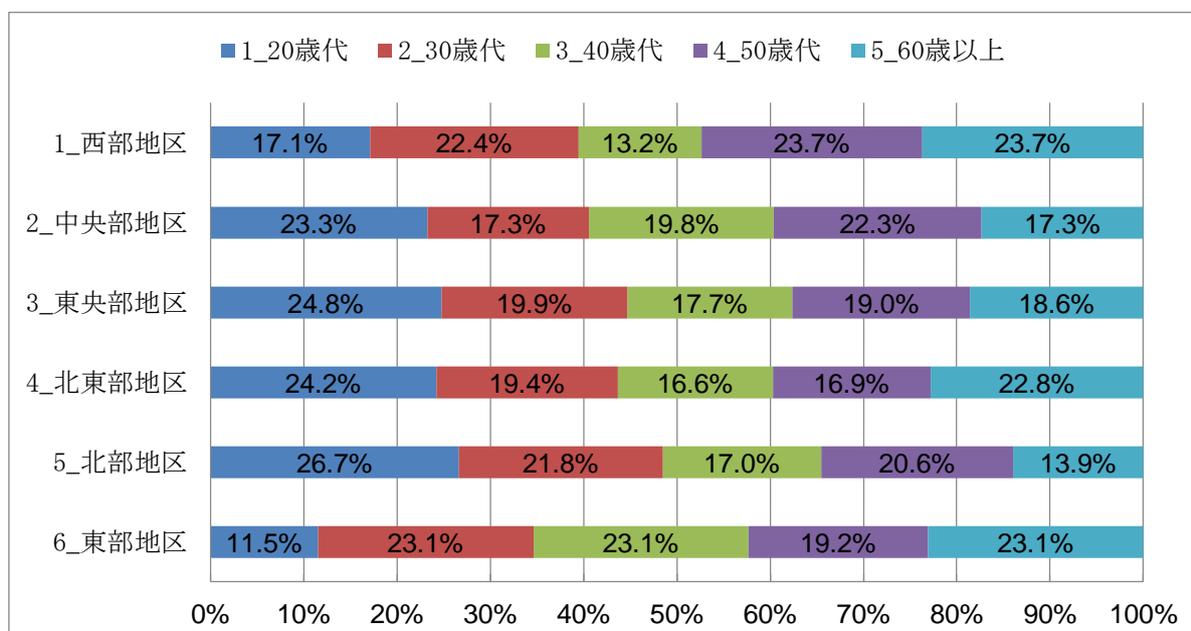
(全体)



(男女別)



(地域別)

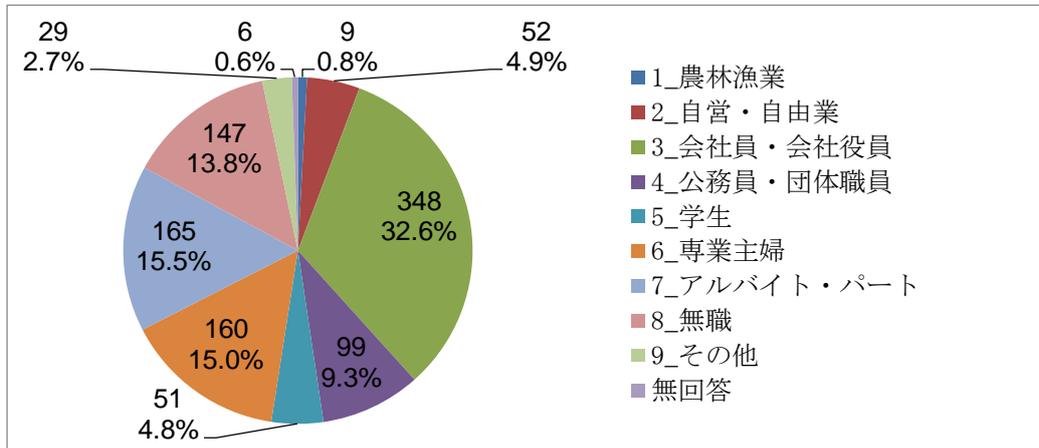


- 回答者の年齢は、男女別にみると、どの年代からもおおむね均等な割合で回答を得ることができた。地域別にみても、すべての年代からバランスよく回答を得られている。

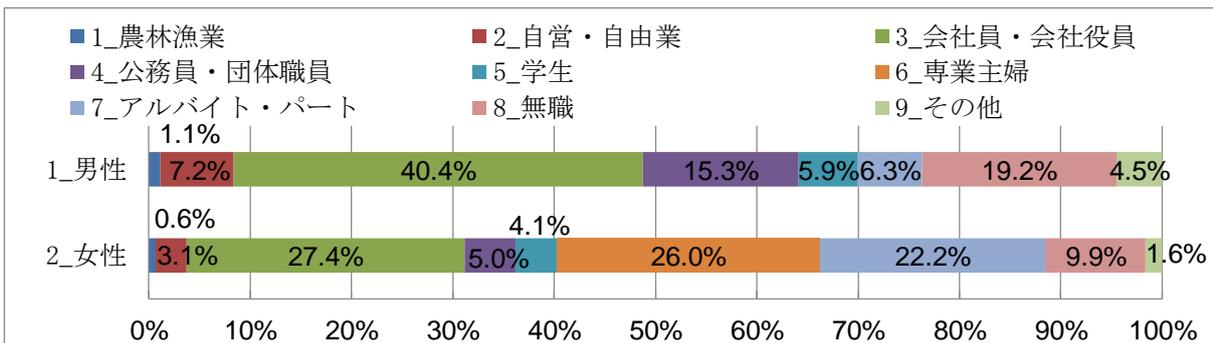
問3 職業を教えてください

1. 農林漁業 2. 自営・自由業 3. 会社員・会社役員
 4. 公務員・団体職員 5. 学生 6. 専業主婦
 7. アルバイト・パート 8. 無職 9. その他

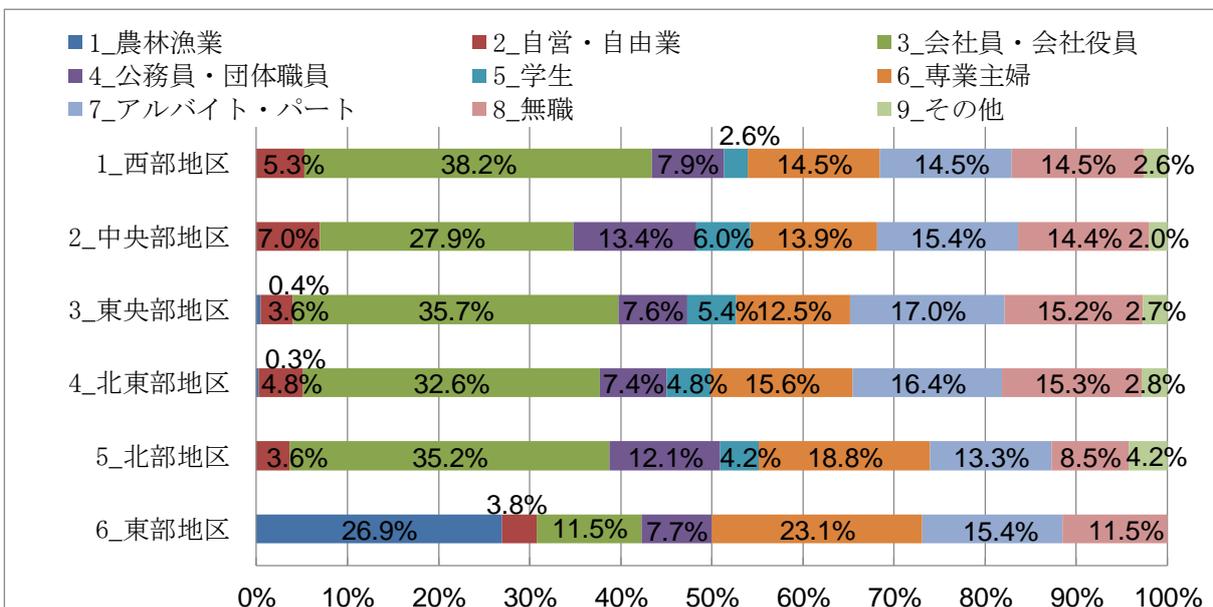
(全体)



(男女別)



(地域別)



(その他)

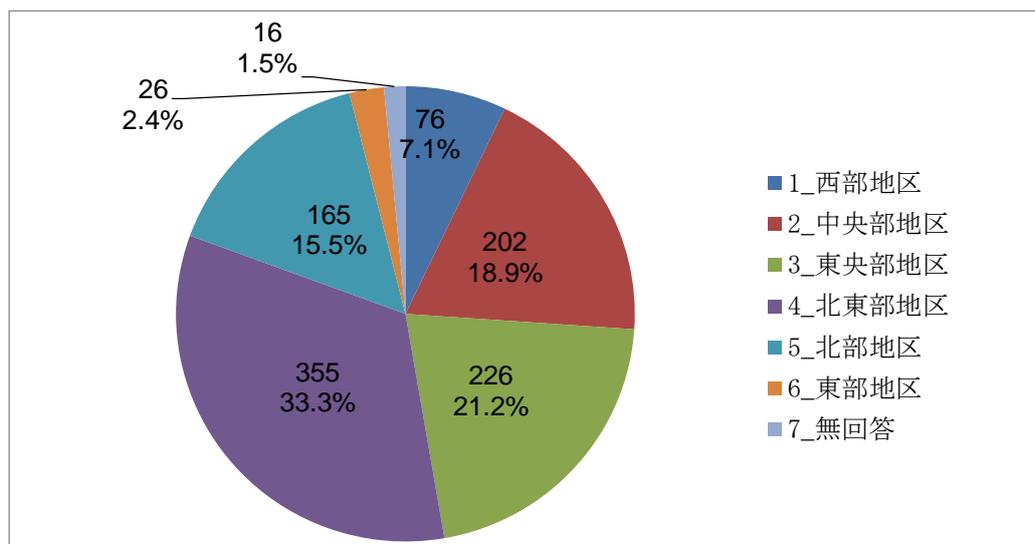
分 類	意見数	比率 (%)
医療従事者	6	20.7%
運転手	2	6.9%
サービス業店員	1	3.5%
介護職員	1	3.5%
技術職	1	3.5%
教員	1	3.5%
型枠大工	1	3.5%
建設業	1	3.5%
作業所通所	1	3.5%
支援員	1	3.5%
整備士(車)	1	3.5%
非常勤講師	1	3.5%
無回答	11	37.9%
合 計	29	100.0%

- ・ 回答者の職業は、「会社員・会社役員」が348人（32.6%）で最も多かった。
- ・ 回答者の性別に分けて集計すると、男性では「会社員・会社役員」が40.4%と最も多く、次いで「無職」（19.2%）、「公務員・団体職員」（15.3%）であった。
- ・ 女性回答者については、「会社員・会社役員」（27.4%）で最も多く、次いで「専業主婦」（26.0%）、「アルバイト・パート」（22.2%）であった。
- ・ 回答者の職業を地域別にみると、東部地区に関しては「農林漁業」が（26.9%）と最も多く、他地域が1%未満なのに対して特徴的であった。
- ・ その他の回答では「医療従事者」が6人（20.7%）で最も多く見られた。
- ・ その他の回答では職種の記載のないものが11件あった。

問 4 お住まいの町名を教えてください。

(全体)

町名	回答者数	町名	回答者数	町名	回答者数
入舟町	5	時任町	5	山の手	29
船見町	3	杉並町	3	本通	31
弥生町	2	本町	8	鍛冶	28
弁天町	3	梁川町	4	陣川町	19
大町	3	五稜郭町	6	神山・神山町	15
末広町	9	柳町	5	東山・東山町	23
元町	4	松陰町	12	美原	59
青柳町	10	人見町	2	赤川・赤川町	11
谷地頭町	6	金堀町	4	亀田中野町	3
住吉町	3	乃木町	3	北美原	19
宝来町	6	柏木町	16	石川町	18
東川町	5	戸倉町	4	昭和・昭和町	27
豊川町	5	榎本町	5	亀田本町	8
大手町	1	花園町	13	吉川町	6
栄町	3	川原町	4	北浜町	3
旭町	1	深堀町	19	港町	32
大森町	4	駒場町	10	追分町	11
松風町	1	広野町	7	桔梗・桔梗町	68
若松町	2	湯浜町	7	西桔梗町	18
千歳町	2	湯川町	20	昭和・昭和町	12
新川町	8	日吉町	54	亀田港町	15
上新川町	2	上野町	7	小安町	2
海岸町	7	高丘町	12	汐首町	1
大縄町	1	滝沢町	1	泊町	2
松川町	4	見晴町	3	浜町	1
万代町	8	上湯川町	7	大澗町	1
亀田町	5	旭岡町	1	中浜町	1
大川町	9	西旭岡町	23	恵山町	3
田家町	18	東畑町	1	新八幡町	1
白鳥町	8	根崎町	2	新浜町	2
八幡町	8	高松町	10	古部町	1
宮前町	4	志海苔町	1	尾札部町	3
中島町	6	瀬戸川町	3	川汲町	1
千代台町	11	銭亀町	6	安浦町	2
堀川町	6	新湊町	1	臼尻町	1
高盛町	7	古川町	2	大船町	3
宇賀浦町	7	石崎町	3	双見町	1
日乃出町	4	富岡町	47		
的場町	9	中道	18	総計	1,050



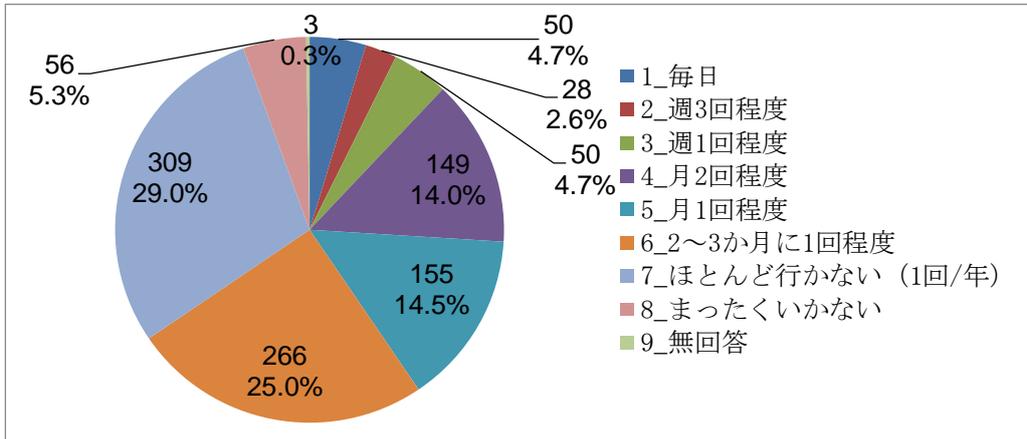
- ・ 回答者が住む町について聞いたところ、全115の町名が確認できた。
- ・ 最も回答が多かった町は「桔梗・桔梗町」で68人であった。
- ・ 回答者が住む町を地域別に区分すると、最も多い地区は「北東部地区」で355人（33.3%）であった。次いで「東央部地区」が226人（21.2%）であった。
- ・ その他の地区をみると、「中央部地区」202人（18.9%）、「北部地区」165人（15.5%）、「西部地区」が76人（7.1%）、「東部地区」は26人（2.4%）となっている。特に東部地区については、回答率21%と低くなっているが、他の地区は全ての地区で30%以上の回答率となっている。

【函館駅前・大門地区についておたずねします。】

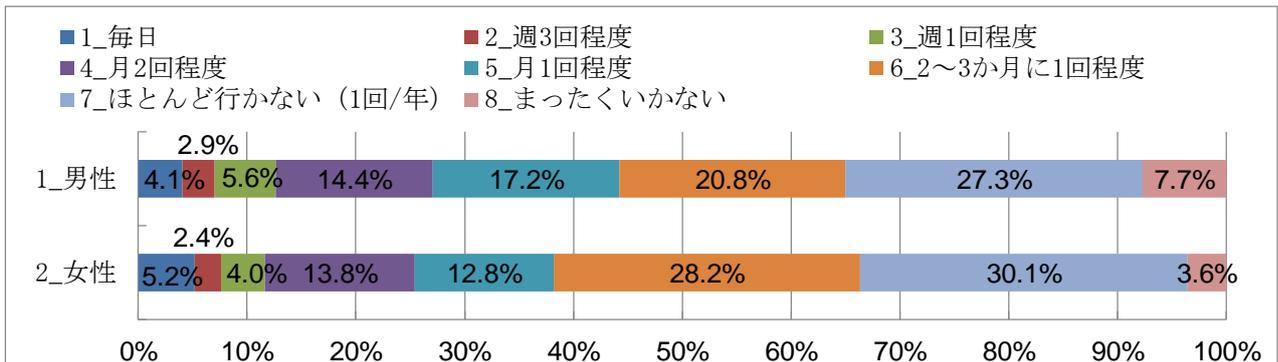
問5 どれくらいの頻度で函館駅前・大門地区に行きますか

1. 毎日 2. 週3回程度 3. 週1回程度
 4. 月2回程度 5. 月1回程度 6. 2～3ヶ月に1回程度
 7. ほとんど行かない（年に1回程度） 8. まったく行かない

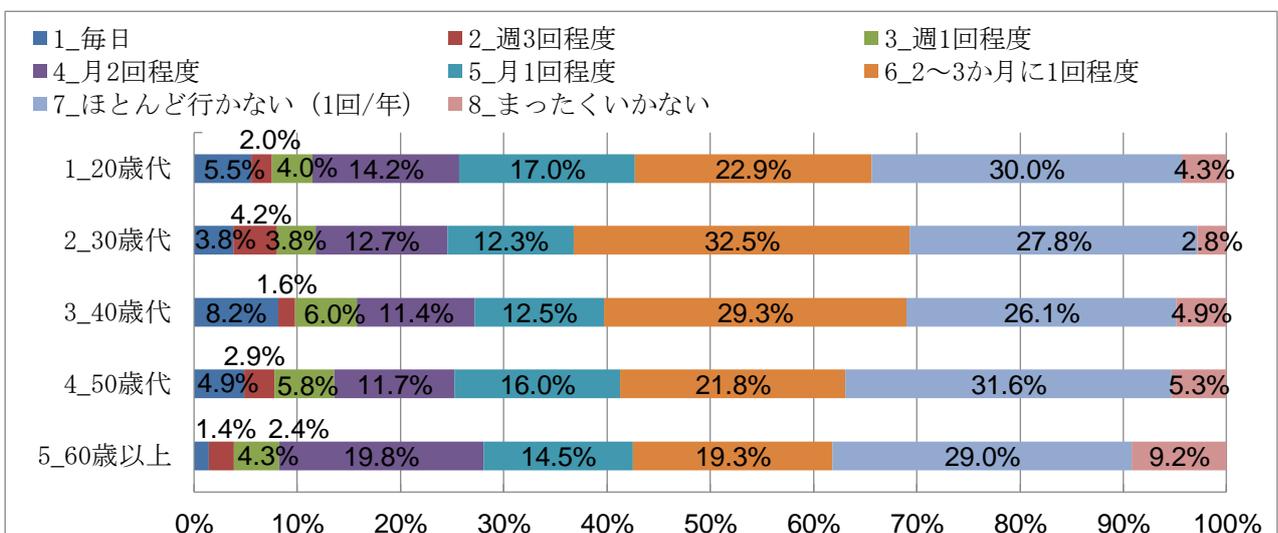
(全体)



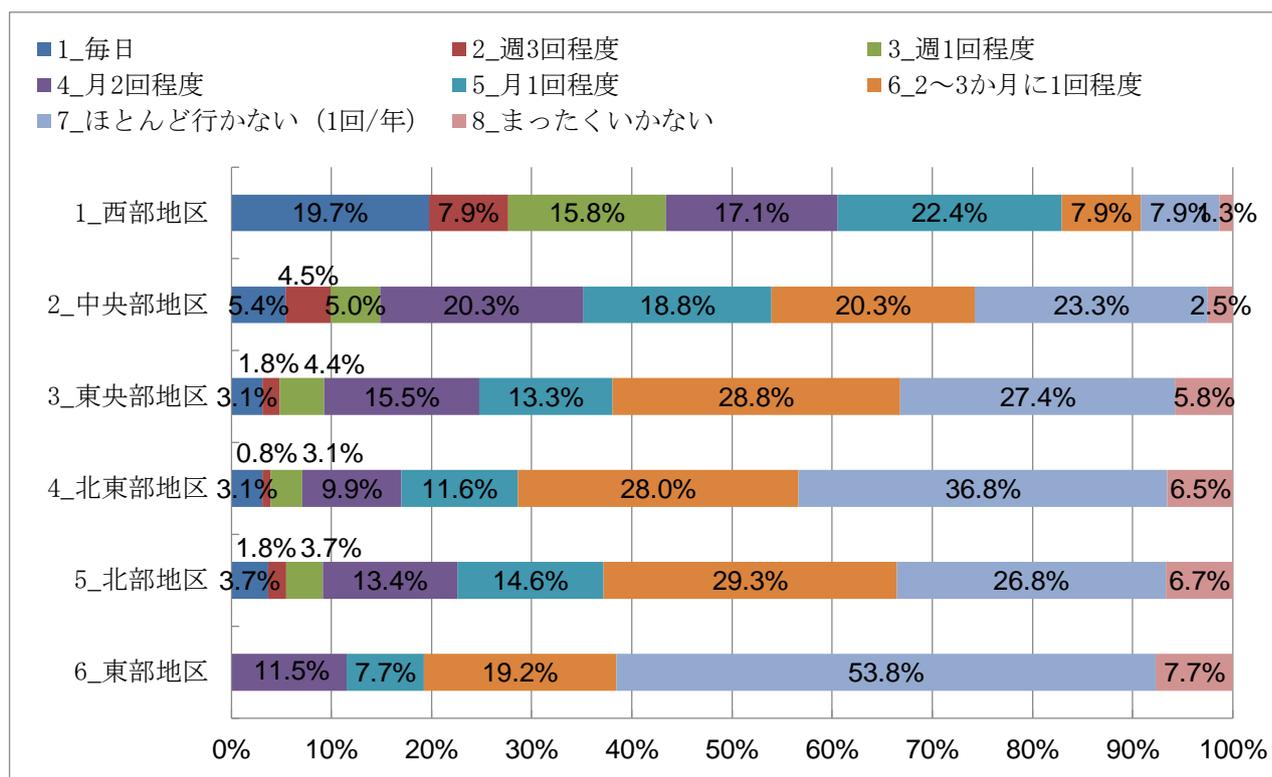
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

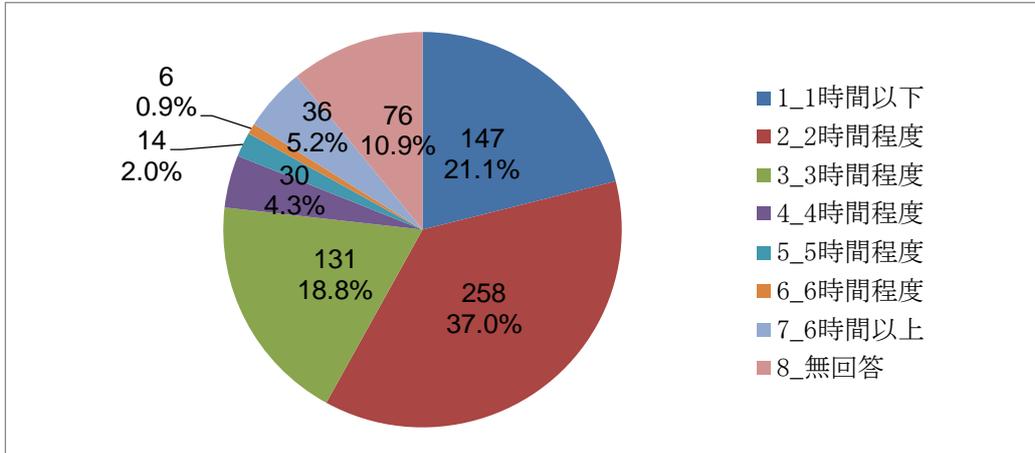


- ・ 函館駅前・大門に訪れる頻度については、全体では「ほとんど行かない（年に1回程度）」が309人（28.9%）と最も多く、次いで「2~3ヶ月に1回」が266人（24.9%）となっており、日常的に利用している人は、毎日、週3回程度を合わせても10%に満たなかった。
- ・ 年齢別にみると、「毎日」「週3回程度」「週1回程度」の合計は40歳代が15.8%と一番多く、次いで50歳代が13.6%となっている。
- ・ 地域別にみると、函館駅前・大門地区から一番遠い東部地区の「ほとんど行かない（1回/年）」が53.8%と他の地域よりも目立って多かった。

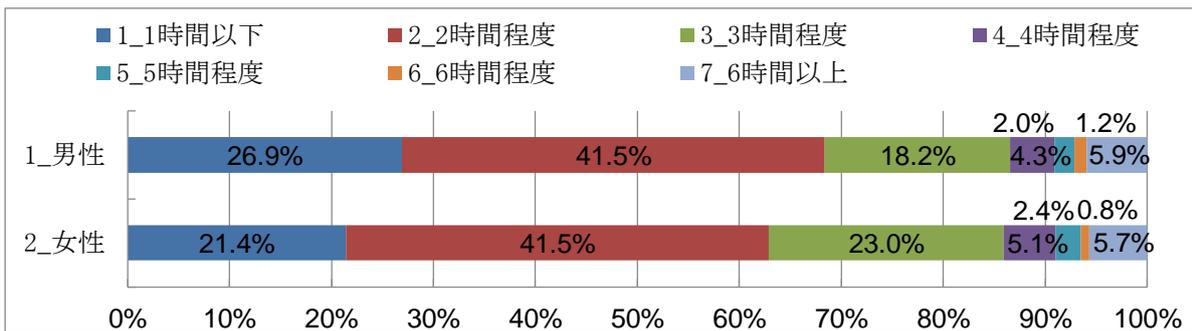
問6 どれくらいの時間滞在されますか

1. 1時間以下 2. 2時間程度 3. 3時間程度
 4. 4時間程度 5. 5時間程度 6. 6時間程度
 7. 6時間以上

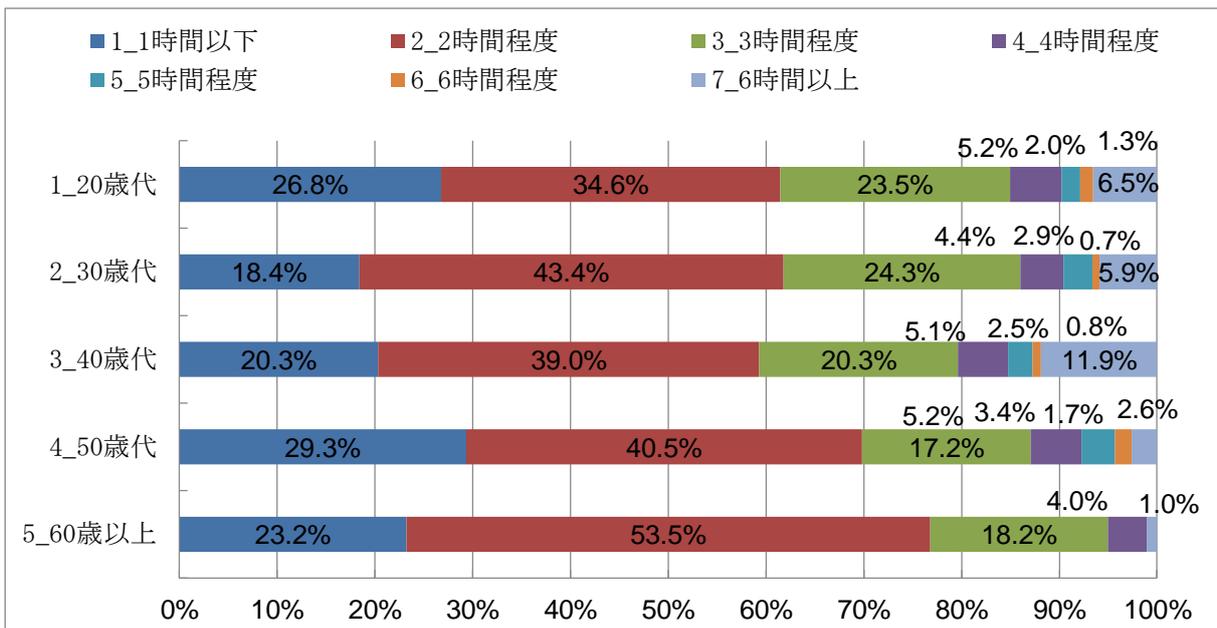
(全体)



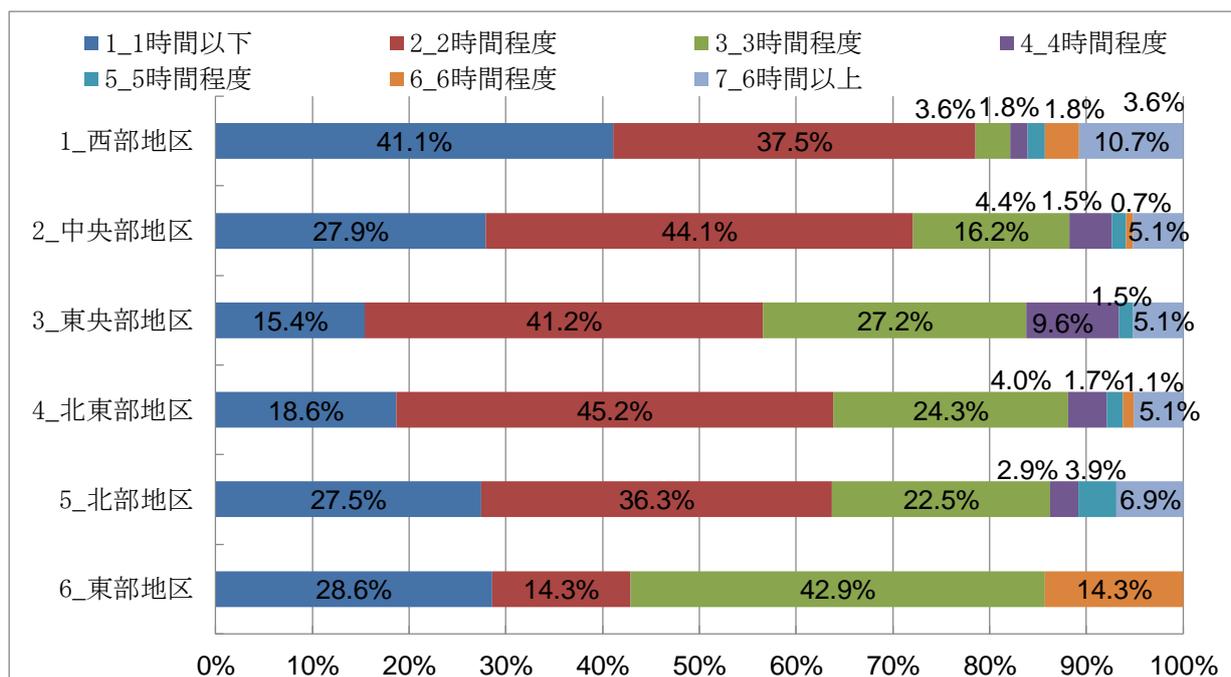
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



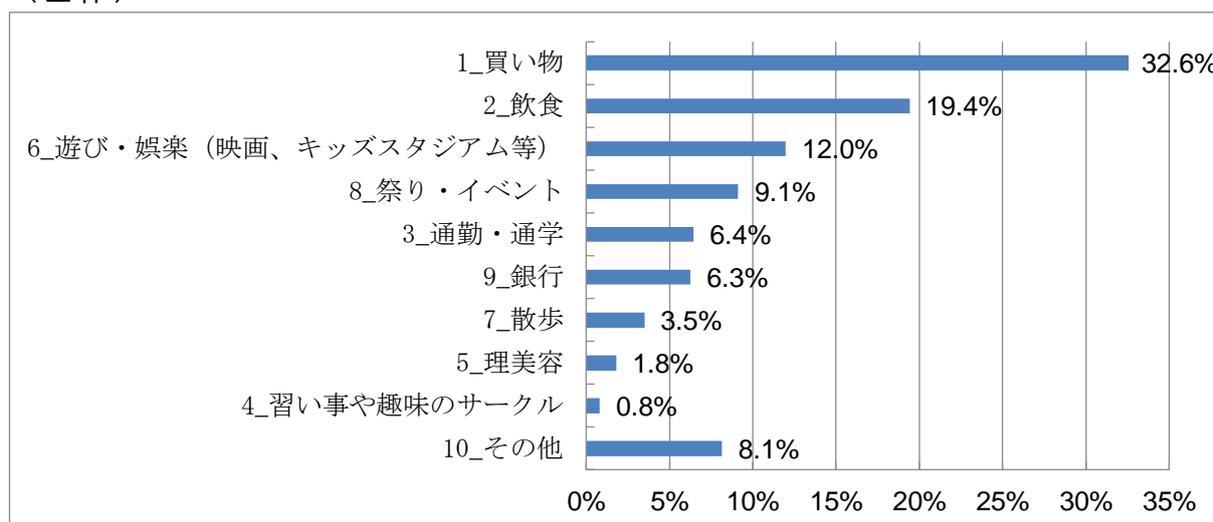
- ・ 函館駅前・大門地区に滞在する時間については、全体では「2時間程度」が258人（37.0%）で最も多く、次いで「1時間以下」が147人（21.1%）となった。
- ・ 男女別でみると、「3時間程度」や「4時間程度」では女性の割合が高く、女性の滞在時間が長いことが分かった。
- ・ 年齢別にみると、「1時間以下」は50代が29.3%と一番多く、滞在時間が短いことが分かった。他の世代では、「2時間程度」以上が全体の70%以上を占め、2時間以上滞在する人が多いことがわかる。
- ・ 地域別でみると、滞在時間が「2時間程度」以上が多いのは東央部地区で80%を超える。

問7 平日に訪れるときの主な目的は何ですか

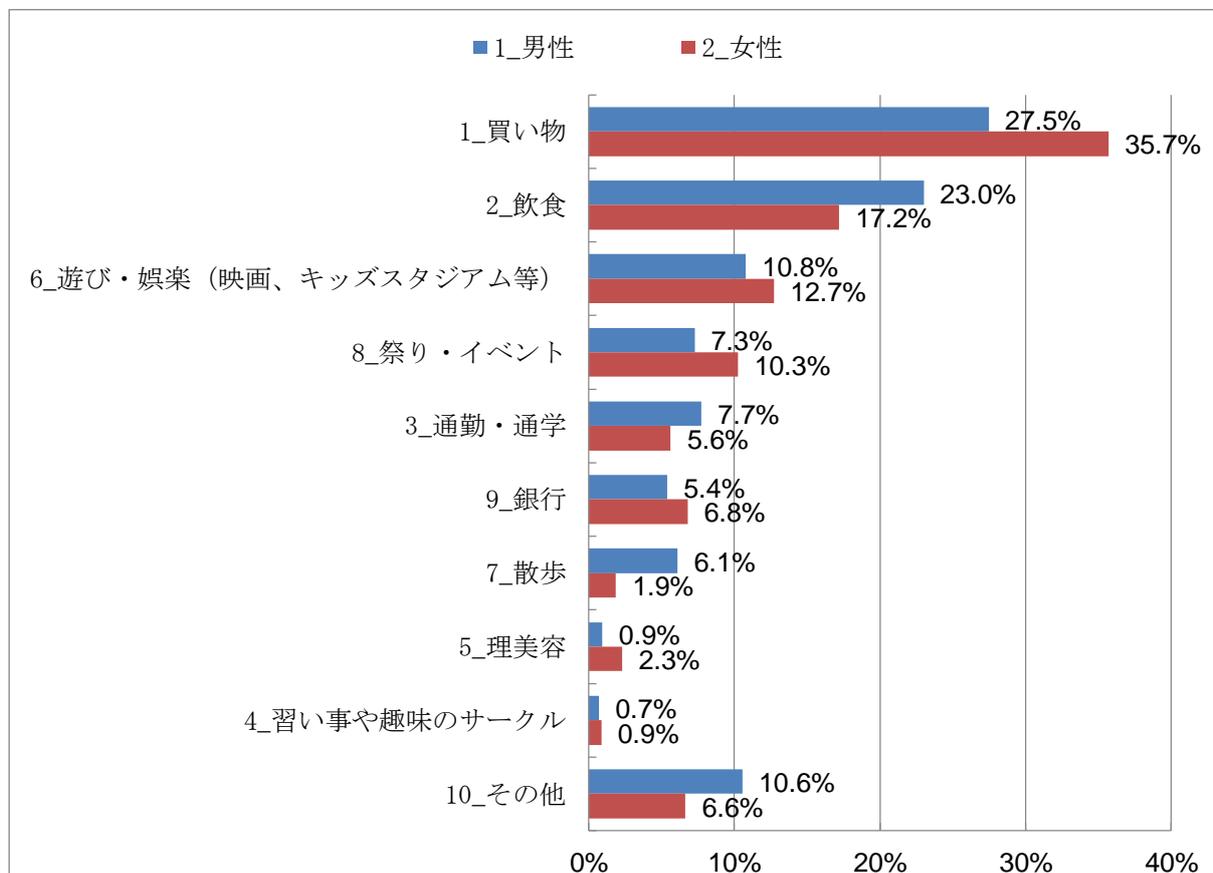
(複数回答3つまで)

- | | | |
|--------------------------|--------|----------|
| 1. 買い物 | 2. 飲食 | 3. 通勤・通学 |
| 4. 習い事や趣味のサークル | 5. 理美容 | |
| 6. 遊び・娯楽 (映画, キッズスタジアム等) | 7. 散歩 | |
| 8. 祭り・イベント | 9. 銀行 | 10. その他 |

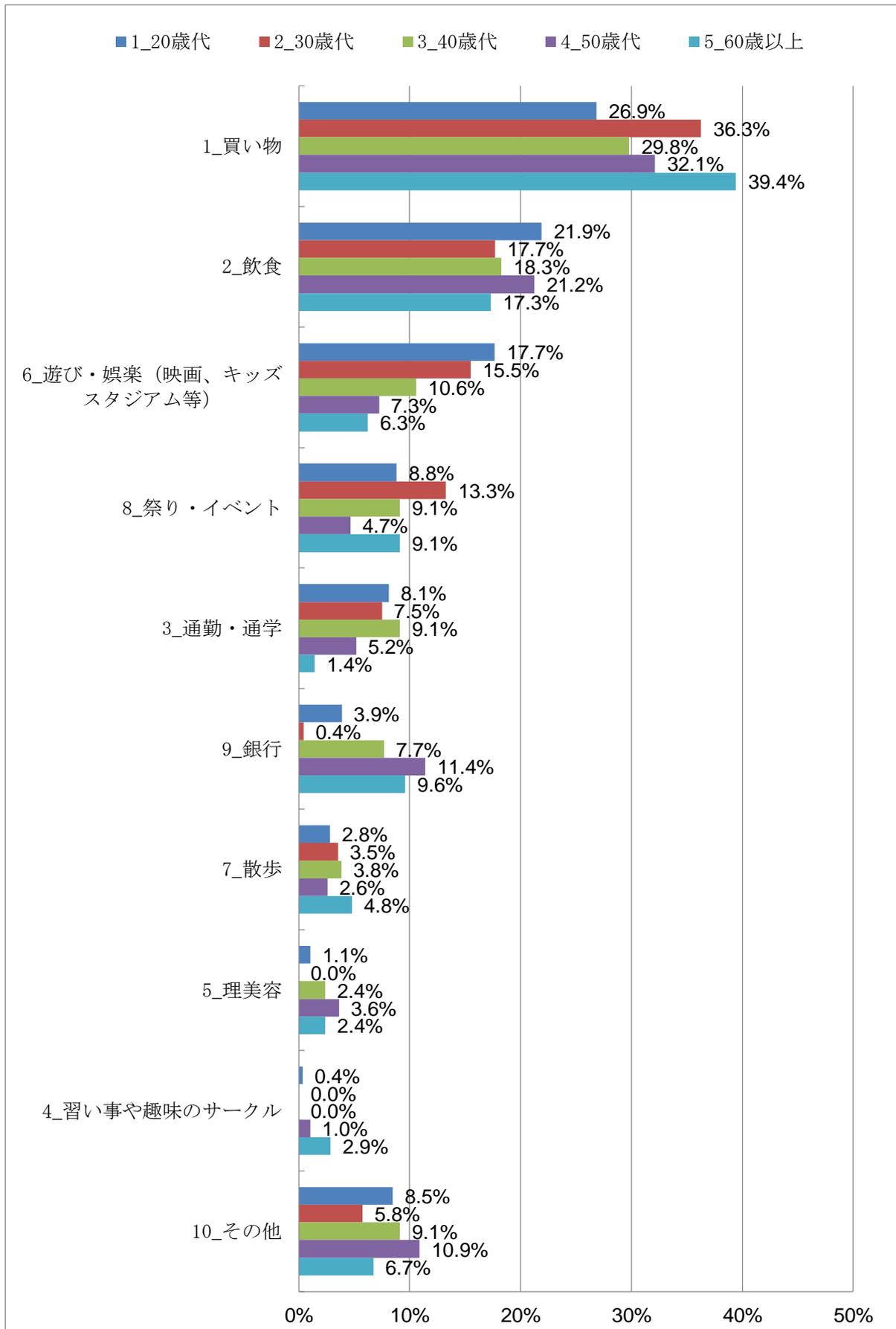
(全体)



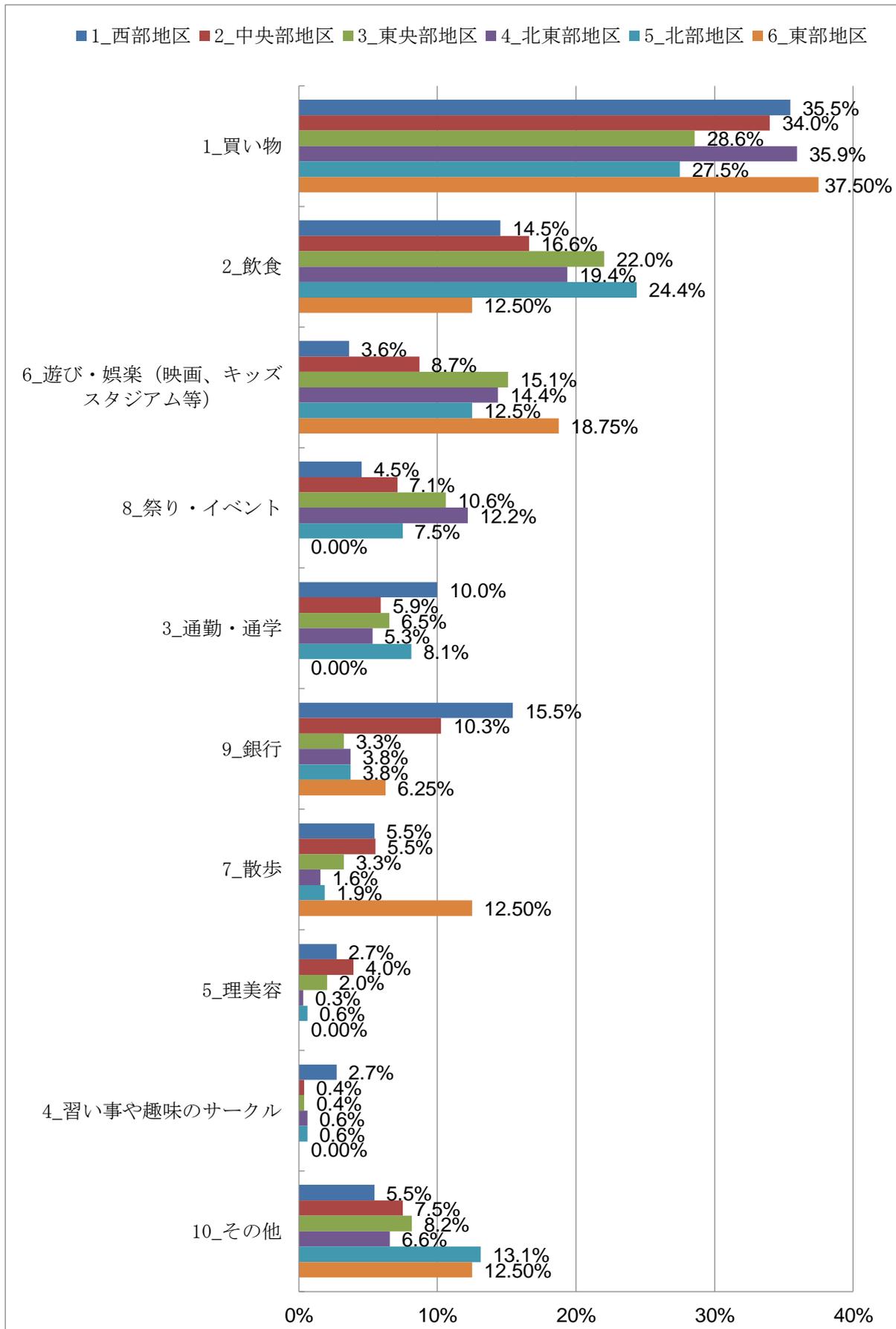
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分 類	意見数	比率
仕事	21	2.3%
JR 函館駅利用	14	1.1%
送迎	11	1.1%
平日は行かない	10	23.6%
病院	10	1.1%
市役所利用	5	1.1%
アルバイト	2	11.2%
お寺	2	5.6%
勉強会・研修	2	1.1%
競輪場外	1	1.1%
函館山	1	15.7%
友人宅訪問	1	12.4%
住んでいる	1	5.6%
幼稚園の行事で3ヵ月に一度	1	2.3%
異業種交流会	1	2.3%
子供の習い事	1	1.1%
無回答	5	11.2%
合 計	89	100.0%

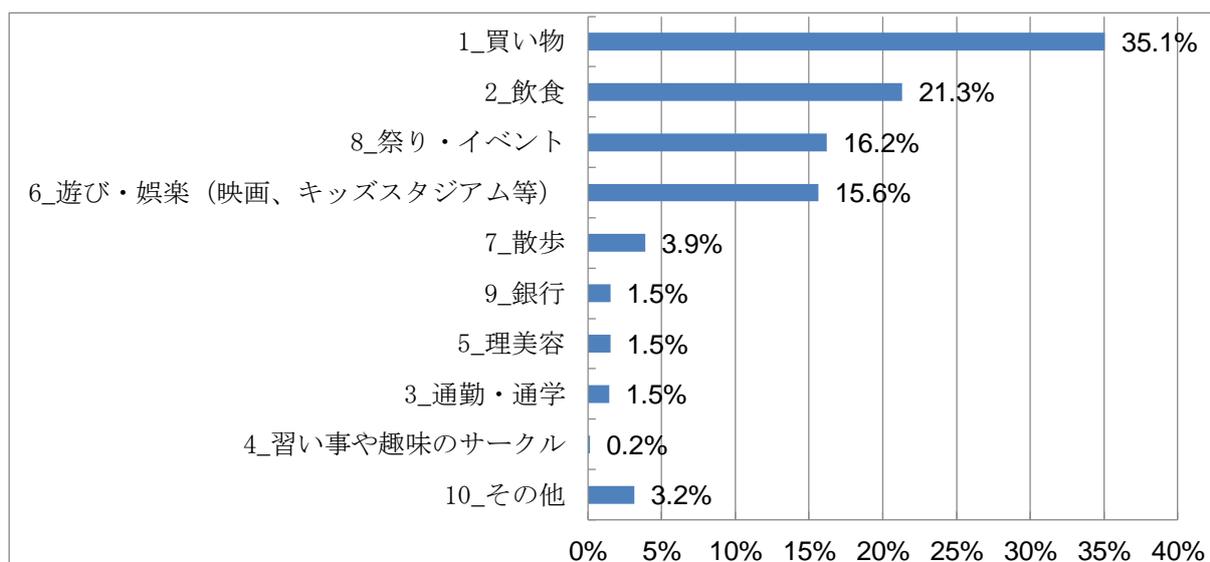
- ・ 函館駅前・大門地区を平日に訪れる主な目的については、全体では「買い物」が32.6%と最も多く、次いで「飲食」が19.4%、「遊び・娯楽」が12.0%となった。
- ・ 男女別でみると、女性は男性より「買い物」「習い事や趣味のサークル」「理美容」「遊び・娯楽（映画、キッズスタジアム等）」「祭り・イベント」「銀行」の6項目での割合が高かった。
- ・ 年齢別にみると、「買い物」が全ての年代で一番多く、特に60歳以上では40%程度が回答している。また40歳代、50歳代、60歳以上では「銀行」と回答した人が20歳代、30歳代と比較して多かった。
- ・ 地域別にみると、すべての地区で「買い物」が最も多かった。また東部地区のみ「遊び・娯楽」が「買い物」に次いで多かった。

問 8 休日に訪れるときの主な目的は何ですか

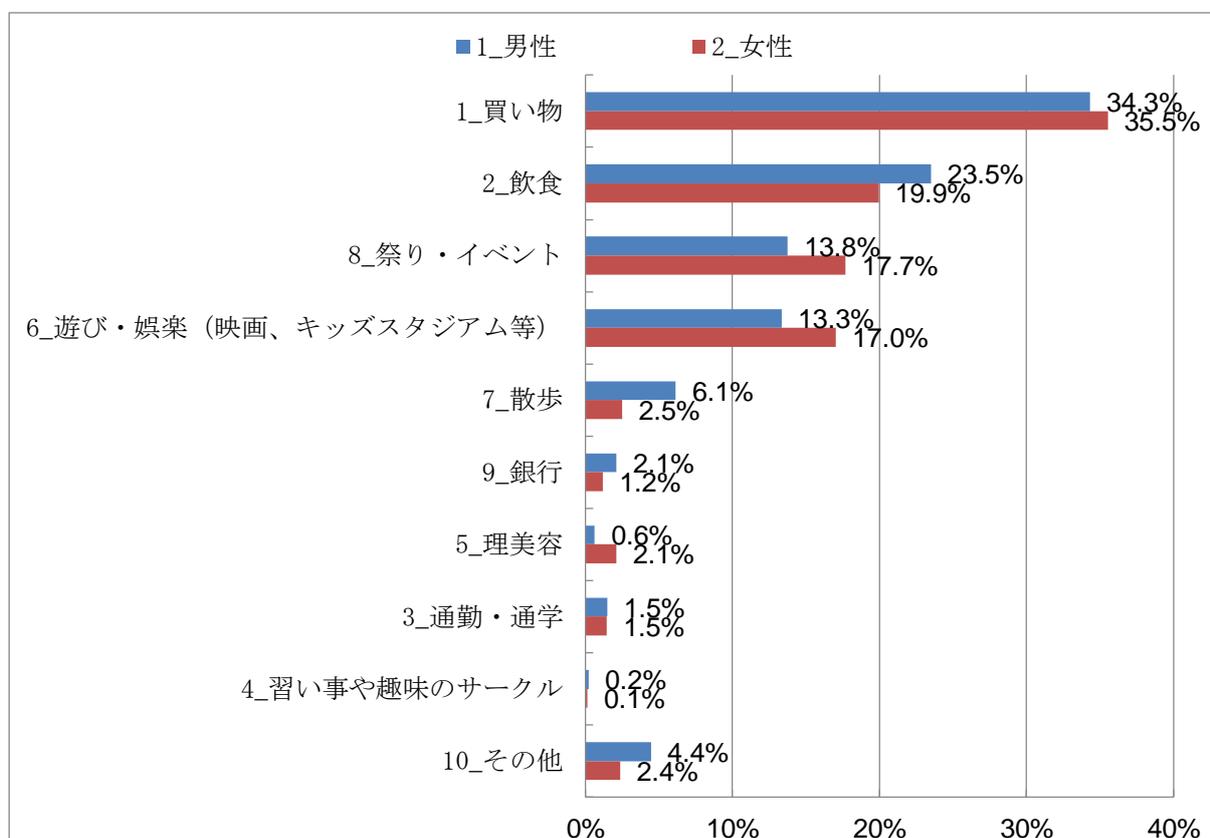
(複数回答 3 つまで)

- | | | |
|--------------------------|--------|----------|
| 1. 買い物 | 2. 飲食 | 3. 通勤・通学 |
| 4. 習い事や趣味のサークル | 5. 理美容 | |
| 6. 遊び・娯楽 (映画, キッズスタジアム等) | 7. 散歩 | |
| 8. 祭り・イベント | 9. 銀行 | 10. その他 |

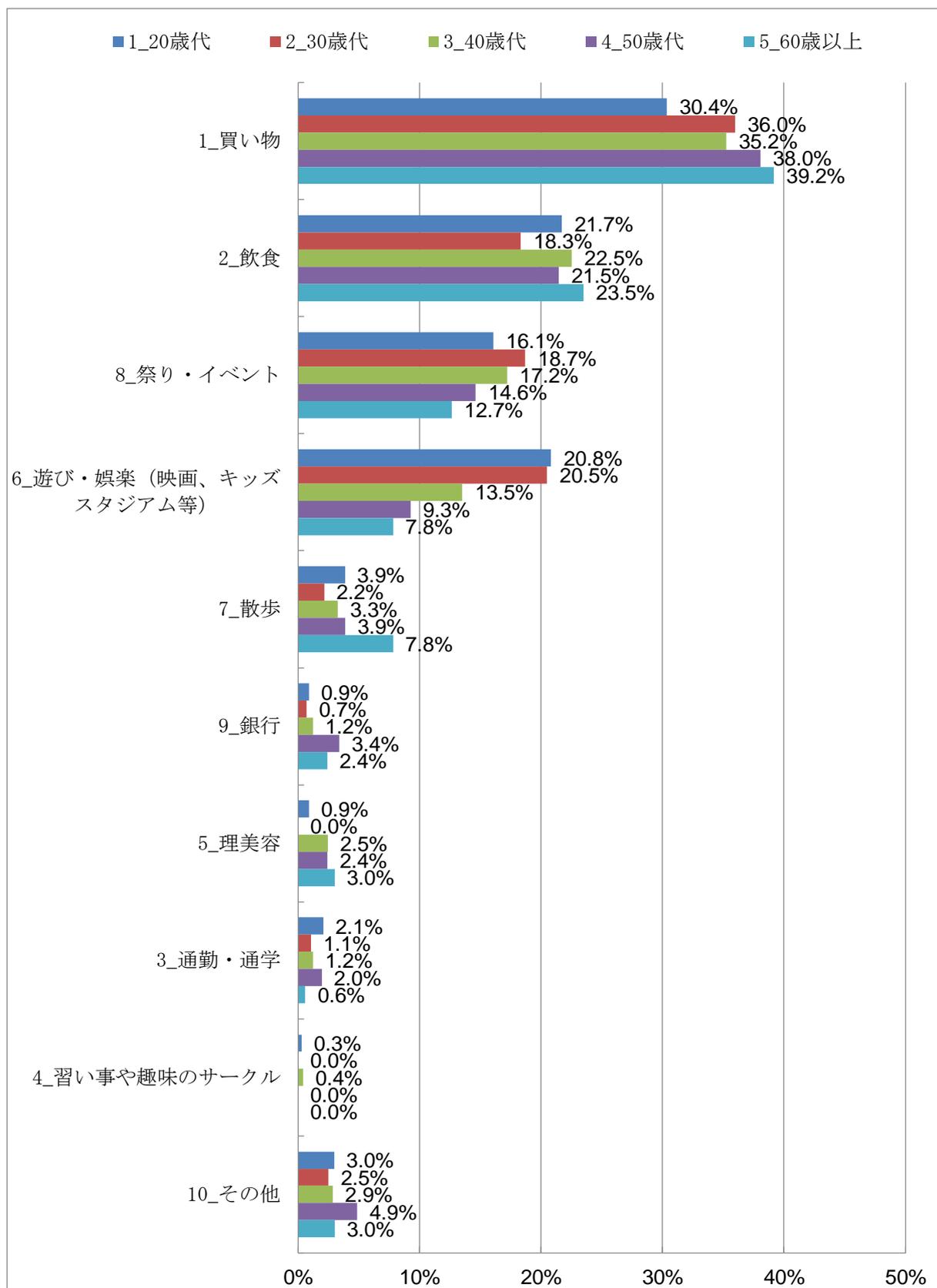
(全体)



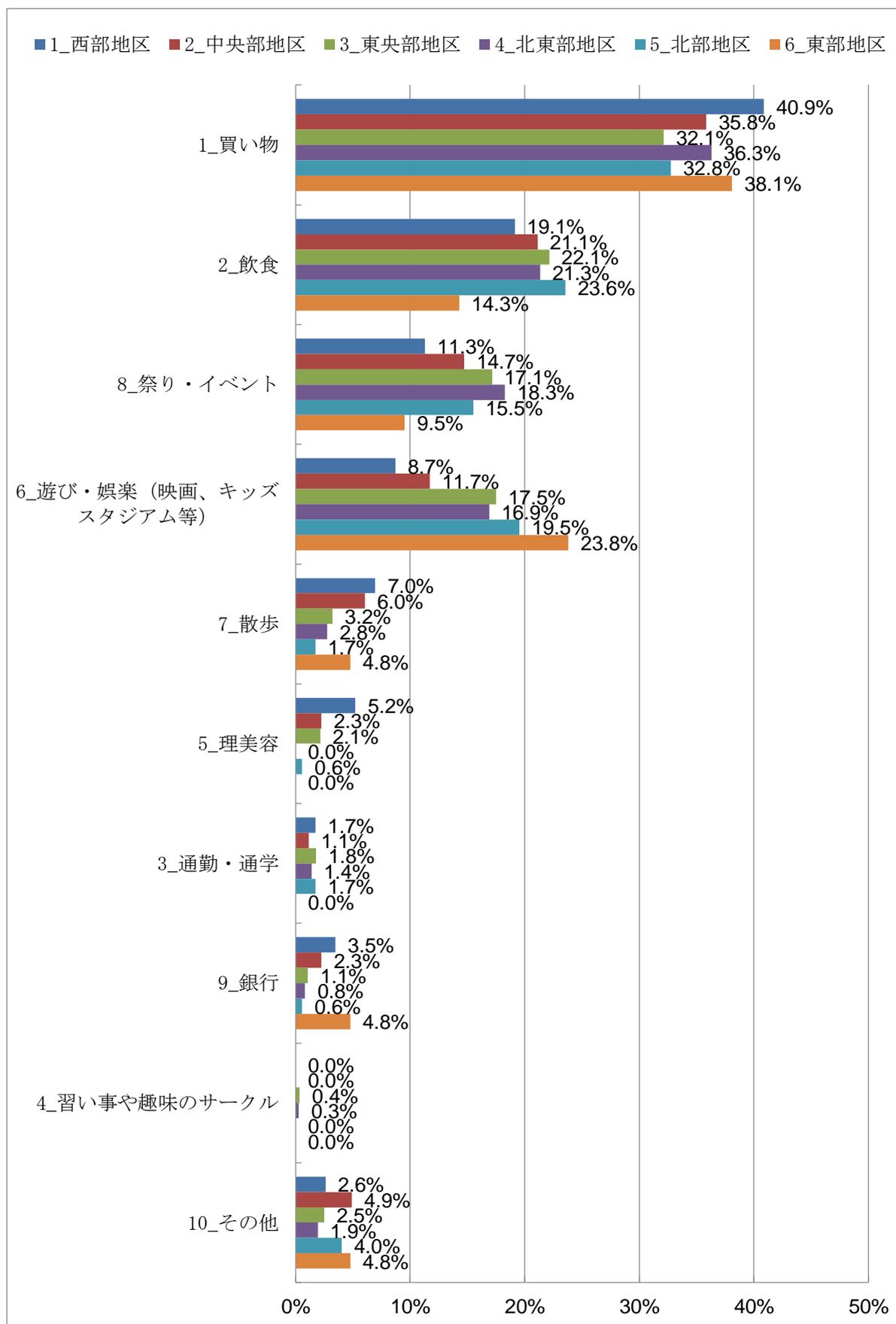
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分類	意見数	比率
休日は行かない	9	22.5%
JRを利用する	6	15.0%
送迎	6	15.0%
会議	3	7.5%
仕事	2	5.0%
お墓参り	2	5.0%
ドライブ	2	5.0%
映画	2	5.0%
JRのチケット購入	1	2.5%
函館山	1	2.5%
バスを利用する	1	2.5%
行事	1	2.5%
競輪場外	1	2.5%
子供の習い事	1	2.5%
釣り	1	2.5%
無回答	1	2.5%
合計	40	100.0%

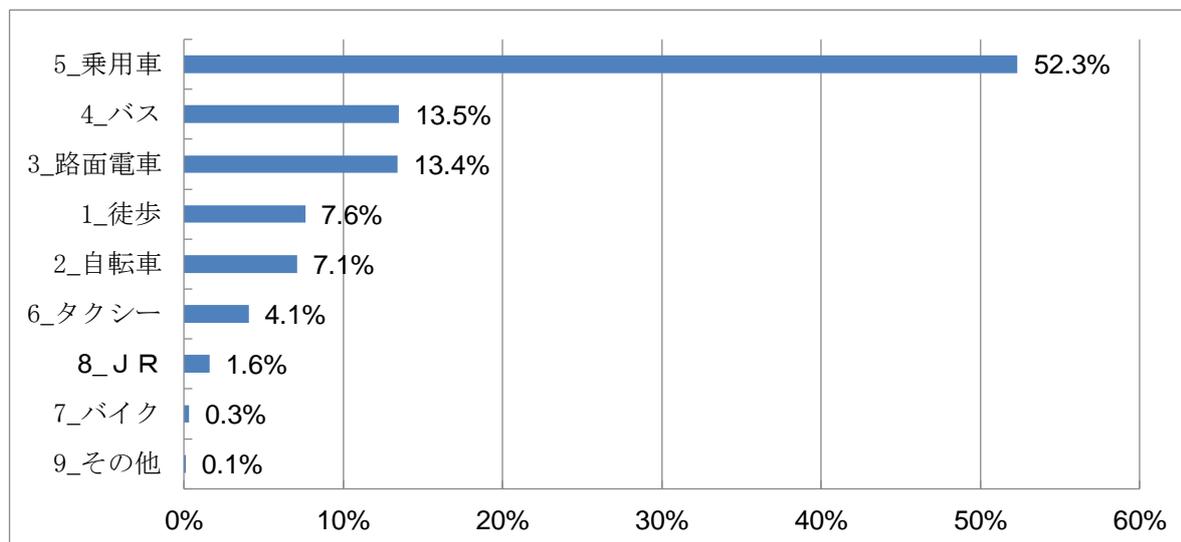
- ・ 函館駅前・大門地区を休日に訪れる目的で最も多かったのは、「買い物」で35.1%，次いで「飲食」が21.3%，「祭り・イベント」が16.2%となった。
- ・ 男女別で見ると，女性は男性より「買い物」「理美容」「遊び・娯楽」「祭り・イベント」の4項目での割合が多かった。
- ・ 地域別にみると，すべての地区で「買い物」が最も多かった。また東部地区のみ「遊び・娯楽」が「買い物」に次いで多かった。

問9 主にどのような交通手段を使いますか

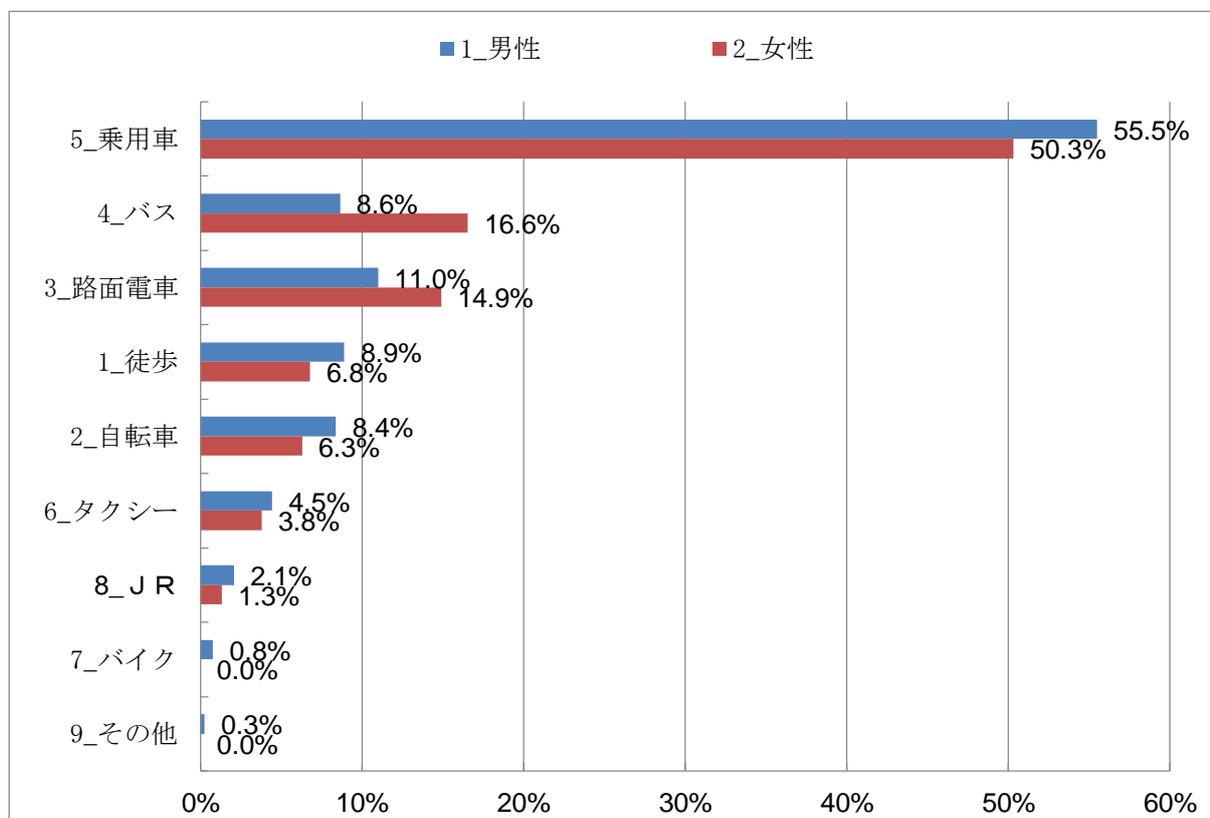
(複数回答3つまで)

- | | | | |
|--------|---------|---------|-------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 路面電車 | 4. バス |
| 5. 乗用車 | 6. タクシー | 7. バイク | 8. JR |
| 9. その他 | | | |

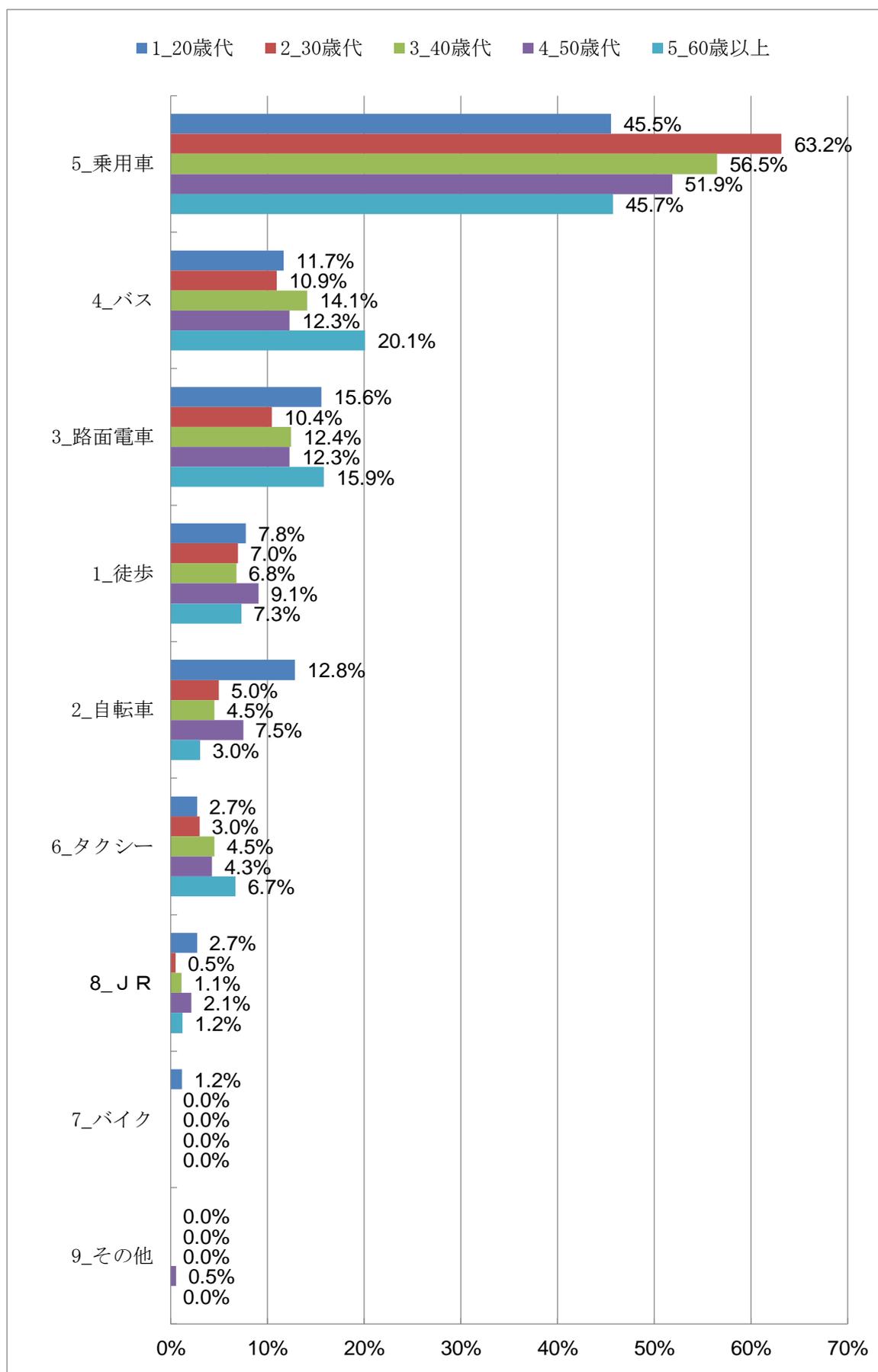
(全体)



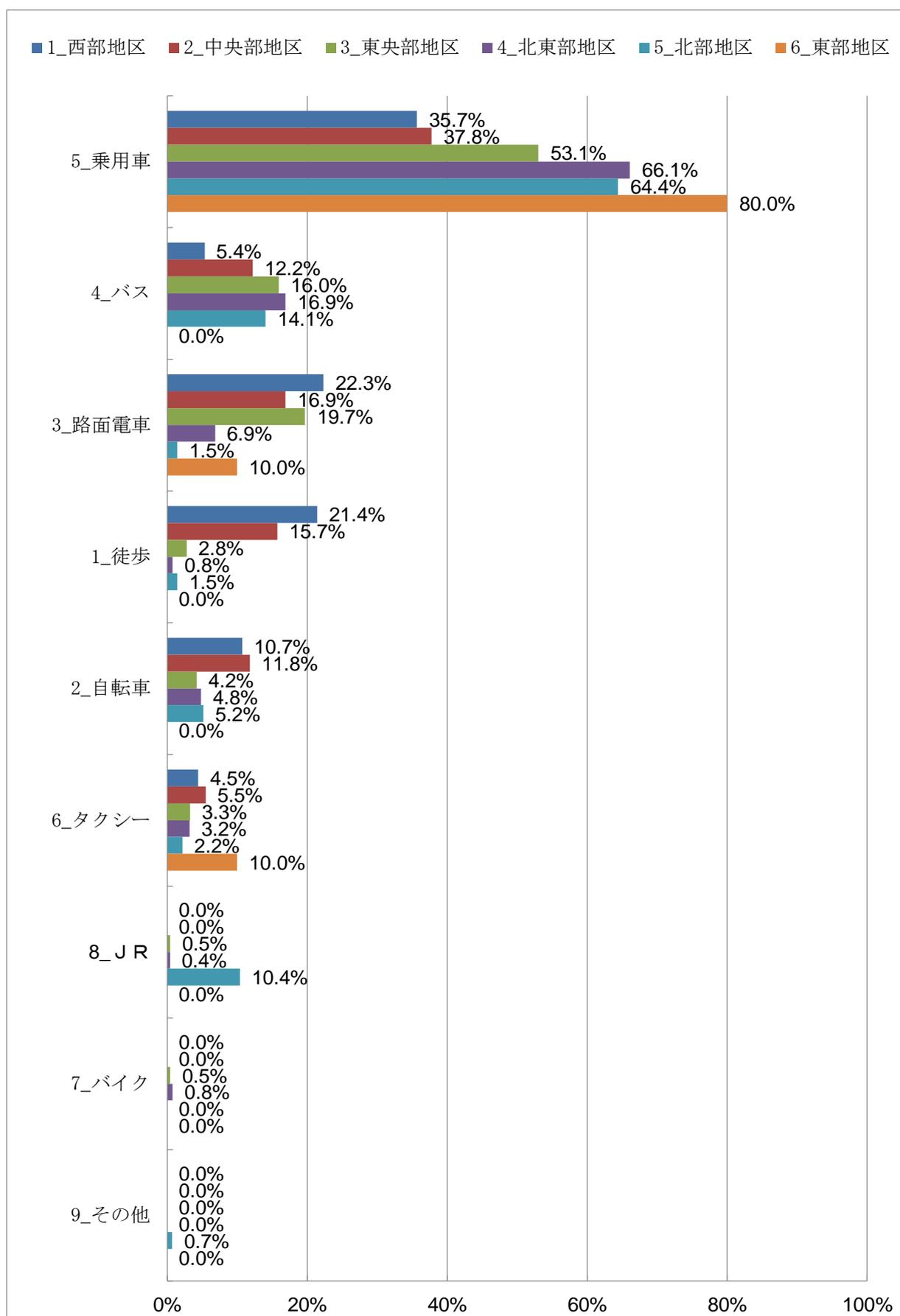
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分類	意見数	比率
社用車	1	25.0%
介護タクシーと車イス	1	25.0%
無回答	2	50.0%
合計	4	100.0%

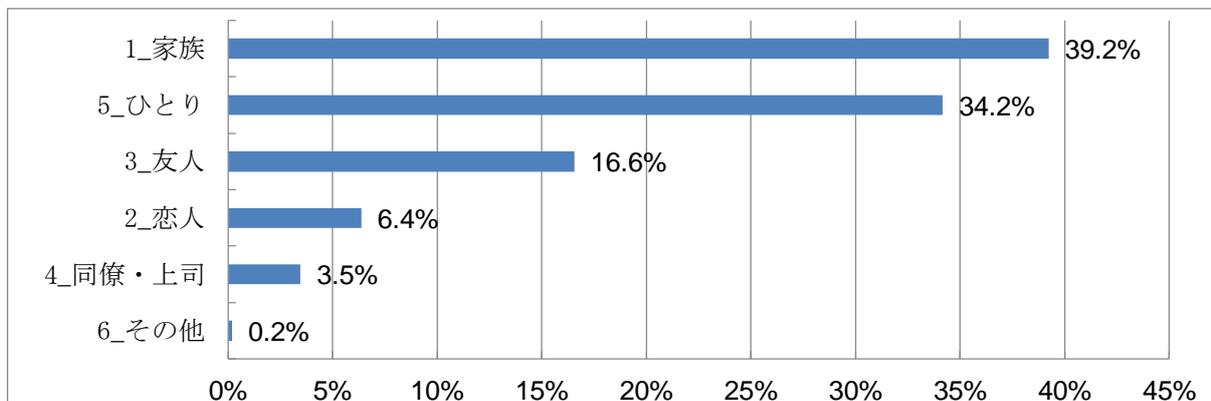
- ・ 函館駅前・大門地区を訪れる主な交通手段については、全体では「乗用車」が52.3%で最も多く、「路面電車」・「バス」の合計が男性19.6%に対して、女性31.5%と多く、女性のほうが公共交通機関の利用が多いことが分かった。
- ・ 男女別でみると、「乗用車」が男性55.5%、女性50.3%で最も多かった。男性のみ「バイク」の回答があった。
- ・ 年齢別にみると、「乗用車」がすべての年代で一番多い。また「自転車」の割合は20歳代が最も多かった。「路面電車」・「バス」の合計は60歳以上で36.0%と他の年代と比較して高く、公共交通機関の利用が多いことが分かった。
- ・ 地域別にみると、すべての地区で「乗用車」が最も多く、特に函館駅前・大門地区から一番遠い東部地区が80.0%と最も多かった。

問 10 誰と訪れますか

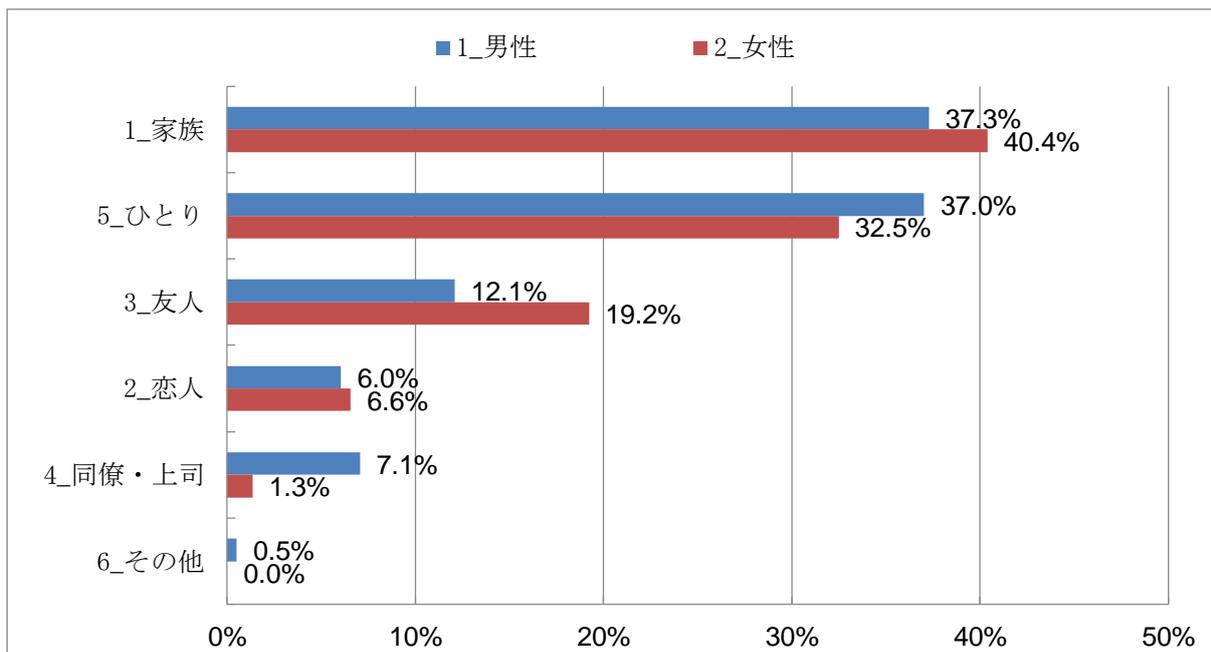
(複数回答 3 つまで)

- | | | | |
|--------|--------|-------|----------|
| 1. 家族 | 2. 恋人 | 3. 友人 | 4. 同僚・上司 |
| 5. ひとり | 6. その他 | | |

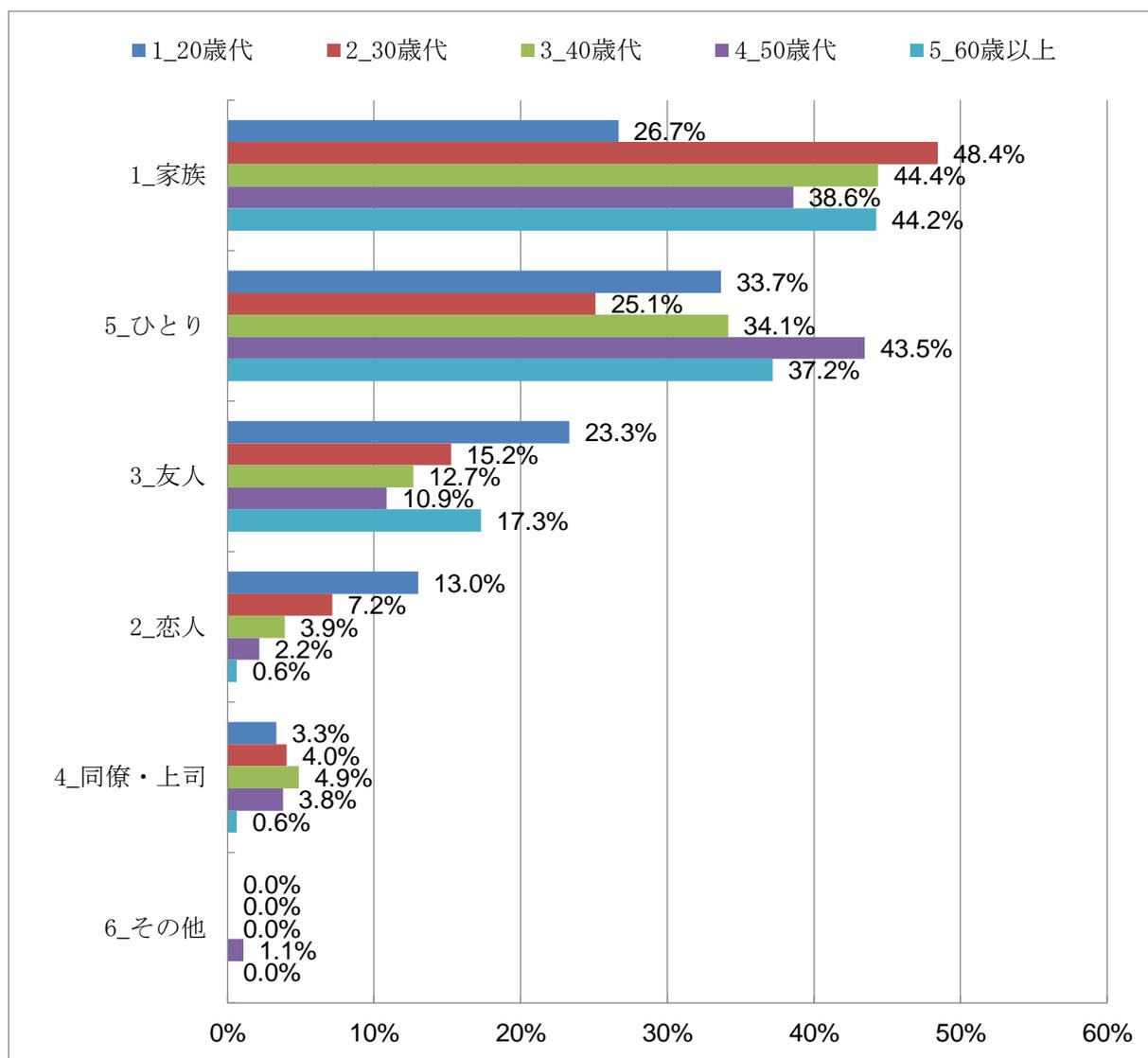
(全体)



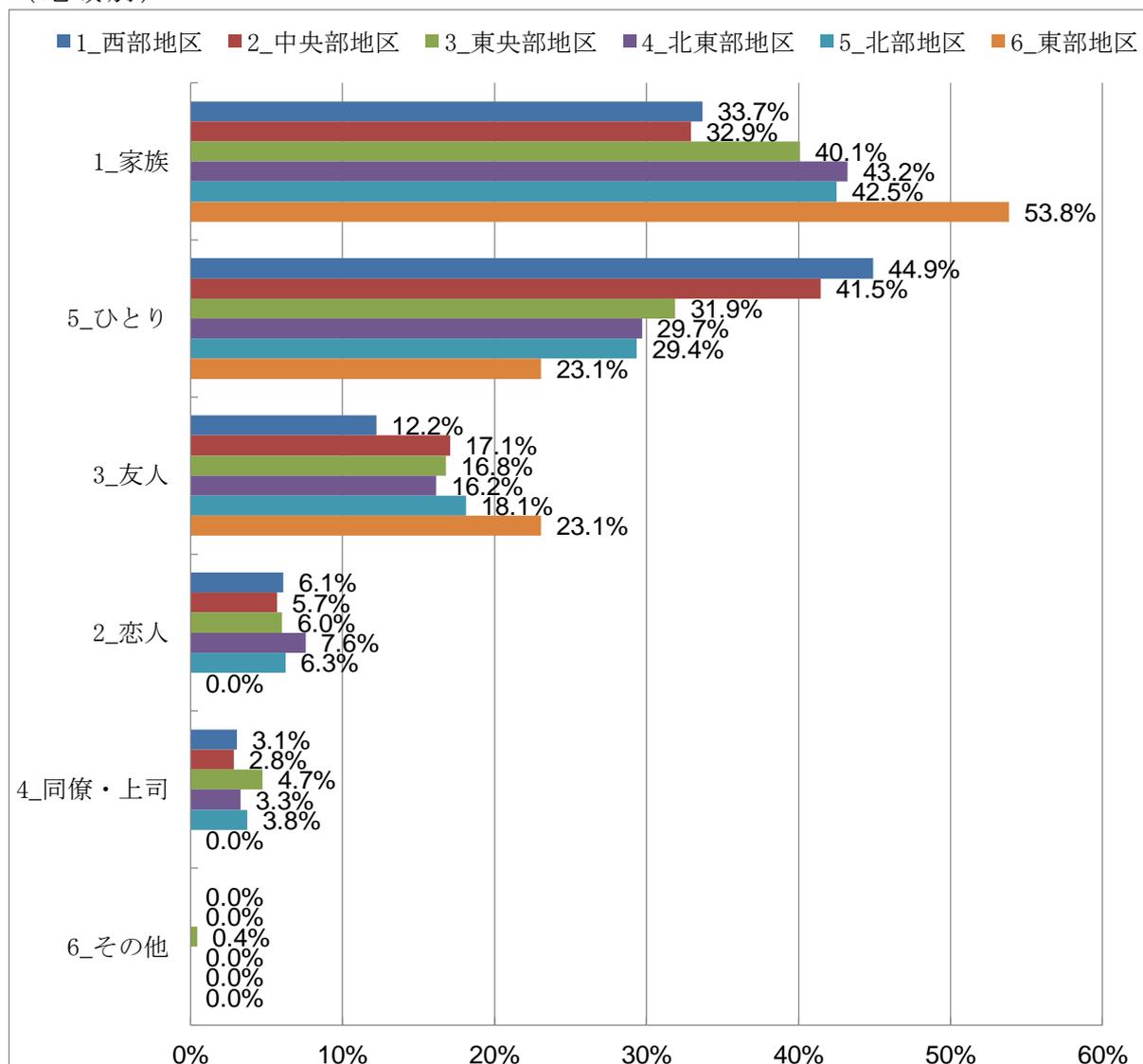
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分類	意見数	比率
客人	2	100.0%

- ・ 函館駅前・大門地区を誰と訪れるかについては、全体では「家族」（39.2%）が最も多く、次いで「ひとり」（34.2%）が多かった。
- ・ 男女別でも、「家族」が男性37.3%、女性40.4%で最も多かった。男性・女性とも、「友人」が男性（12.1%）、女性（19.2%）と「家族」「ひとり」につづいていた。
- ・ 年齢別にみると、20歳代と50歳代で「ひとり」が「家族」を上回っている。20歳代は「友人」・「恋人」と訪れる割合が他の年代と比べて目立って多かった。
- ・ 地域別にみると、西部地区（44.9%）、中央部地区（41.5%）では、「ひと

り」が家族を上回っている。

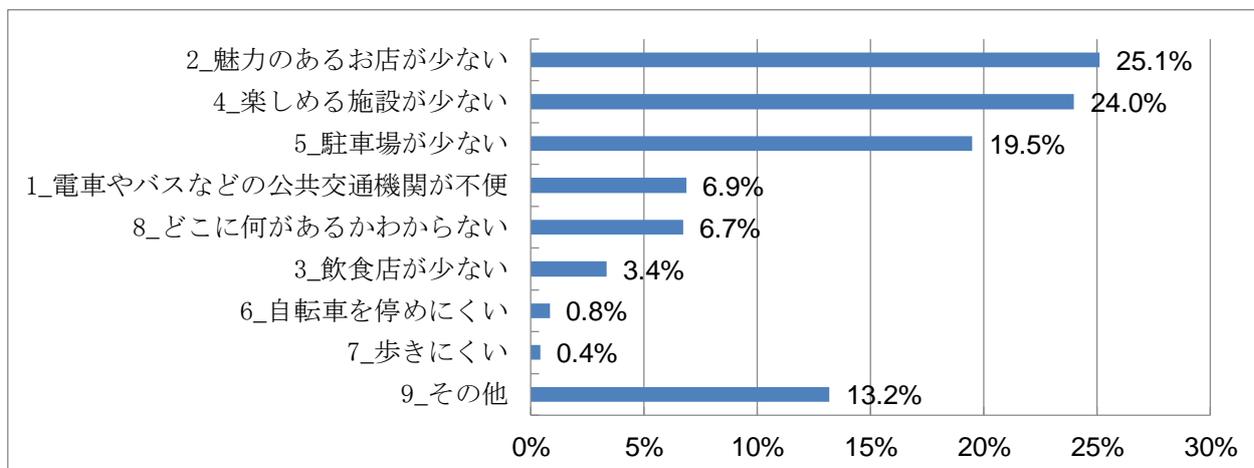
【問5で「ほとんど行かない」「まったく行かない」と答えた方におたずねします。】

問11 行かない理由は何ですか

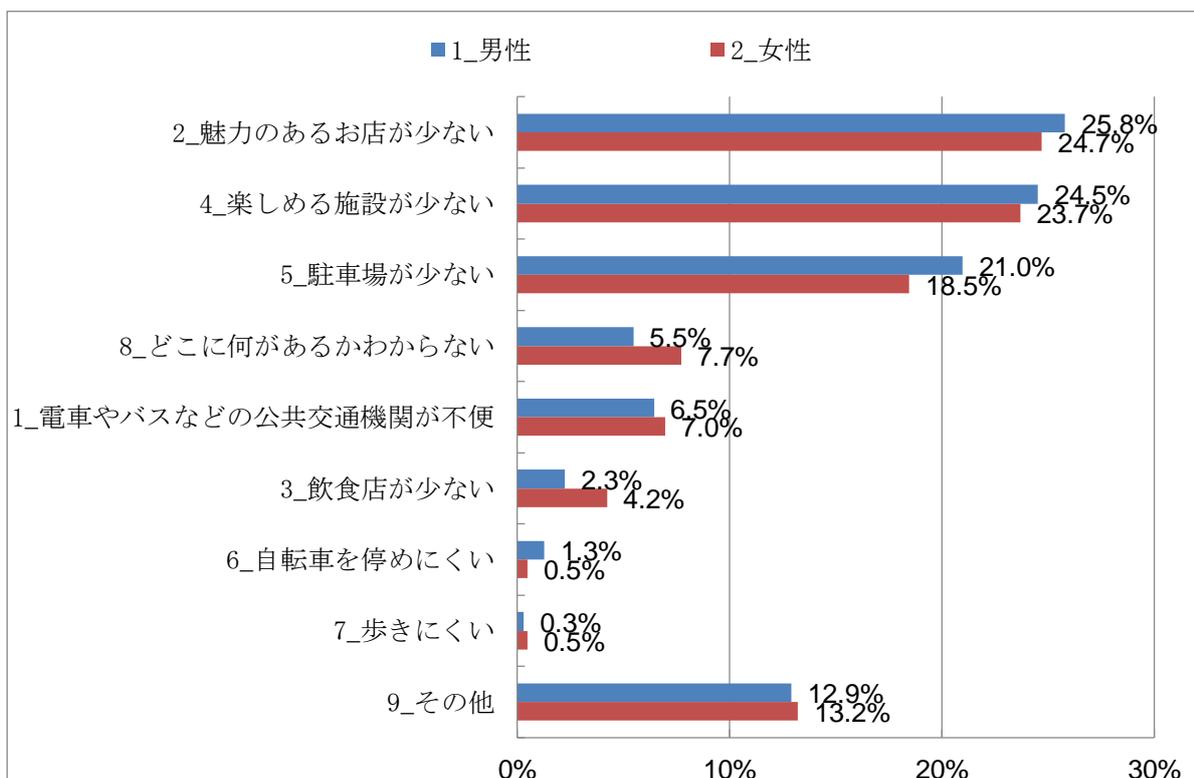
(複数回答3つまで)

- 1. 電車やバスなどの公共交通機関が不便
- 2. 魅力のあるお店が少ない
- 3. 飲食店が少ない
- 4. 楽しめる施設が少ない
- 5. 駐車場が少ない
- 6. 自転車を停めにくい
- 7. 歩きにくい(歩道が狭い・歩道が無いなど)
- 8. どこに何があるかわからない
- 9. その他

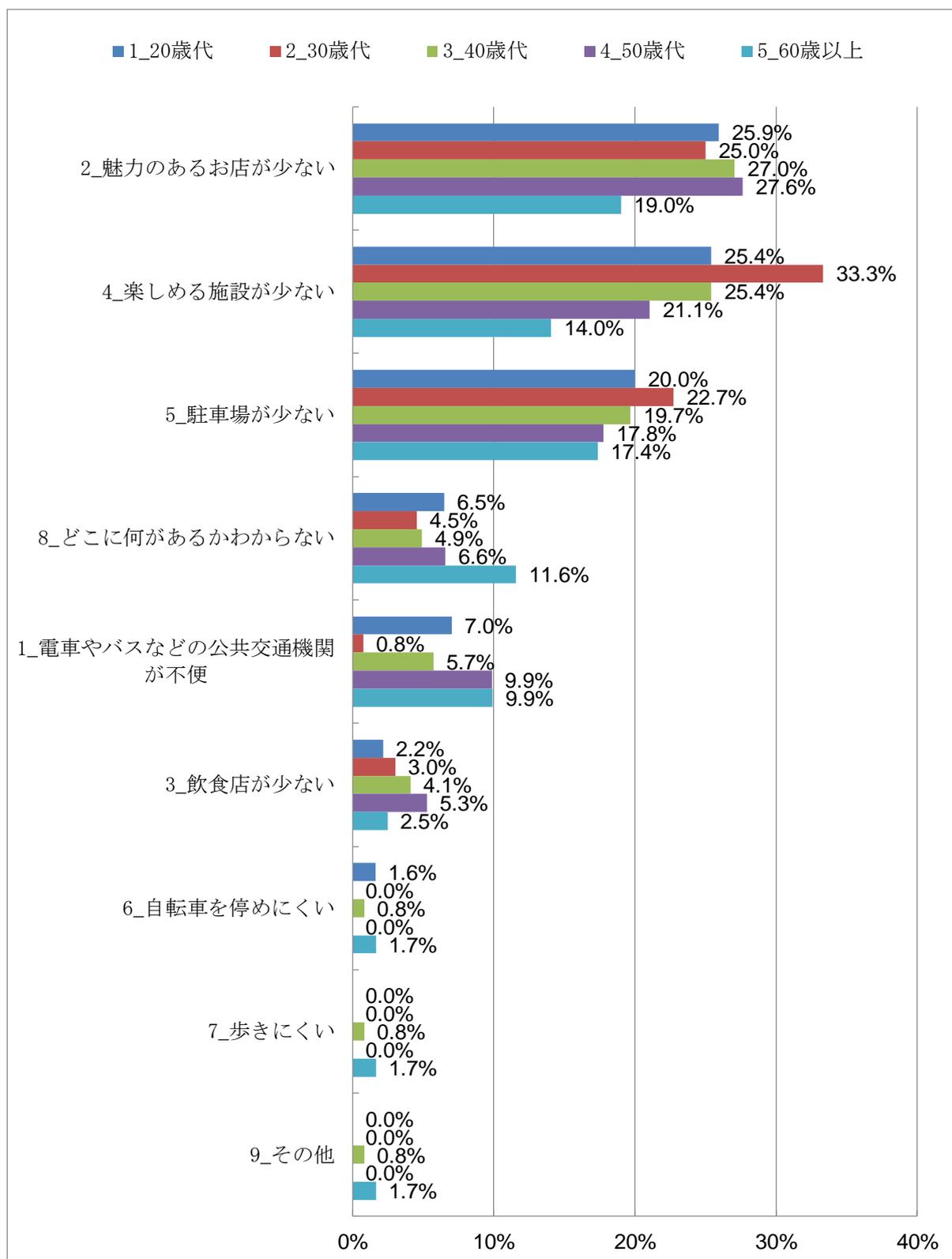
(全体)



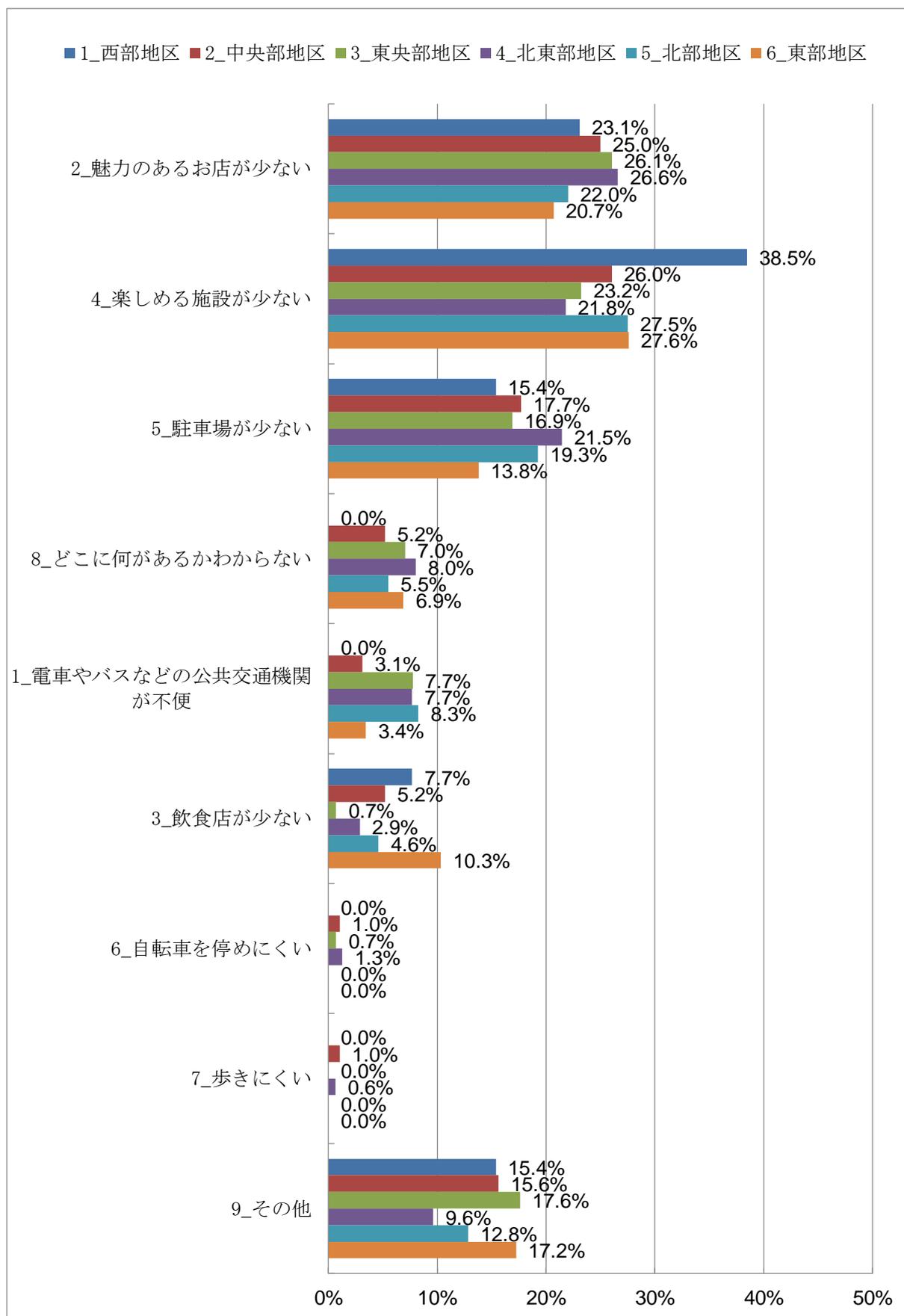
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分類	意見数	比率
行く目的がない	59	66.3%
老齢・身体不自由のため	9	10.1%
遠い	8	9.0%
無回答	4	4.5%
暇がない	3	3.4%
無料駐車場がない	2	2.3%
お店が入りづらい	1	1.1%
活気が無い	1	1.1%
特に行きたい場所がない	1	1.1%
酒しかないというイメージ	1	1.1%
行く目的がない	59	66.3%
老齢・身体不自由のため	9	10.1%
遠い	8	9.0%
無回答	4	4.5%
合計	89	100.0%

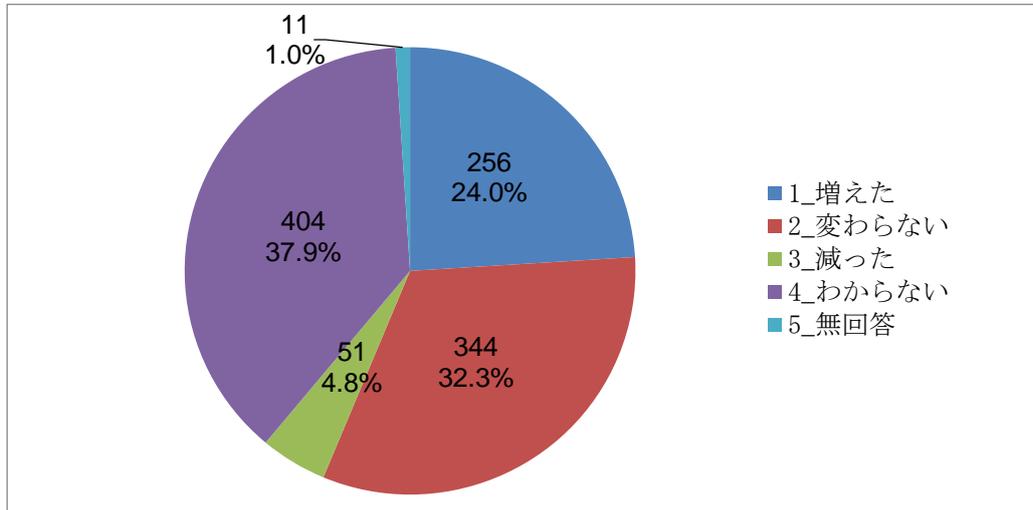
- ・ 函館駅前・大門地区に行かない理由については、全体では「魅力のあるお店が少ない」(25.1%)が最も多く、次いで「楽しめる施設が少ない」(24.0%)が多かった。
- ・ 男女別での差は見られなかった。
- ・ 年齢別にみると、特に30歳代が「楽しめる施設が少ない」(33.3%)と感じていることが分かった。
- ・ 地域別にみると、特に西部地区で「楽しめる施設が少ない」(38.5%)が多かった。

【すべての方におたずねします。】

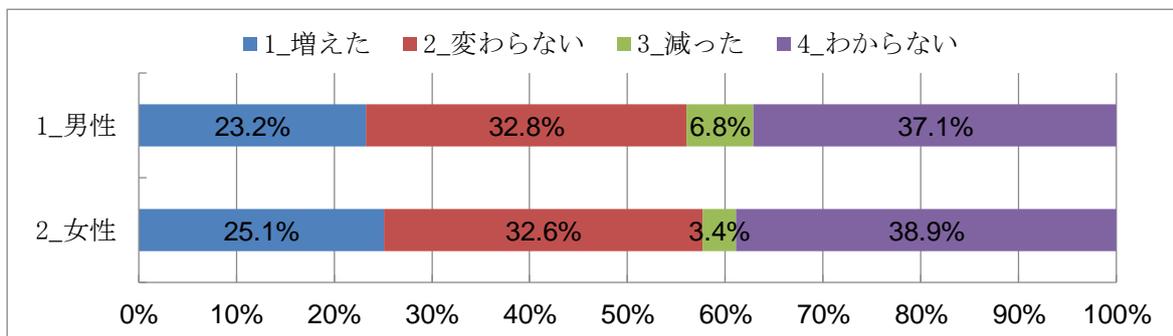
問 12 魅力あるイベントは増えたと思いますか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない

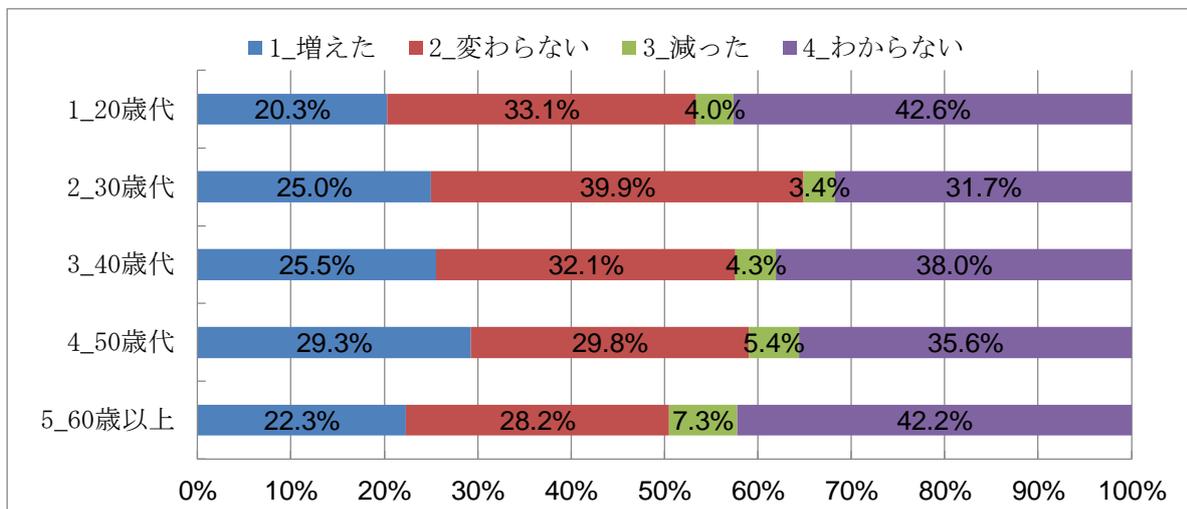
(全体)



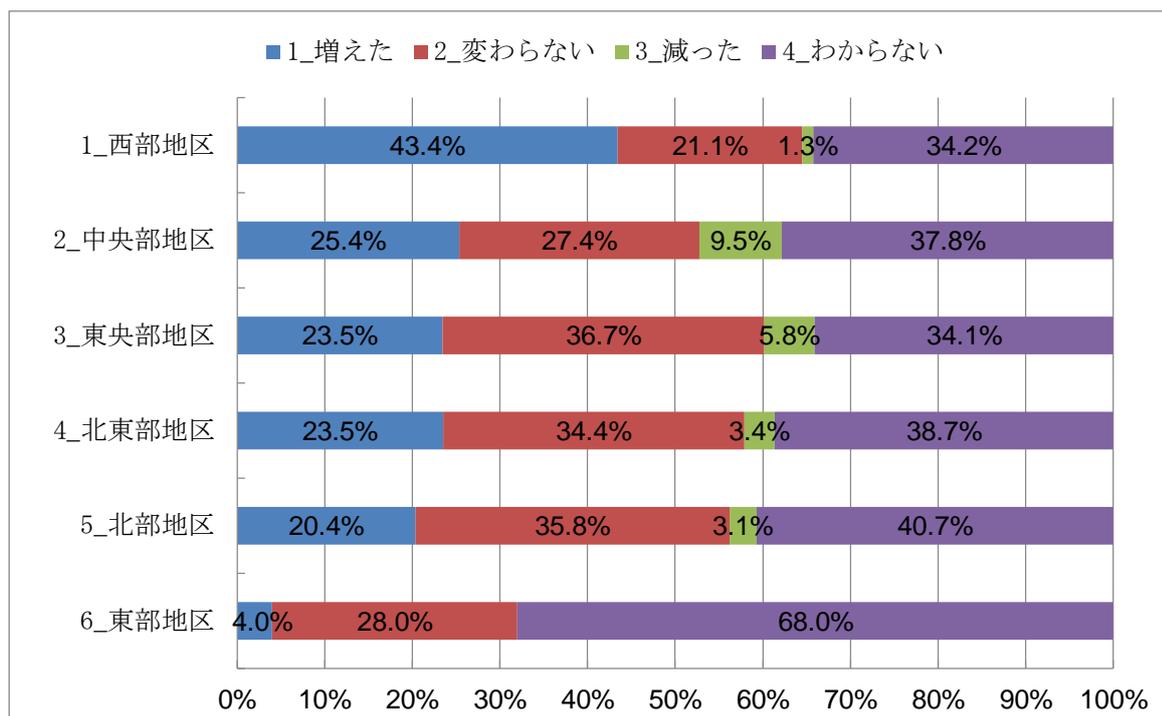
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

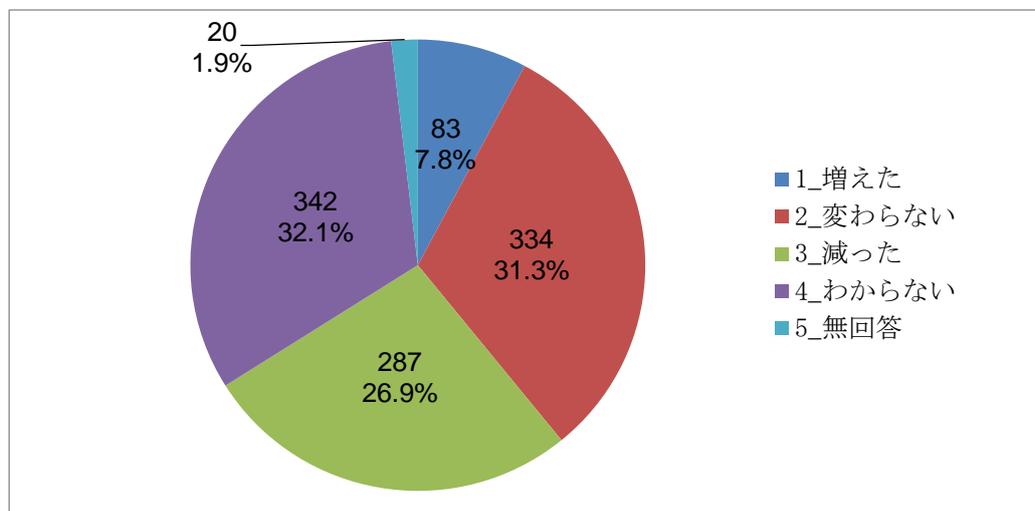


- ・ 函館駅前・大門地区の魅力あるイベントは増えたかについては、「変わらない」が344人（32.3%）「増えた」が256人（24.0%）で全体の半数以上が現状維持もしくは上向きの印象を持っているが、一方で「わからない」が404人（37.9%）と多く、イベントへの関心が薄いことが分かった。
- ・ 男女別では、大きな差はない。
- ・ 年齢別にみると、特に20歳代（42.6%）と60歳以上（42.2%）で「分からない」の割合が多く、イベントへの関心が薄いことが分かった。
- ・ 地域別にみると、西部地区で「増えた」（43.4%）が最も高く、「分からない」の割合は東部地区（68.0%）が最も高かった。「分からない」の割合は、函館駅前・大門地区からの距離におおむね比例している。

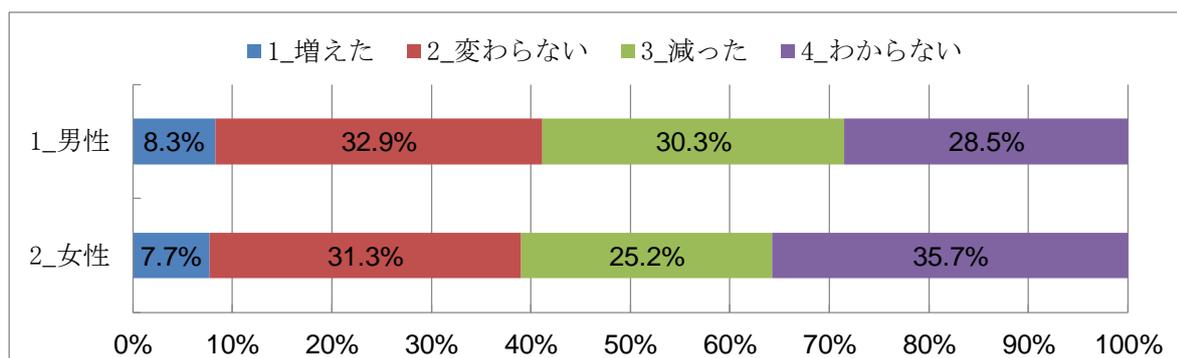
問 13 魅力的な商業施設（商店・飲食店）は増えたと思いますか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない

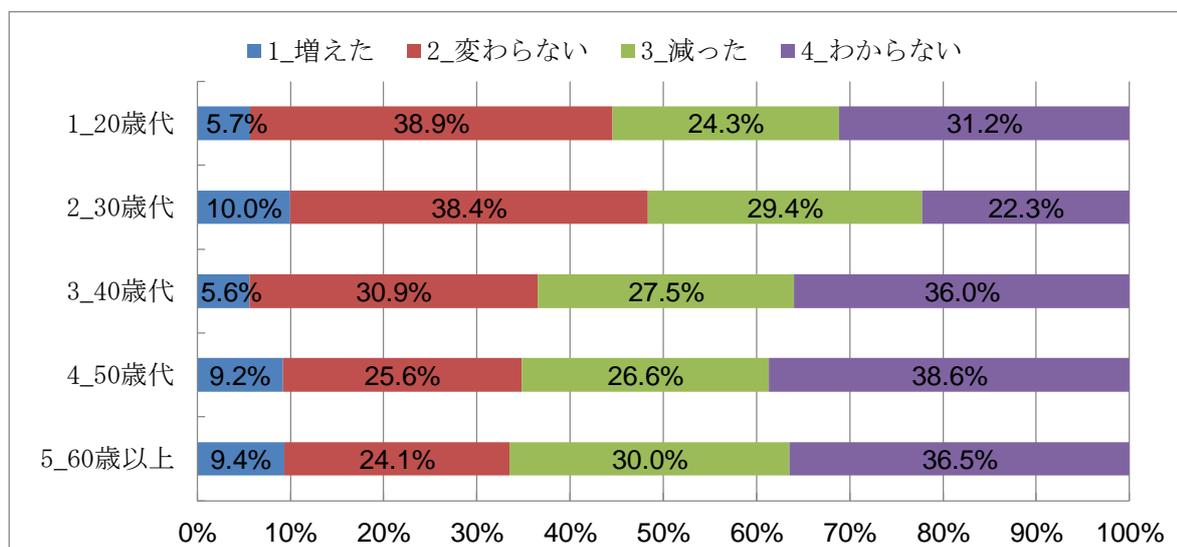
(全体)



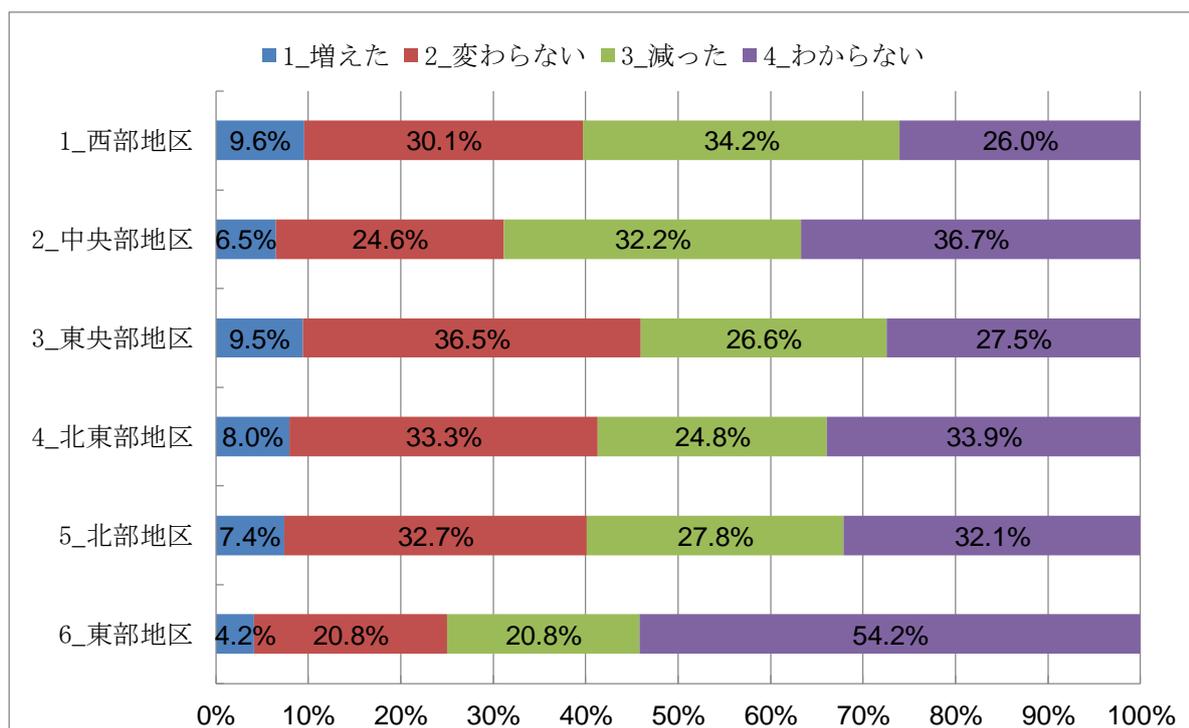
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

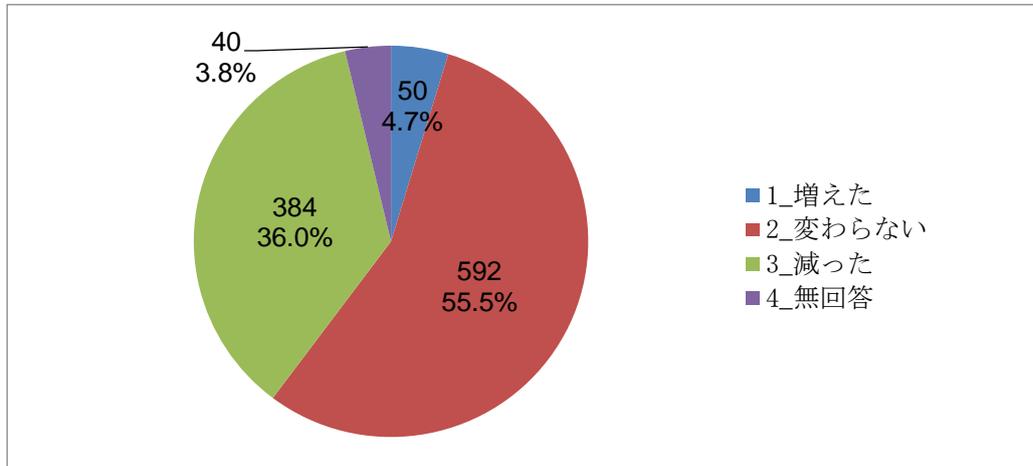


- ・ 函館駅前・大門地区の魅力的な商業施設が増えたかについては、全体では「増えた」（83人，7.8%）が10%未満と低くなっている。
- ・ 男女別で見ると、「分からない」が男性28.5%，女性35.7%と，女性のほうが「商業施設」に関心度が低いことが分かった。
- ・ 30歳代では「分からない」（22.3%）が，他の年代と比べて少なく，関心度が高いことが分かった。
- ・ 地域別にみると，東部地区は「分からない」（54.2%）の割合が高く，商業施設への関心度が低いことが分かった。

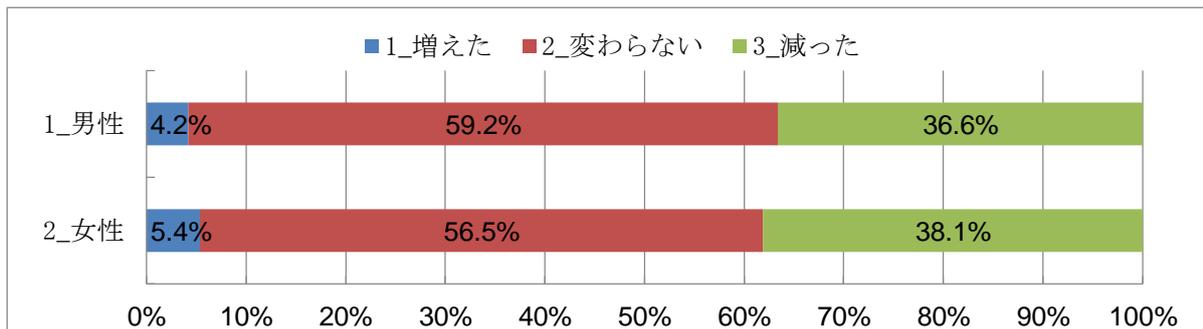
問 14 公共交通（路面電車・バス）を利用して訪れる機会は増えましたか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った

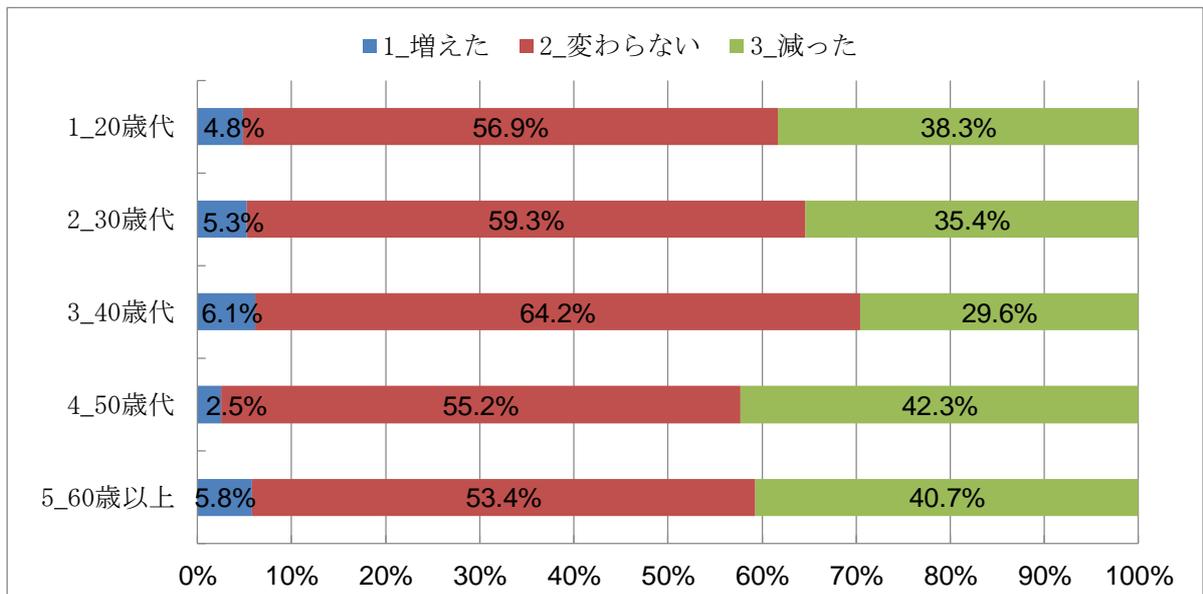
(全体)



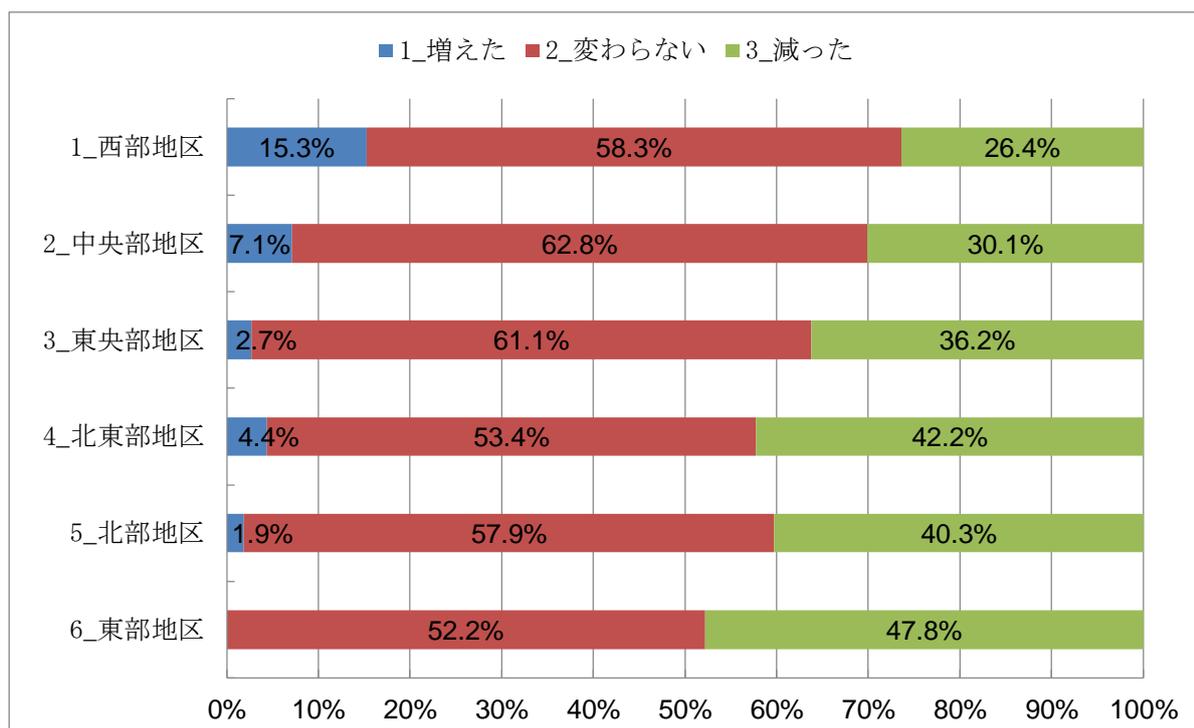
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

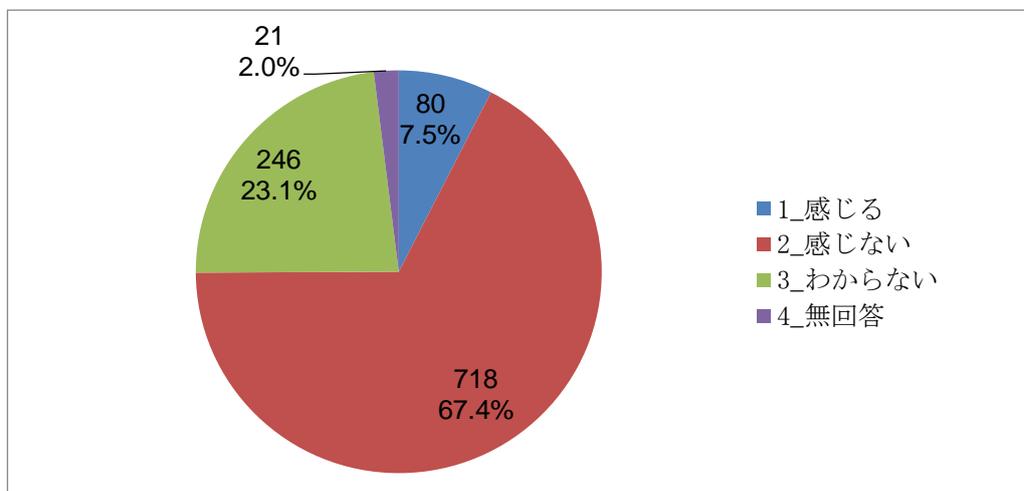


- ・ 函館駅前・大門地区で公共交通（路面電車・バス）を利用して訪れる機会は増えたかについては、全体では「変わらない」が592人（55.5%）で最も多く、次いで「減った」が384人（36.0%）が多かった。
- ・ 男女別でみると、各回答の比率はほぼ同じで、傾向の違いはみられなかった。
- ・ 年齢別にみると、50歳代で「減った」（42.3%）の割合が多かった。
- ・ 地域別にみると、東部地区は「減った」の割合が最も高く（47.8%）「増えた」と回答した人はいなかった。

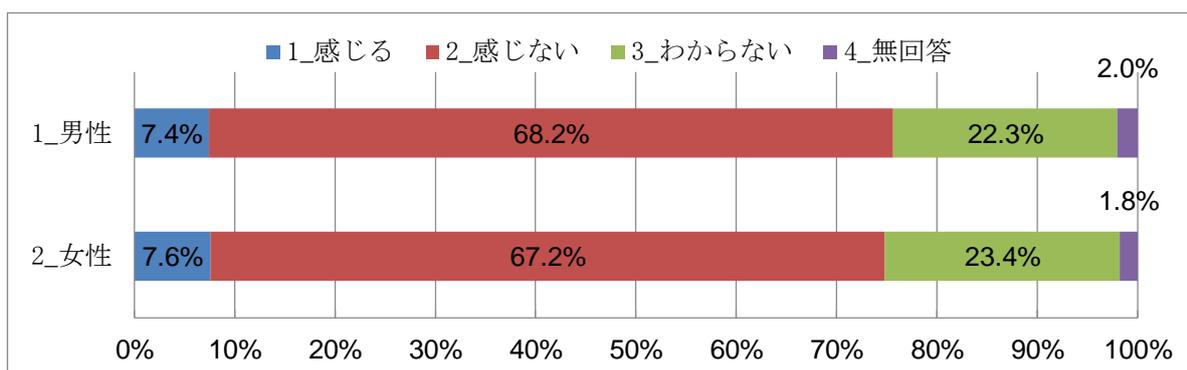
問 15 賑やかになってきたと感じますか

1. 感じる 2. 感じない 3. わからない 4. わからない

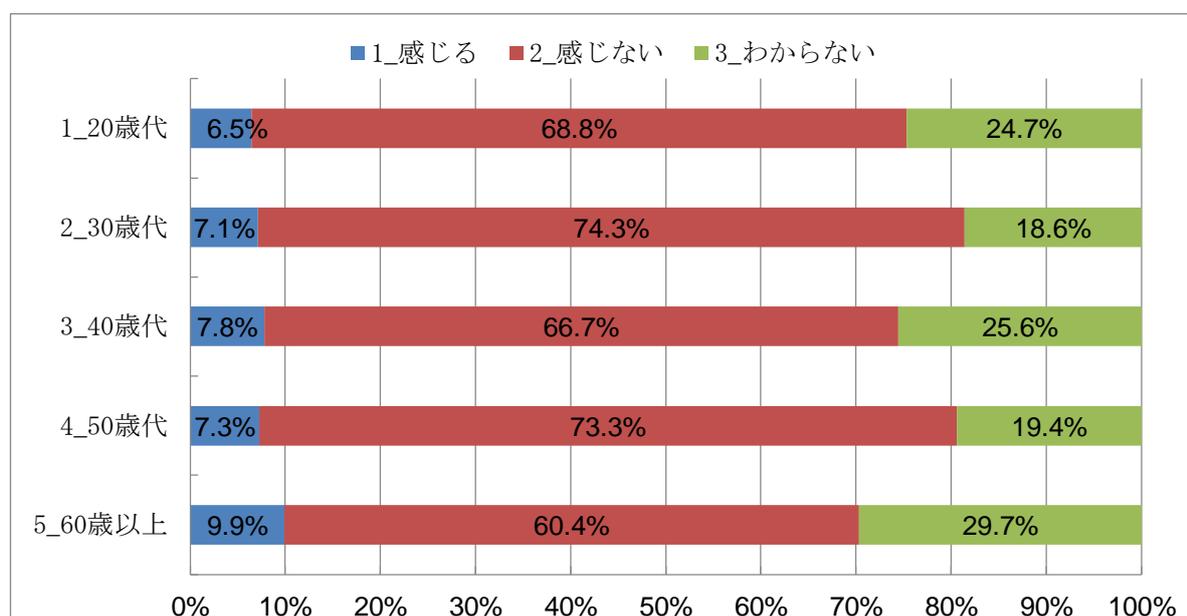
(全体)



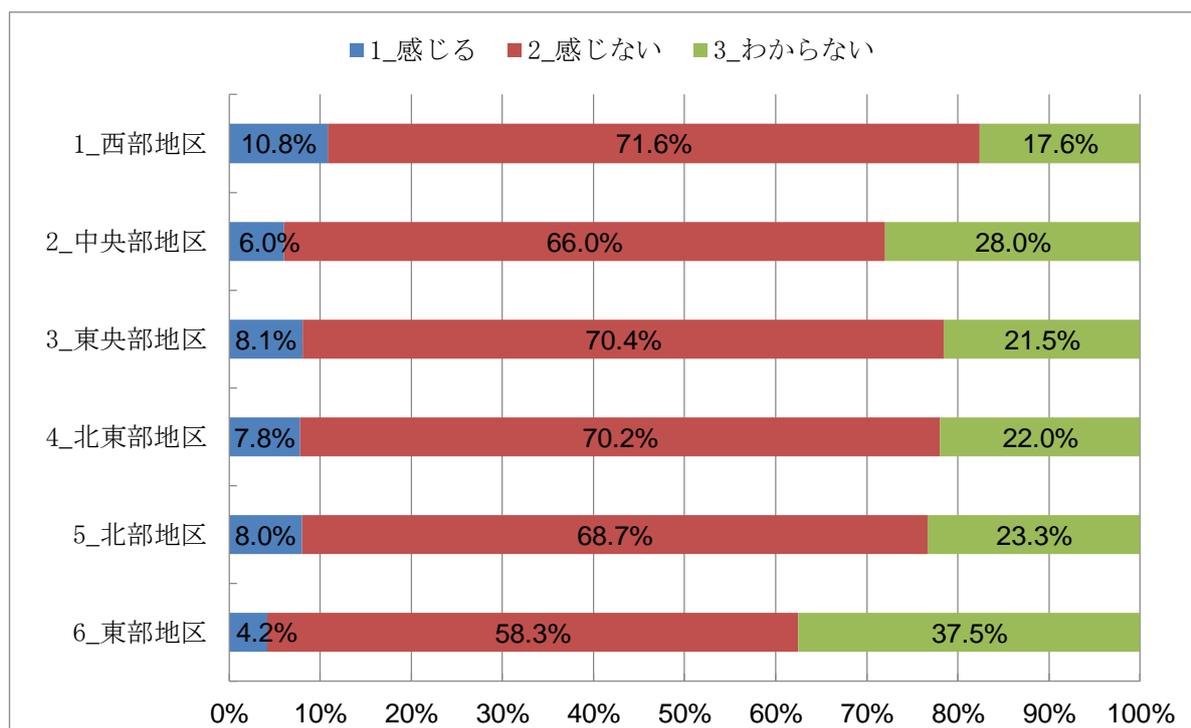
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

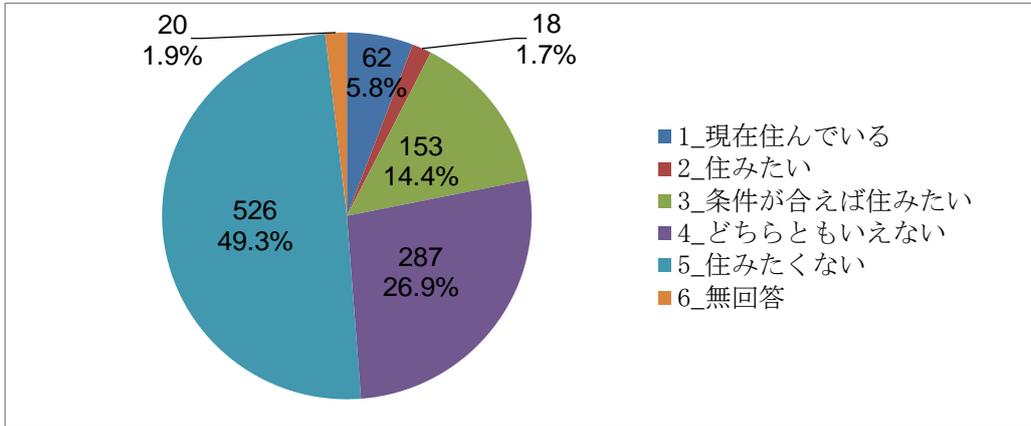


- ・ 函館駅前・大門地区について賑やかになってきたと感じるかについては、全体では「感じない」が718人（67.4%）で最も多く、次いで「分からない」が246人（23.1%）となった。
- ・ 男女別でみると、各回答の比率はほぼ同じで、特に大きな違いはみられなかった。
- ・ 年齢別にみると、「感じる」は60歳以上（9.9%）が最も多く、20歳代（6.5%）が最も少なかった。
- ・ 地域別にみると、「感じる」が西部地区で最も多く（10.8%）、次いで東央部地区が多かった（8.0%）。

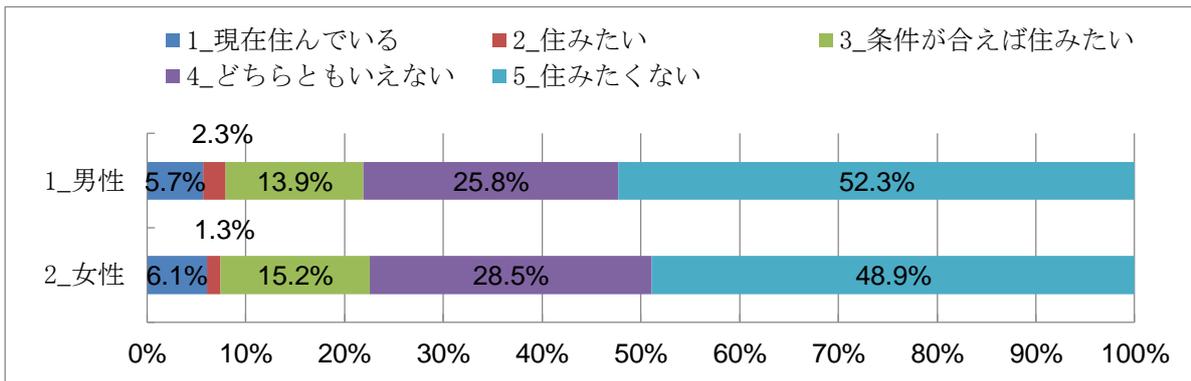
問 16 住みたいと思いますか

- 1. 現在住んでいる
- 2. 住みたい
- 3. 条件が合えば住みたい
- 4. どちらともいえない
- 5. 住みたくない

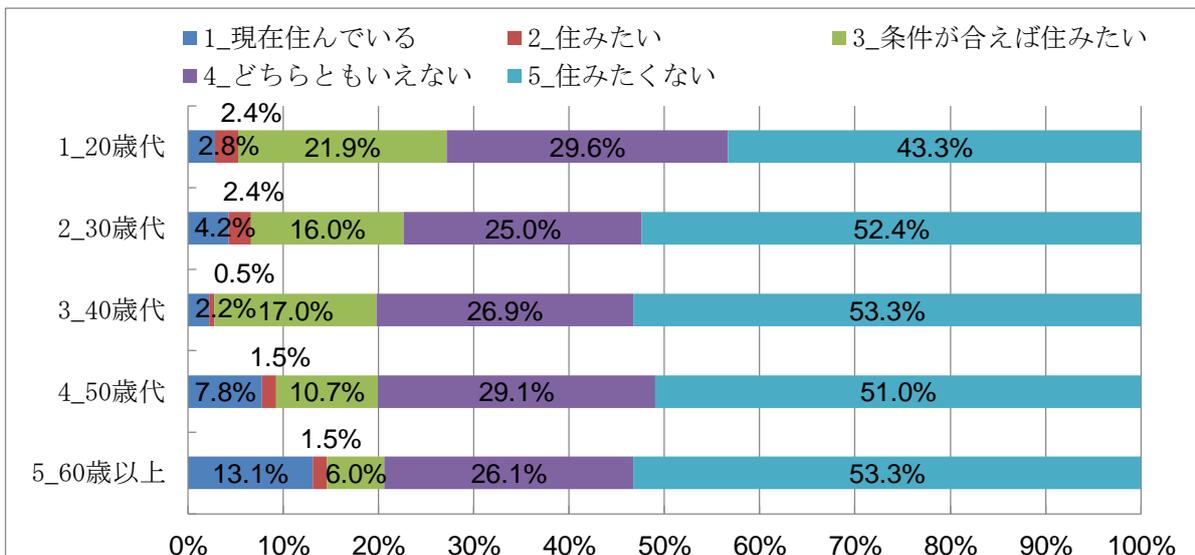
(全体)



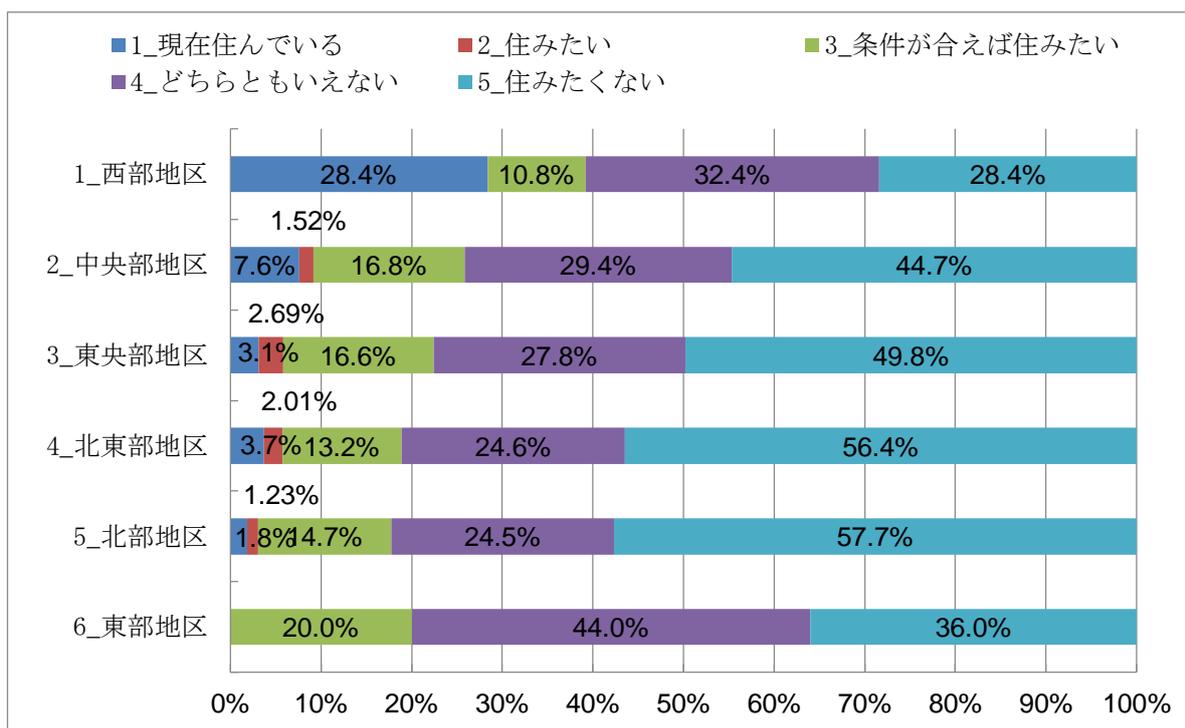
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



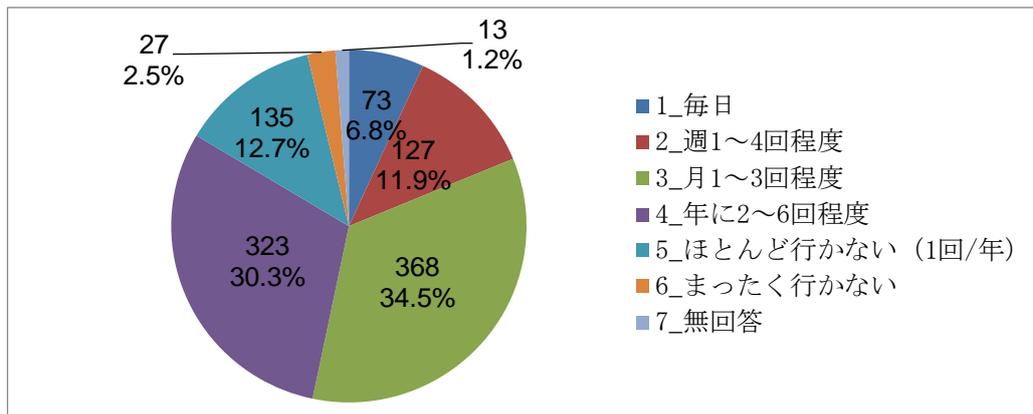
- ・ 函館駅前・大門地区に住みたいかについては、全体では「住みたくない」が526人（49.3%）と半数近くを占めた。
- ・ 男女別と年齢別で、特に大きな違いはみられなかった。
- ・ 年齢別にみると、各回答の比率はほぼ同じで、特に大きな違いはみられなかった。
- ・ 年齢別にみると、20歳代は「条件があえば住みたい」（21.9%）が他の世代より多かった。
- ・ 地域別にみると、「住みたくない」が北東部地区（56.4%）と、北部地区（57.7%）で全体の半数以上を占め、函館駅前・大門地区への居住に関心が低いことがうかがえた。

【本町・五稜郭地区についておたずねします。】

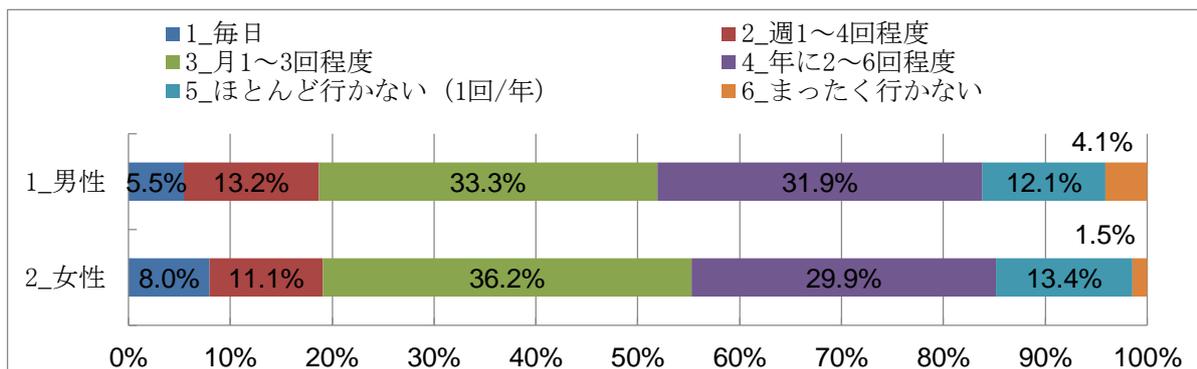
問 17 どれくらいの頻度で本町・五稜郭地区に行きますか

1. 毎日 2. 週1～4日程度 3. 月1～3回程度
 4. 年に2～6回程度 5. ほとんど行かない（年に1回程度）
 6. まったく行かない

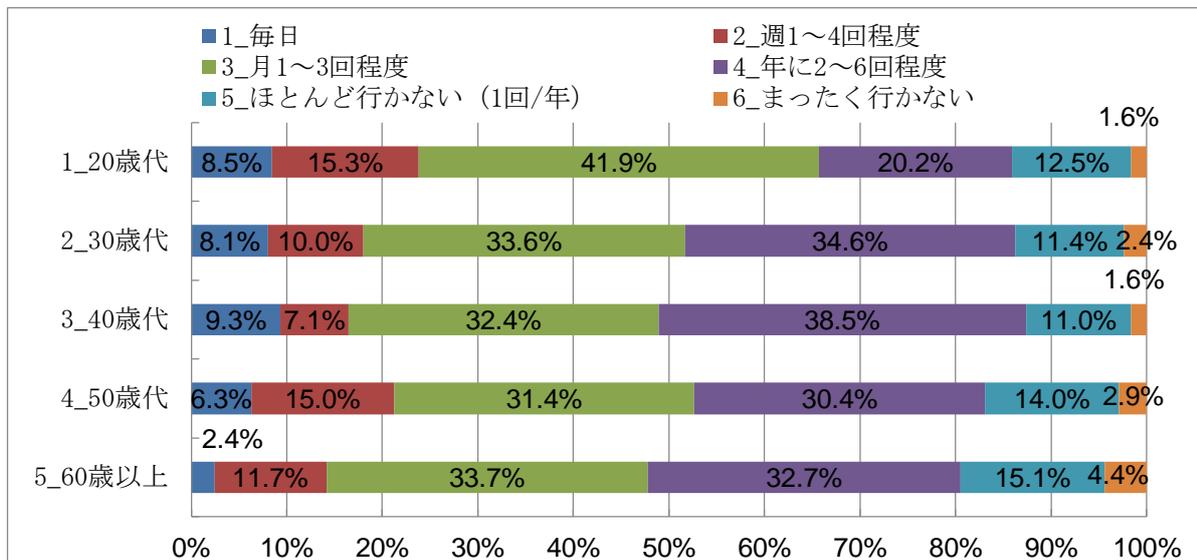
(全体)



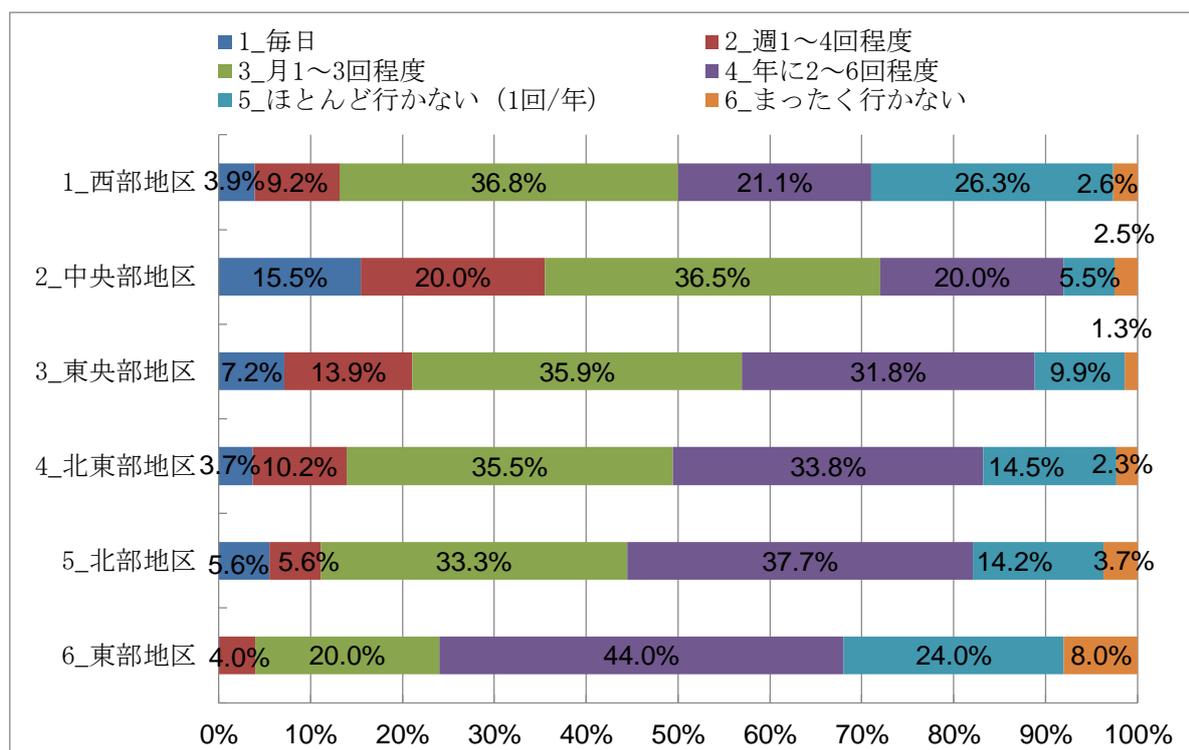
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

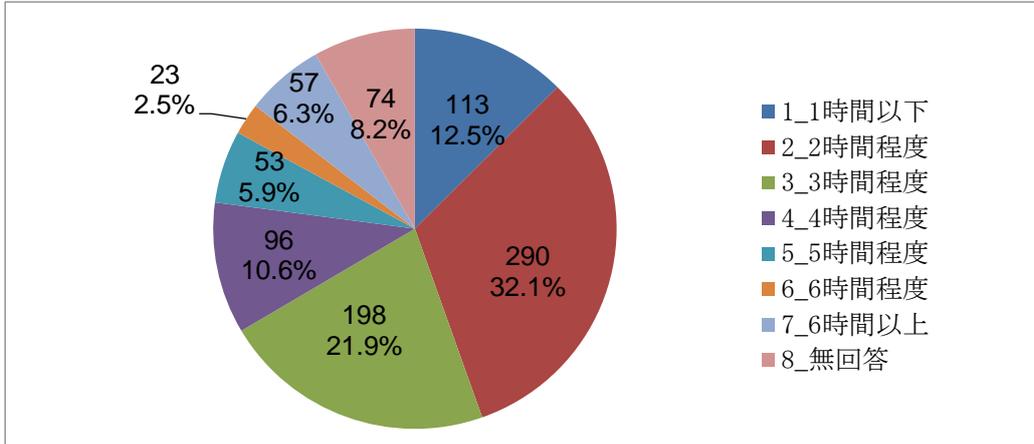


- ・ 本町・五稜郭地区に訪れる頻度については全体では「月1~3回程度」(368人, 34.5%)が最も多く、「毎日」・「週1~4回程度」・「月1~3回程度」の合計は568人(53.2%)となり、半数以上が日常的に街を訪れている。
- ・ 男女別で見ると、大きな違いはない。
- ・ 年齢別にみると、20歳代で「毎日」(8.5%)、「週1~4日程度」(15.3%)、「月1~3回程度」(41.9%)と、他の年代に比べて来街頻度が高かった。
- ・ 地域別にみると、中央部地区では「毎日」(15.5%)、「週1~4日程度」(20.0%)、「月1~3回程度」(36.5%)で、合計すると7割をこえる人が月に1回以上訪れることが分かった。

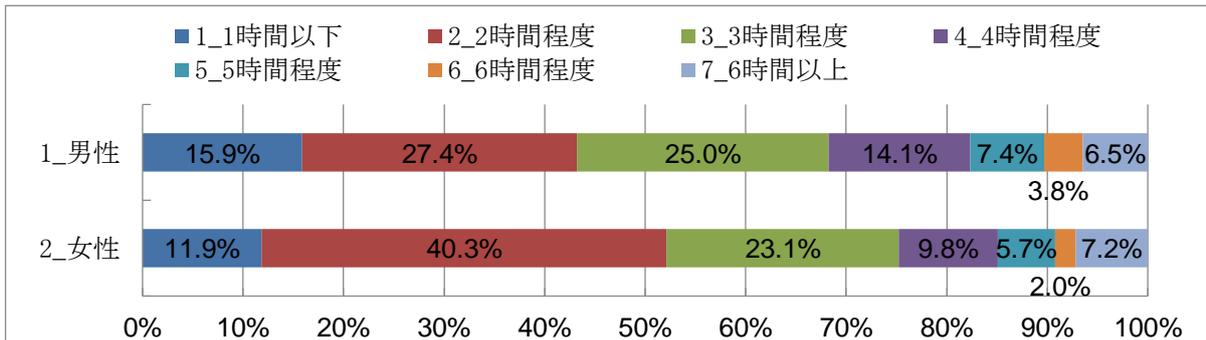
問 18 どれくらいの時間滞在されますか

1. 1 時間以下 2. 2 時間程度 3. 3 時間程度
 4. 4 時間程度 5. 5 時間程度 6. 6 時間程度
 7. 6 時間以上

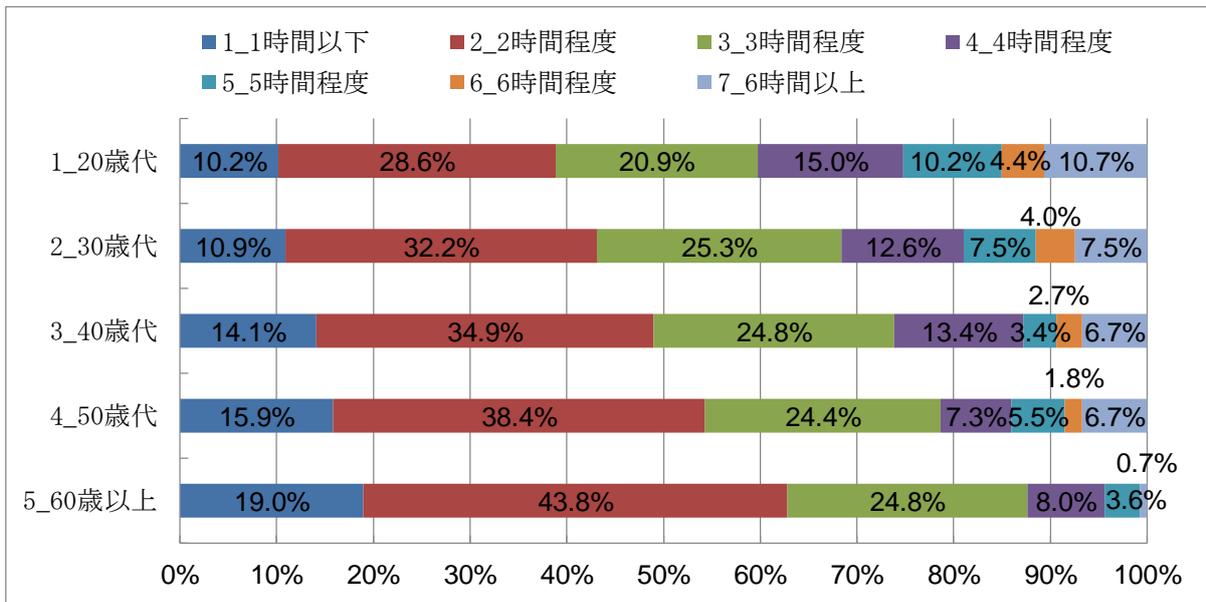
(全体)



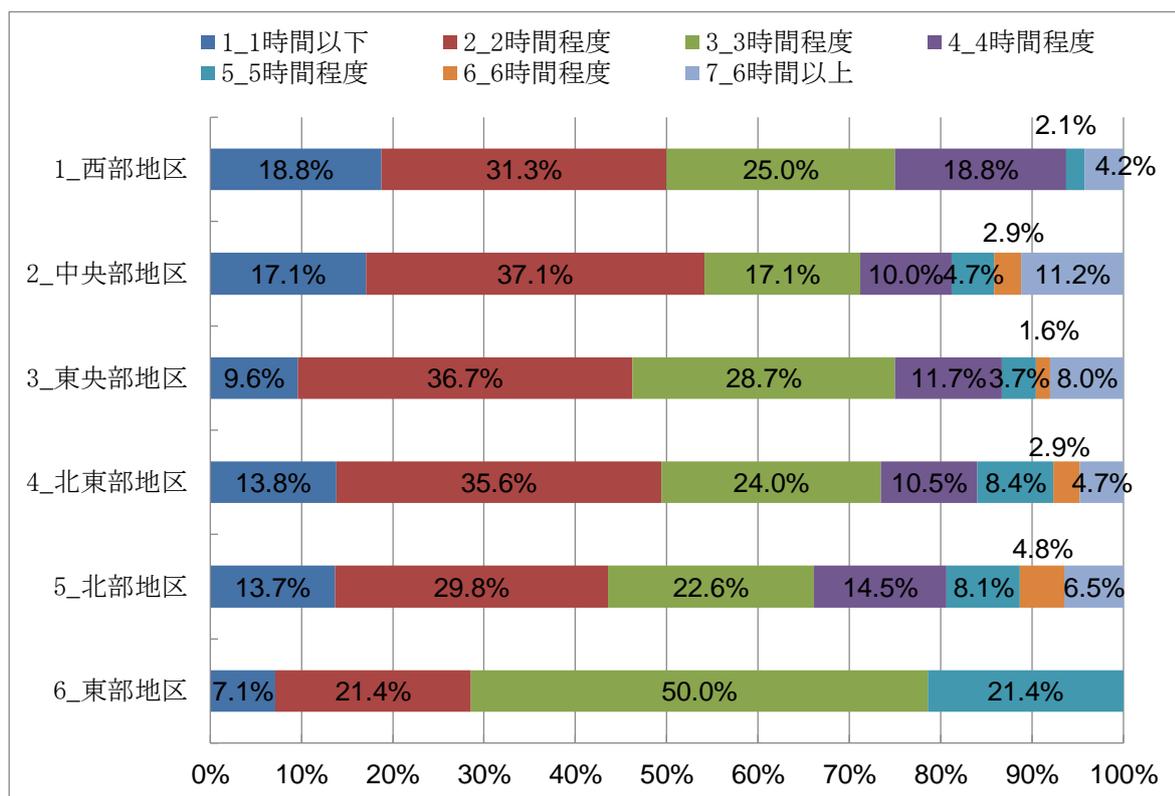
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



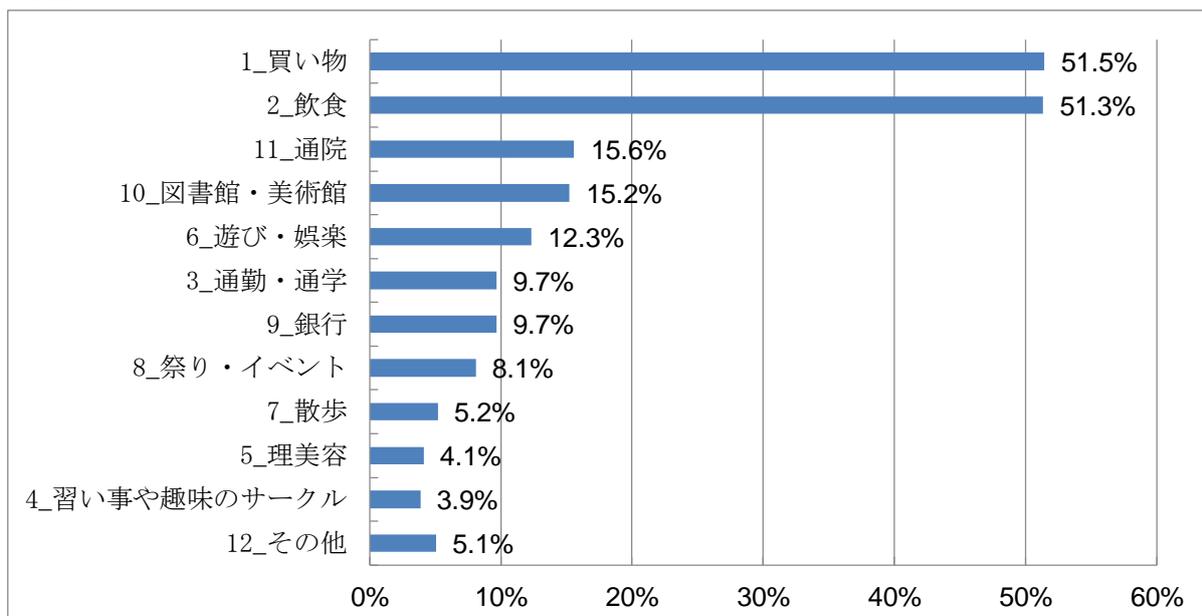
- ・ 本町・五稜郭地区に滞在する時間については、全体では「2時間程度」が290人（32.1%）で最も多く、次いで「3時間程度」が198人（21.9%）となった。
- ・ 男女別で見ると、女性は「2時間程度」の割合が最も多く、男性を大きく上回った。
- ・ 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて滞在時間が短くなる傾向が見られた。
- ・ 地域別にみると、西部地区や中央部地区の「1時間以下」の割合が他の地域に比べて多かった。
- ・ 東部地区については、2時間～3時間程度の割合が7割以上を占めた。
- ・ 10代20代ではおよそ90%が、その他の世代でも80%以上が2時間以上の滞在となっている。

問 19 平日に訪れるときの主な目的は何ですか

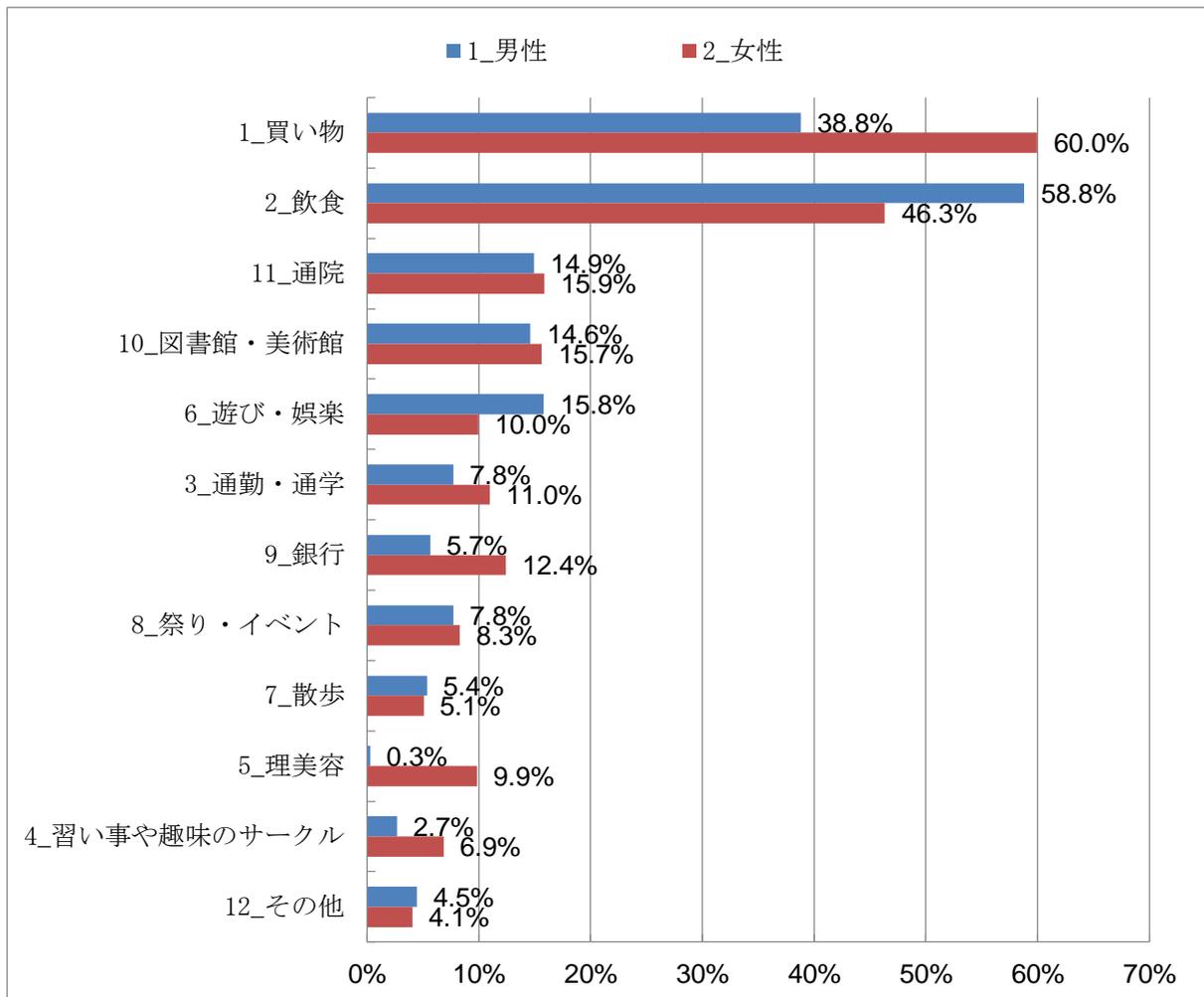
(複数回答 3 つまで)

- | | | |
|----------------|-------------|----------|
| 1. 買い物 | 2. 飲食 | 3. 通勤・通学 |
| 4. 習い事や趣味のサークル | 5. 理美容 | 6. 遊び・娯楽 |
| 7. 散歩 | 8. 祭り・イベント | |
| 9. 銀行 | 10. 図書館・美術館 | |
| 11. 通院 | 12. その他 | |

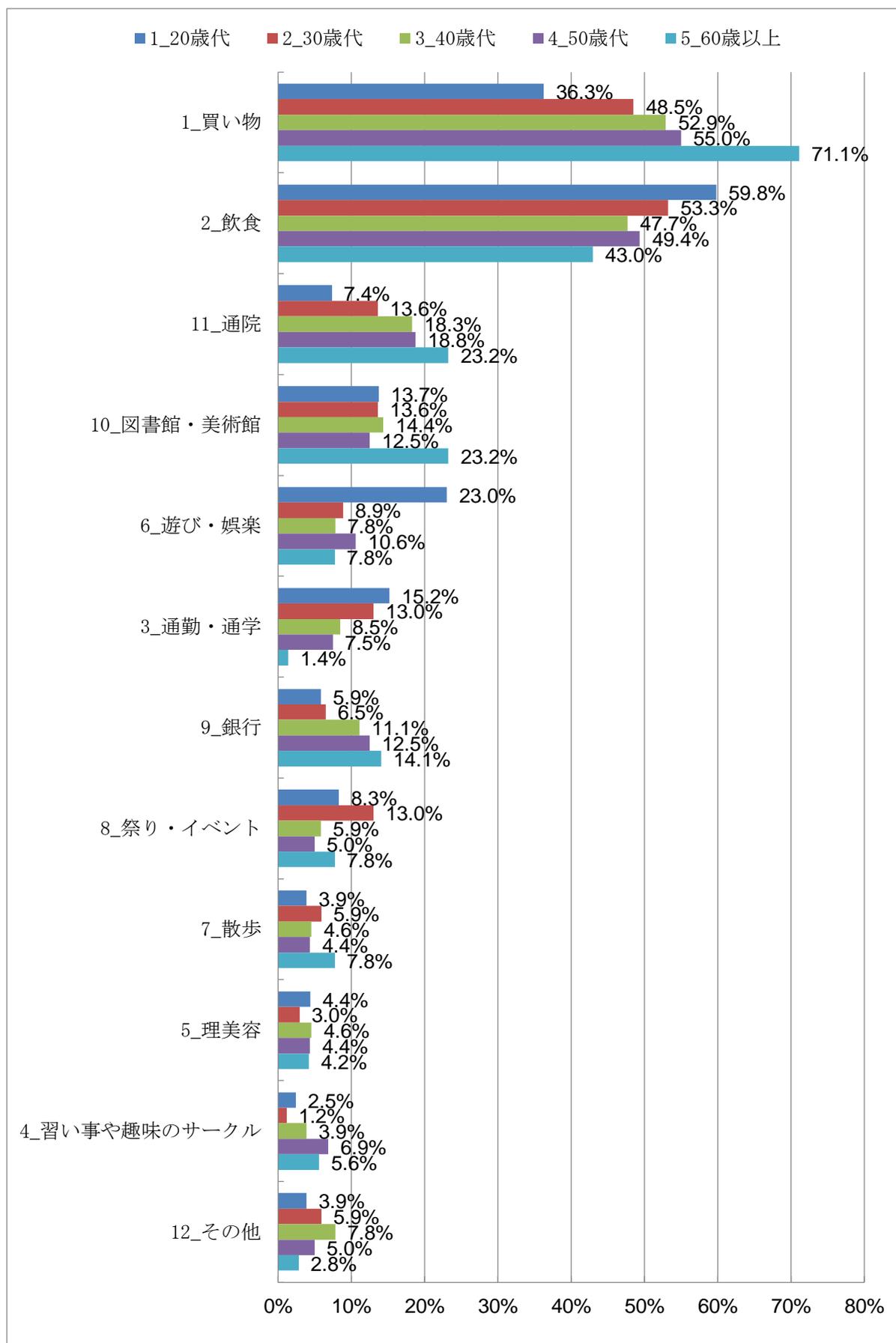
(全体)



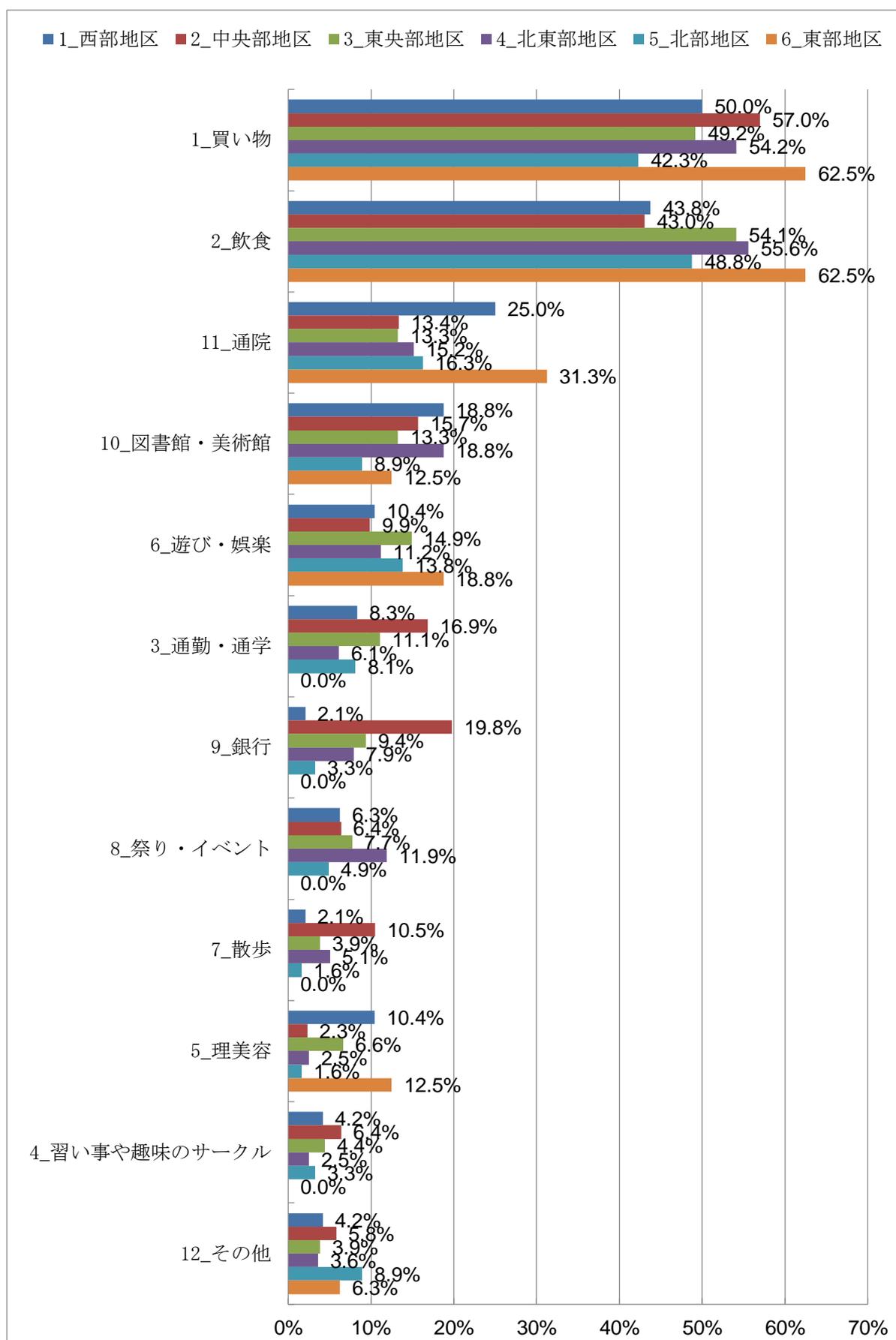
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分 類	意見数	比率
仕事	14	33.3%
平日は行かない	9	21.4%
住んでいる	3	9.5%
送迎	3	7.1%
勉強会・研修	1	7.1%
不動産管理会社に行く	1	2.4%
友人宅に行く	1	2.4%
お見舞い	1	2.4%
芸術ホール	1	2.4%
お寺	1	2.4%
ドラッグストアやクリーニング店	1	2.4%
アルバイト	1	2.4%
子供の習い事（塾等）	1	2.4%
無回答	4	2.4%
合 計	42	100.0%

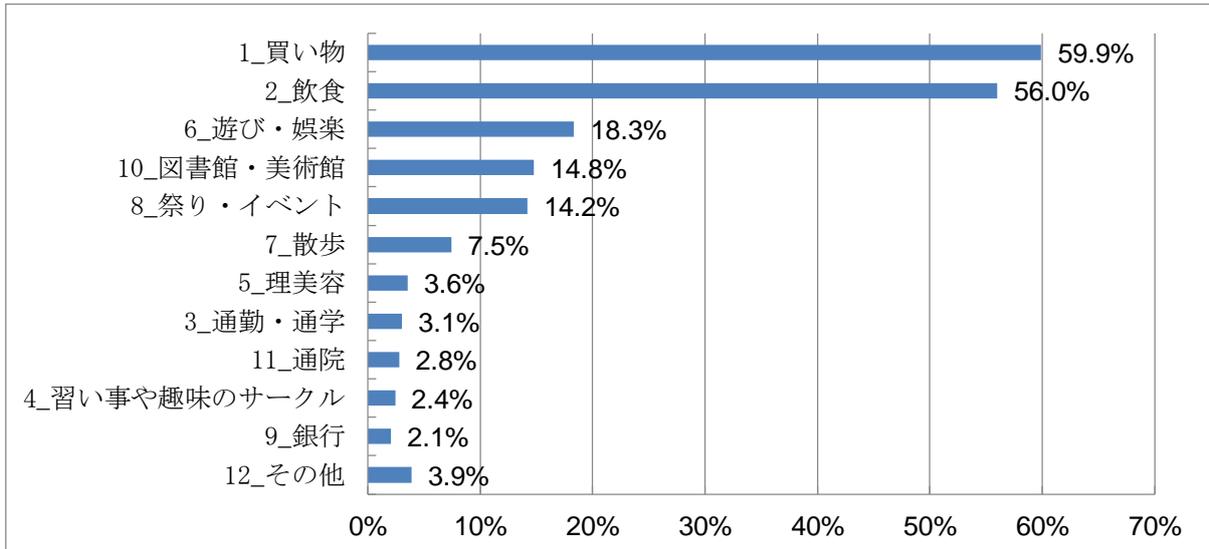
- ・ 本町・五稜郭地区を平日に訪れる主な目的については、全体では「買い物」（51.5%）が最も多く、次いで「飲食」（51.3%）となった。
- ・ 男女別でみると、「買い物」については女性が60.0%と男性の38.8%を大きく上回ったが、一方「飲食」については男性が58.8%と女性の46.3%に比べて多かった。
- ・ 年齢別にみると、「買い物」は年齢が上がるにつれて割合が多くなる傾向が見られた。反対に「飲食」は年齢が上がるにつれて割合は低くなる傾向が見られた。
- ・ 「遊び・娯楽」については、20歳代が23.0%と他の年代と比べて特に多かった。
- ・ 地域別にみると、どの地区でも「買い物」と「飲食」が多いが西部地区と東部地区では特に「通院」（25.0%、31.3%）が多かった。
- ・ その他については、「仕事」（33.3%）が最も多く、次いで「平日に行くことはない」（21.4%）となった。

問 20 休日に訪れるときの主な目的は何ですか

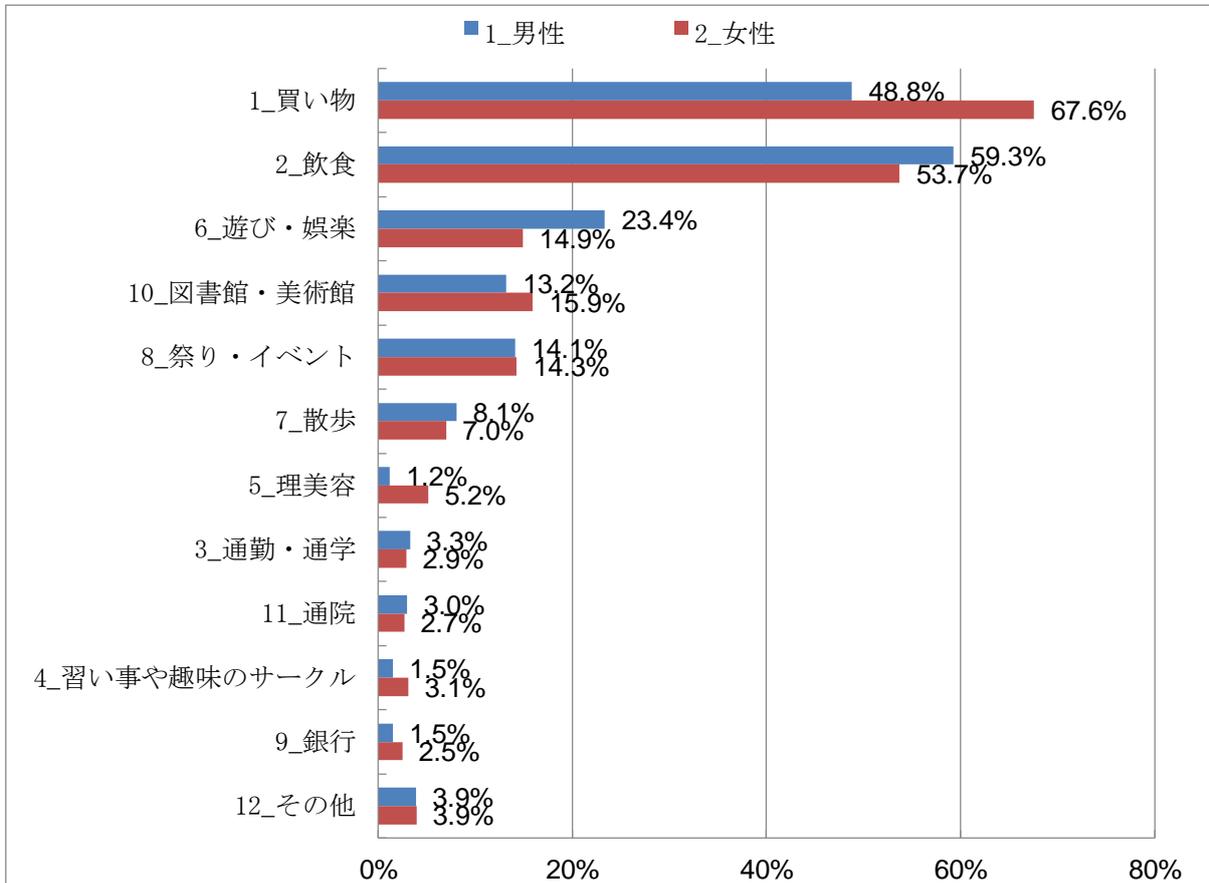
(複数回答 3 つまで)

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. 買い物 | 2. 飲食 | 3. 通勤・通学 |
| 4. 習い事や趣味のサークル | 5. 理美容 | 6. 遊び・娯楽 |
| 7. 散歩 | 8. 祭り・イベント | 9. 銀行 |
| 10. 図書館・美術館 | 11. 通院 | 12. その他 |

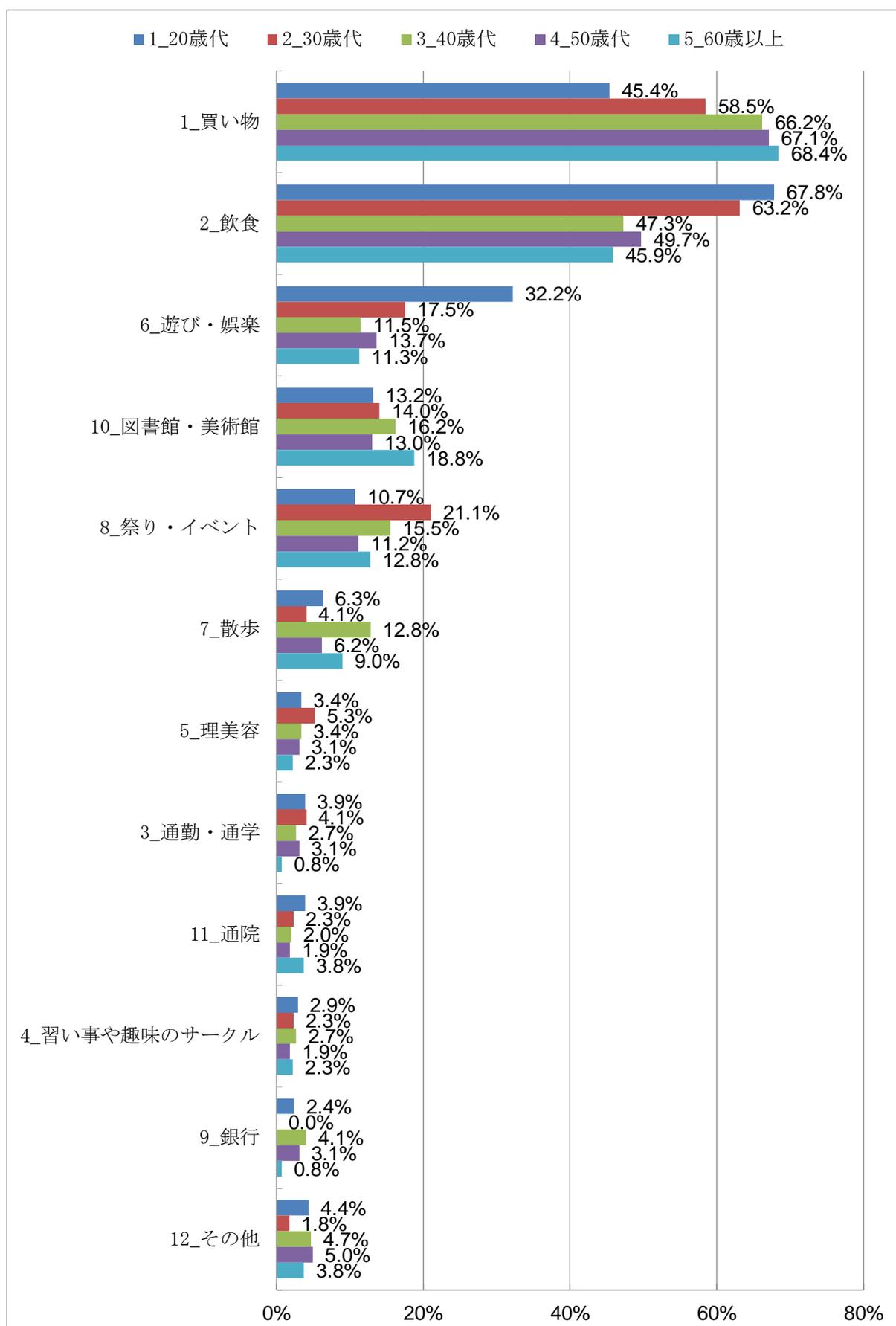
(全体)



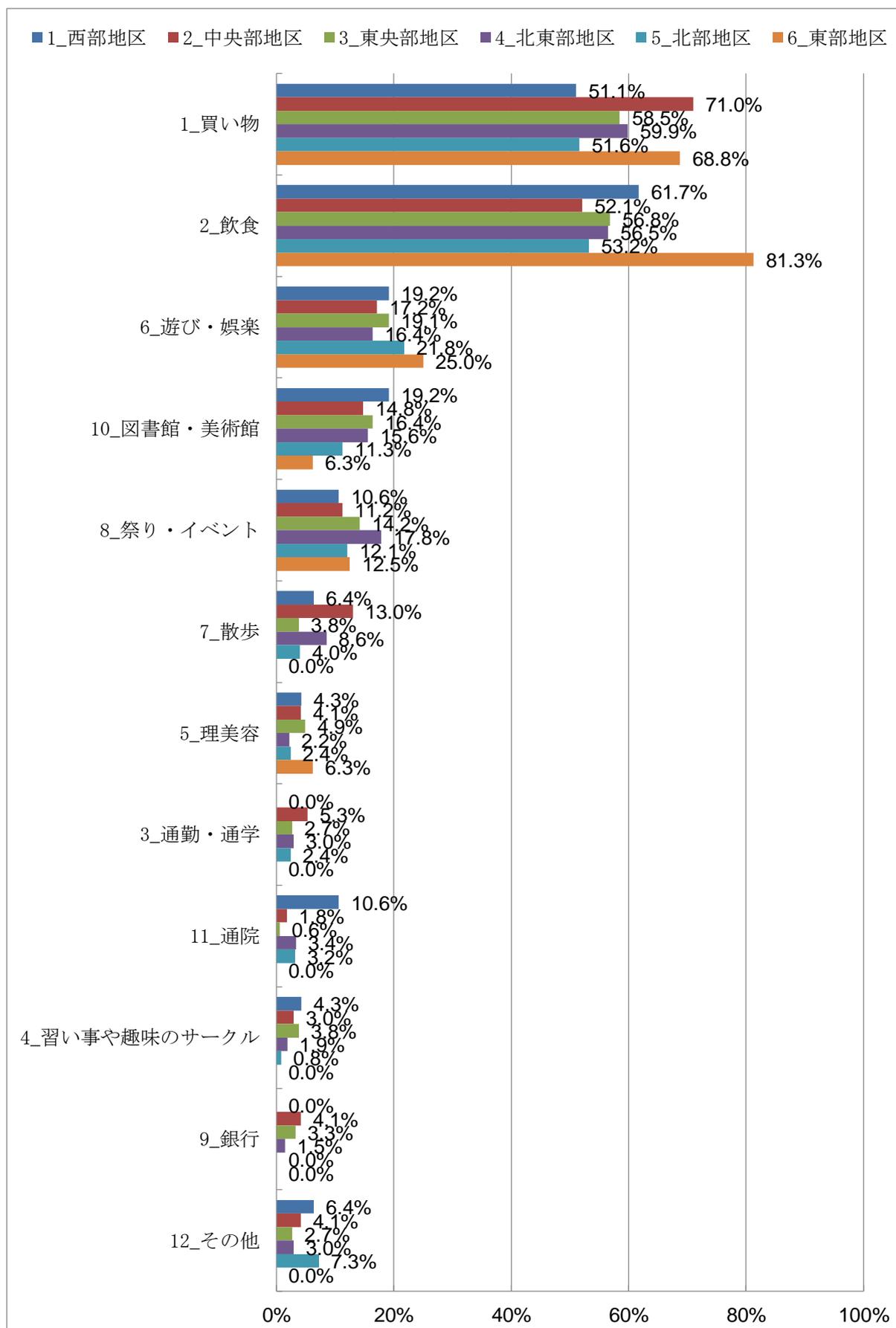
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分 類	意見数	比率
休日は行かない	11	34.4%
仕事	4	12.5%
送迎	3	9.4%
住んでいる	2	6.2%
保健センター	2	6.2%
演奏会	1	3.1%
デパートのイベント	1	3.1%
アルバイト	1	3.1%
コーヒー豆を買いに行く	1	3.1%
お見舞い	1	3.1%
子供の習い事（塾等）	1	3.1%
無回答	4	12.5%
合 計	32	100.0%

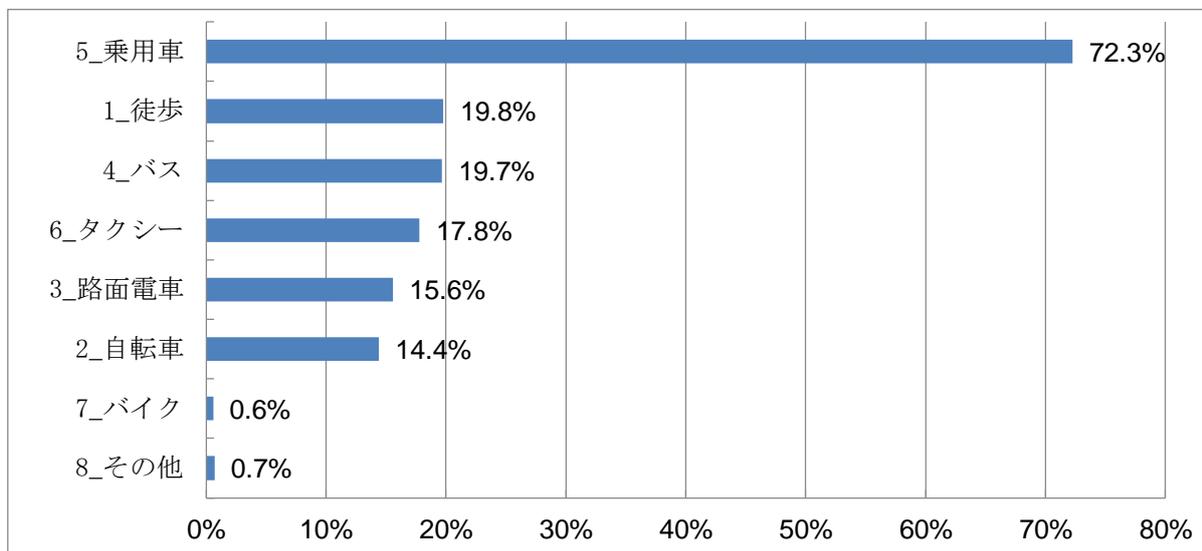
- ・ 本町・五稜郭地区を休日に訪れる目的で最も多かったのは「買い物」（59.9%）、次いで「飲食」（56.0%）となった。
- ・ 「遊び・娯楽」は平日では5番目の回答数だったが、休日は3番目に回答が多かった。また「祭り・イベント」は平日では8番目の回答数だったが休日では5番目に回答が多く、平休日での違いが見られた。
- ・ 男女別でみると、「買い物」については女性が67.6%と男性の48.8%を大きく上回ったが、一方「飲食」については男性が59.3%と女性の53.7%に比べて多かった。
- ・ 年齢別にみると、「買い物」は40歳代・50歳代・60歳以上で特に割合が高かった。平日と休日の違いが見られた。
- ・ 地域別にみると、中央部地区では「買い物」（71.0%）の割合が特に高く、東部地区は「買い物」（68.8%）、「飲食」（81.3%）がともに高かった。
- ・ その他については「休日は行かない」（34.4%）が最も多かった。

問 21 主にどのような交通手段を使いますか

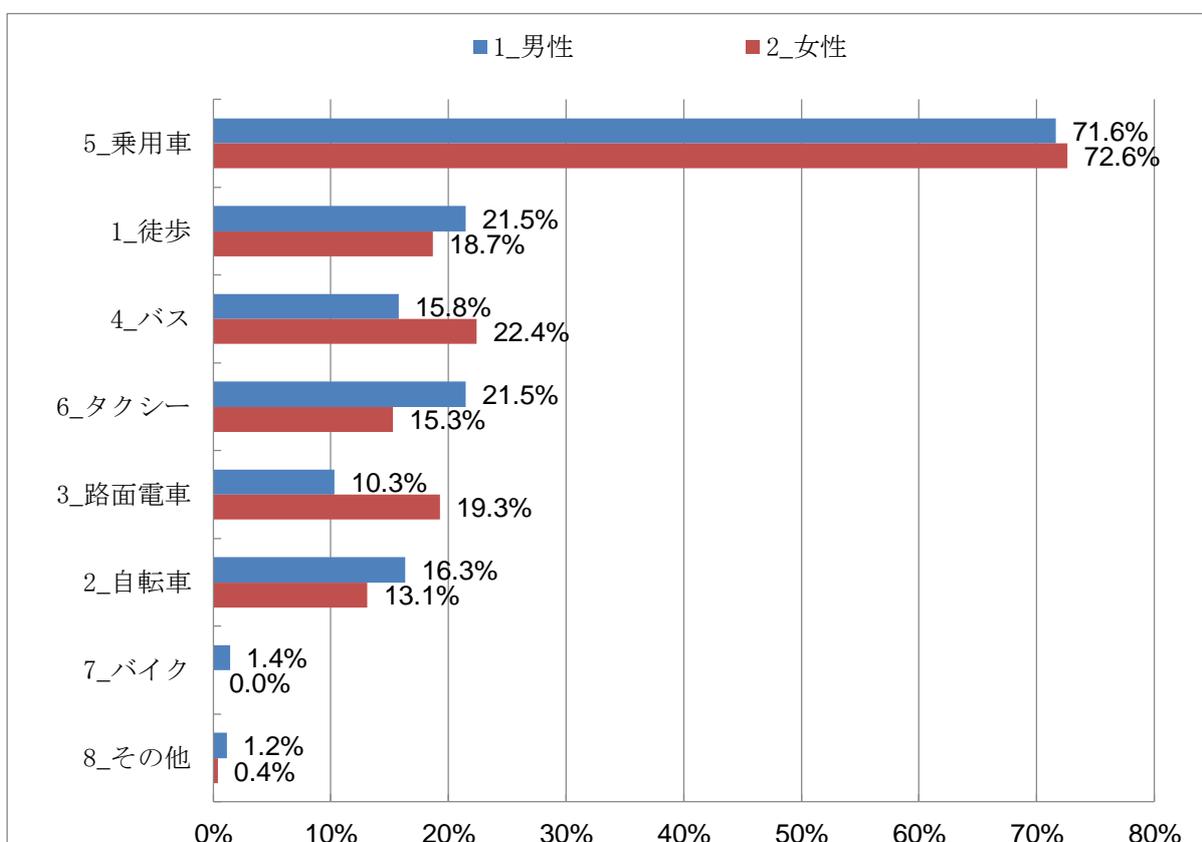
(複数回答 3 つまで)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 路面電車 4. バス
 5. 乗用車 6. タクシー 7. バイク 8. その他

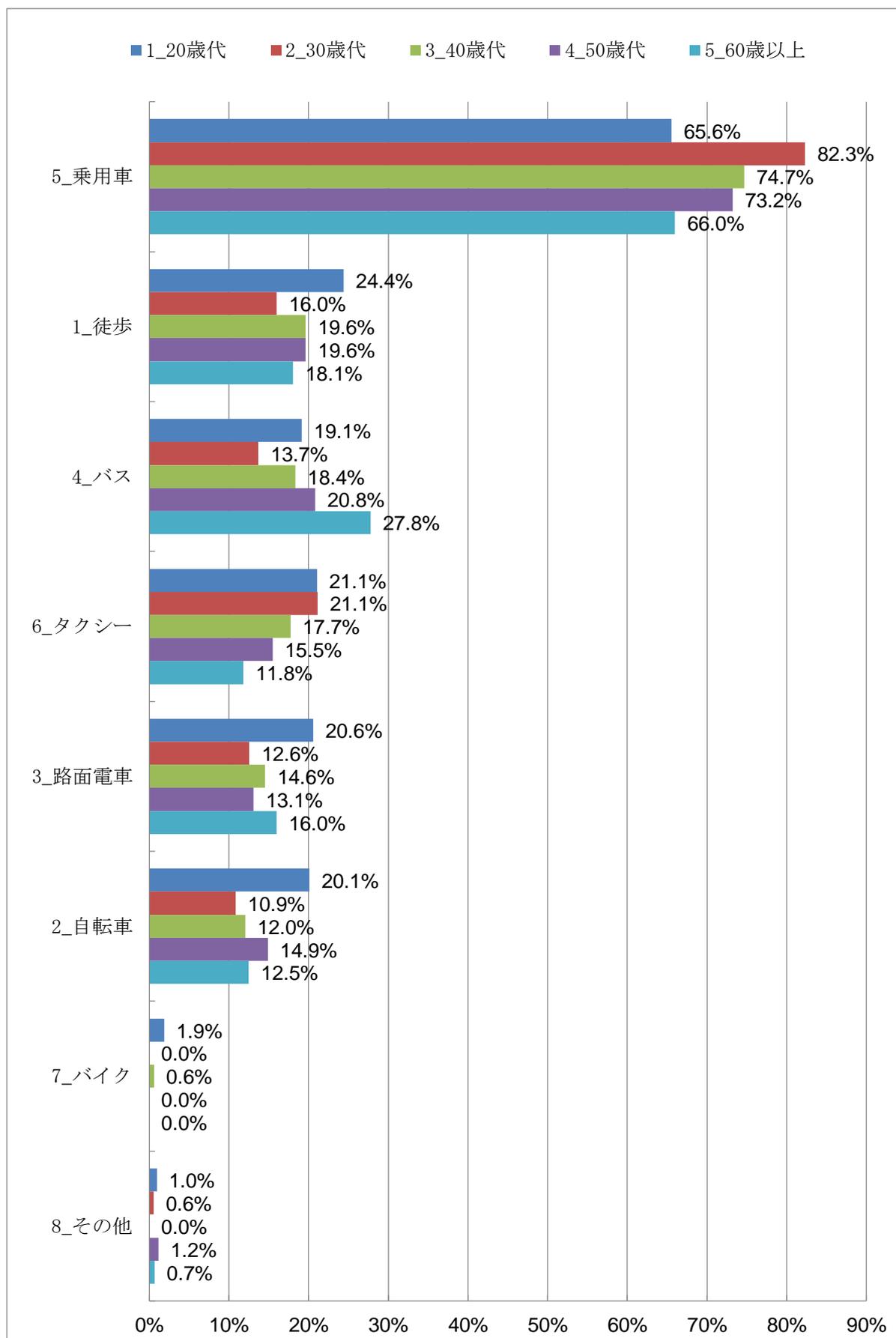
(全体)



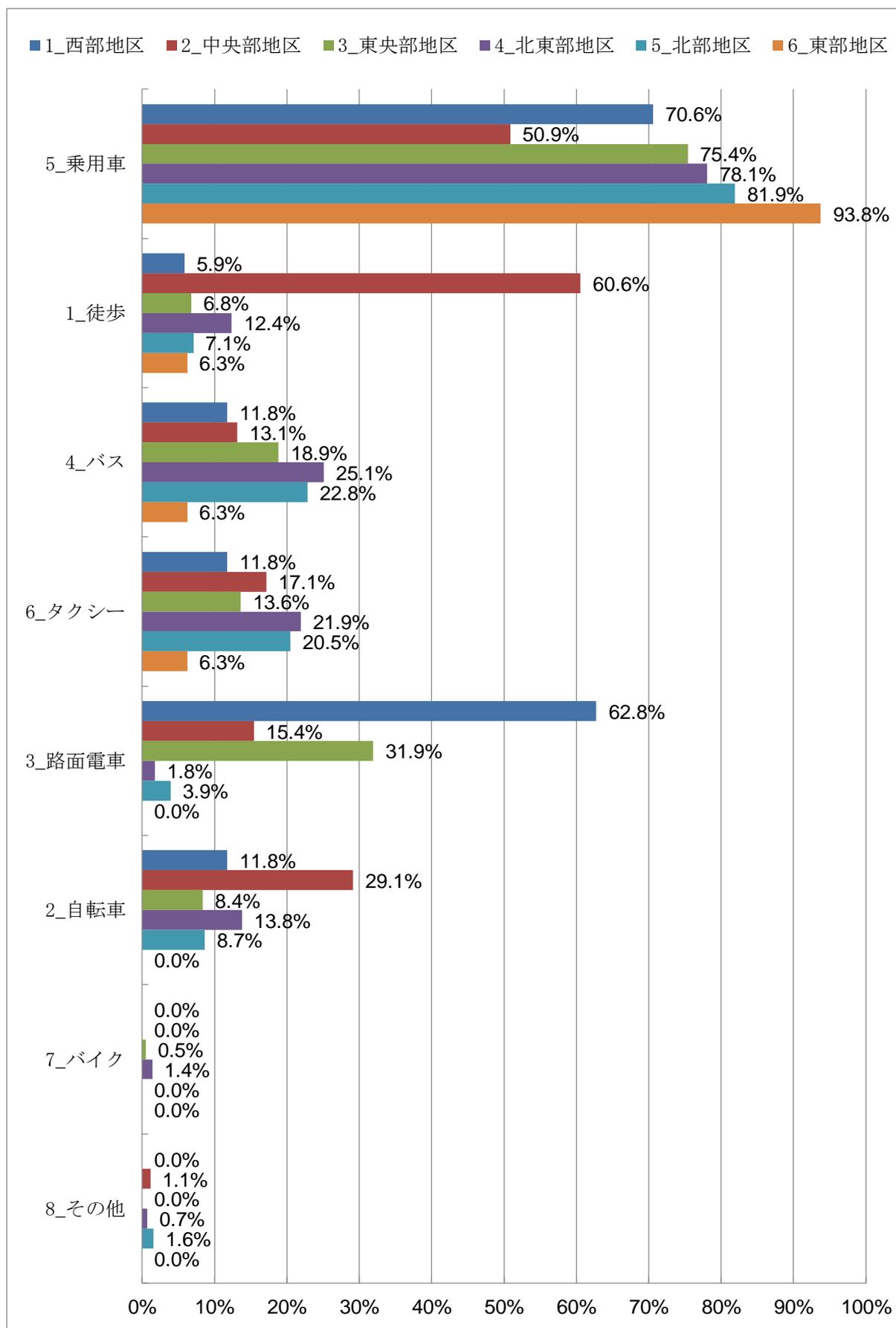
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分類	意見数	比率
住んでいる	2	33.3%
ジョギング	1	16.7%
家族に送迎してもらおう	1	16.7%
無回答	2	33.3%
合計	29	100.0%

- ・ 本町・五稜郭地区に訪れる主な交通手段では、全体では「乗用車」(72.3%)が最も多かった。
- ・ 男女別で見ると、「路面電車」では男性(10.3%)よりも、女性(19.3%)のほうが倍近く多かった。
- ・ 年齢別にみると、他の年代に比べて、20歳代では「自転車」(20.1%)「路面電車」(20.6%)の割合が高く、60歳以上では「バス」(27.8%)の割合が高かった。
- ・ 地域別で見ると、中央部地区の「乗用車」は少なく、「徒歩」の割合が高く、西部地区では、「路面電車」(62.8%)を利用する割合が特に高かった。

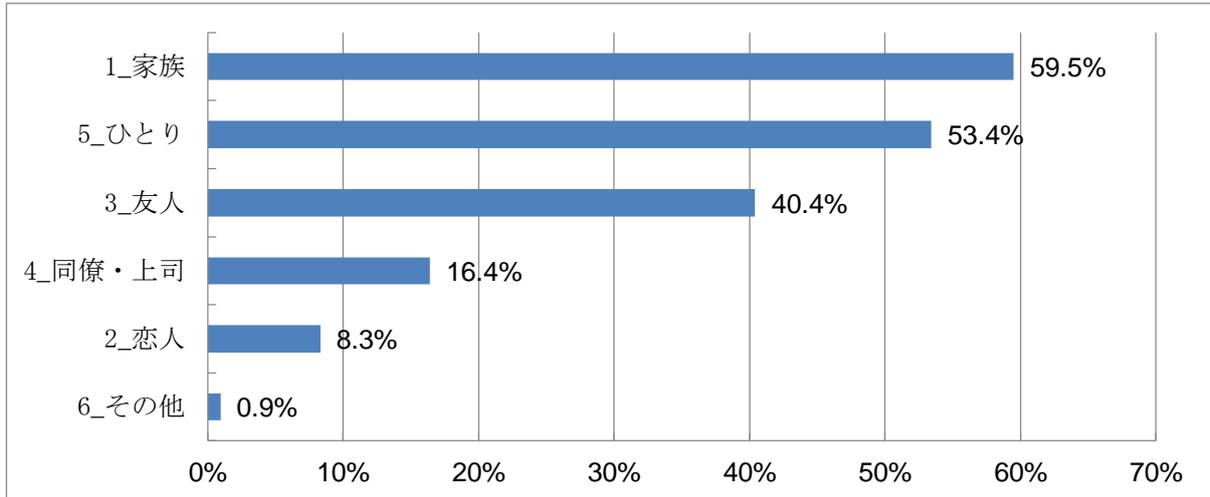
【本町・五稜郭地区について】

問 22 誰と訪れますか

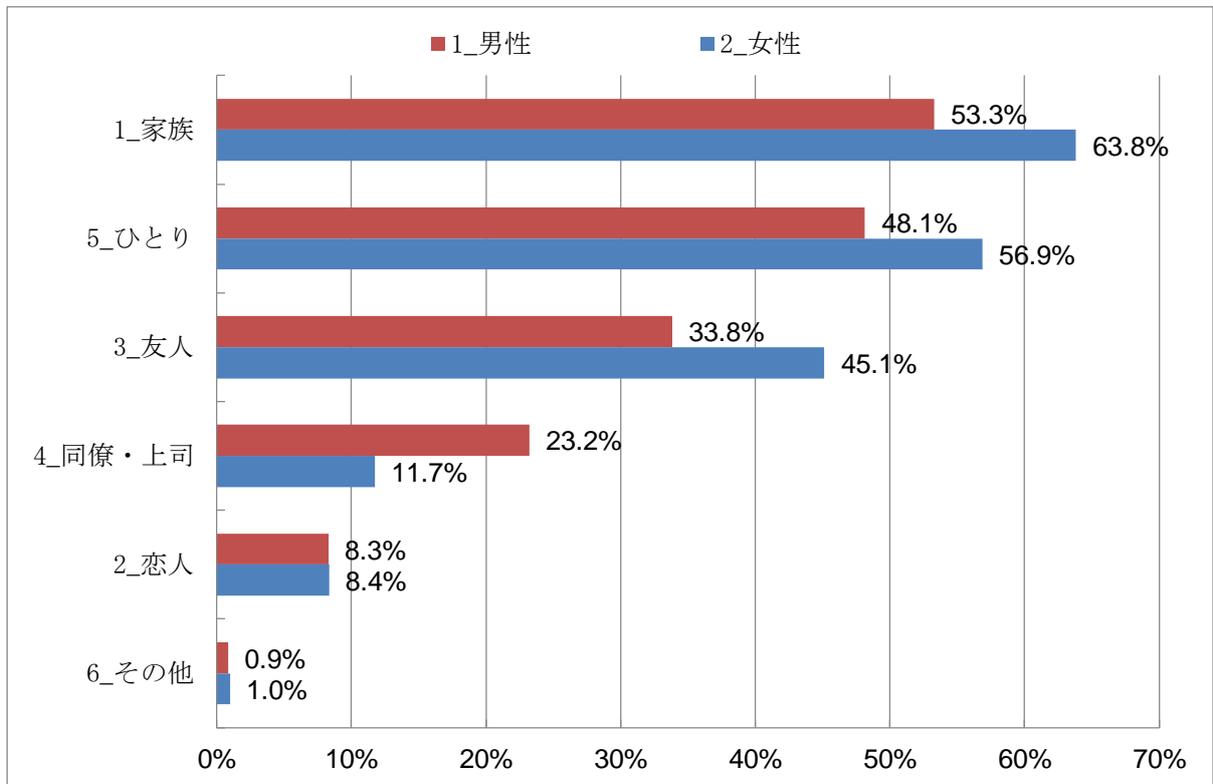
(複数回答 3 つまで)

1. 家族 2. 恋人 3. 友人 4. 同僚・上司
5. ひとり 6. その他

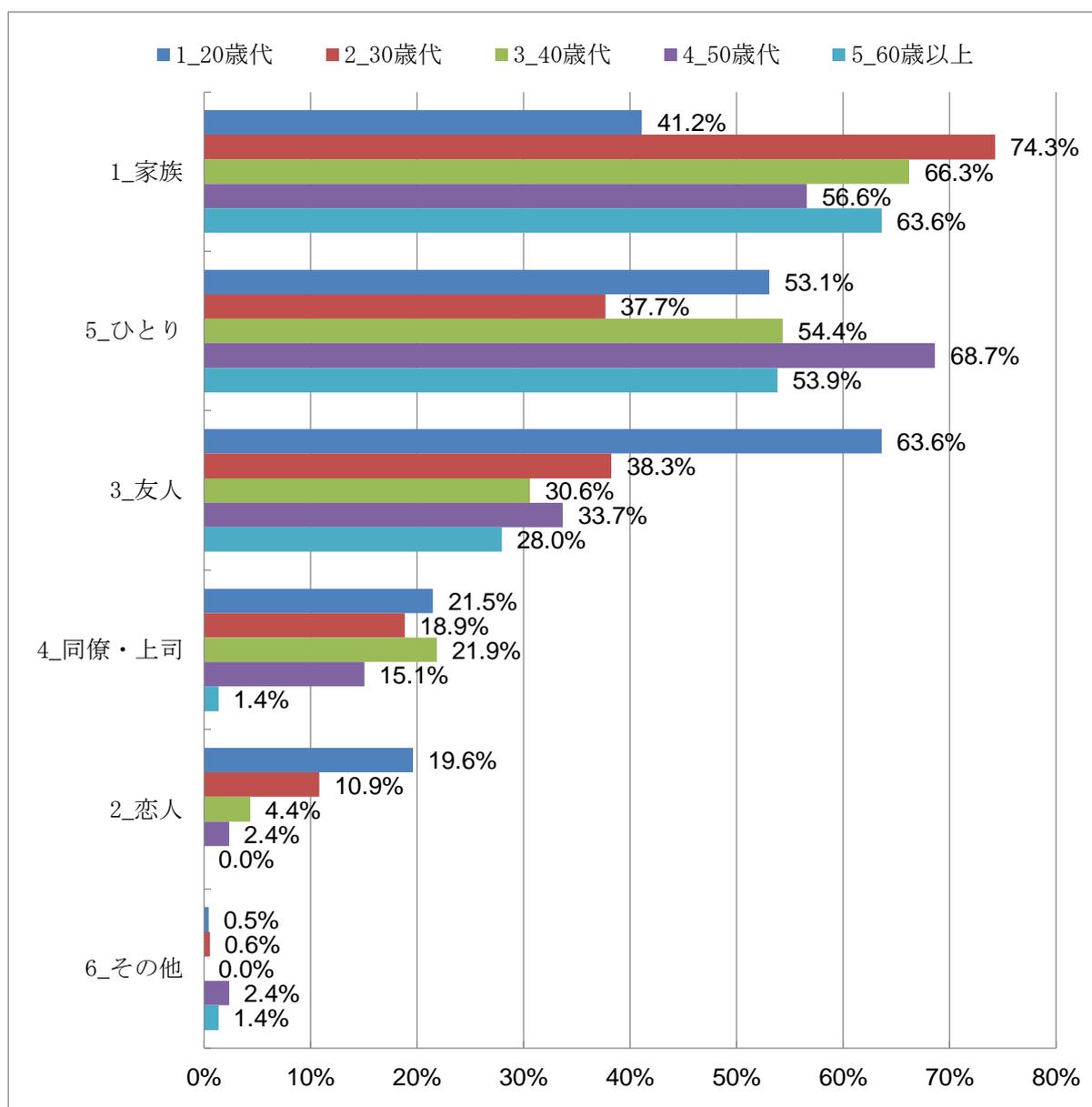
(全体)



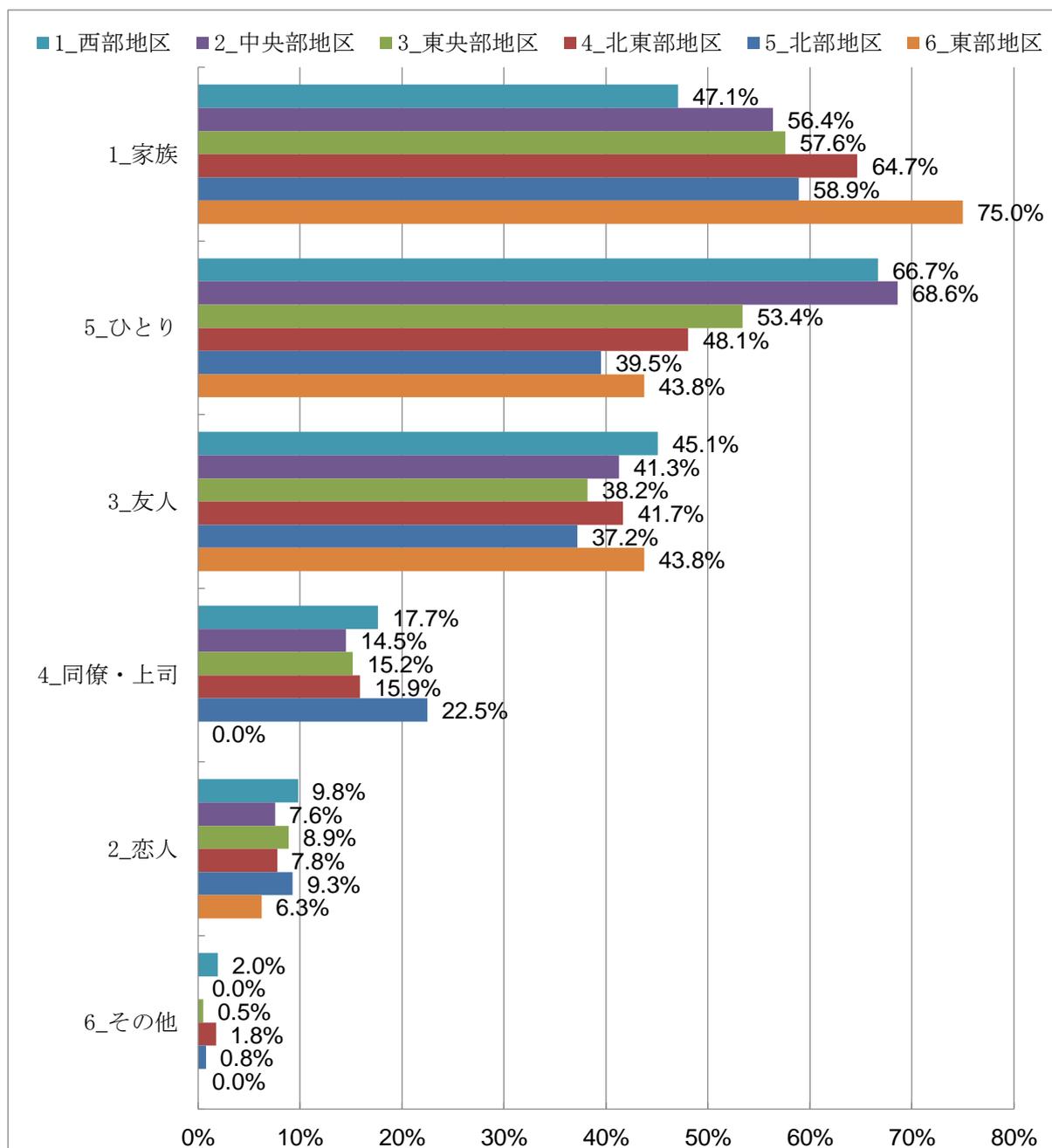
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分 類	意見数	比率 (%)
介護士, ヘルパー	1	12.5%
教授	1	12.5%
無回答	6	75.0%
合 計	8	100.0%

- ・ 本町・五稜郭地区に誰と訪れるかについては、全体では「家族」(59.5%)が最も多く、次いで「ひとり」(53.4%)、「友人」(40.4%)だった。
- ・ 男女別にみると、大きな違いはないが、「同僚・上司」については男性(23.2%)が女性(11.7%)を大きく上回った。
- ・ 年齢別にみると、20歳代では「友人」(63.6%)と訪れる割合が最も高く、50歳代以上では「ひとり」(68.7%)が最も高かった。
- ・ 地域別にみると、西部地区と中央部地区では「ひとり」(66.7%, 68.6%)が最も多い一方、東部地区では「家族」(75.0%)の割合が非常に高かった。

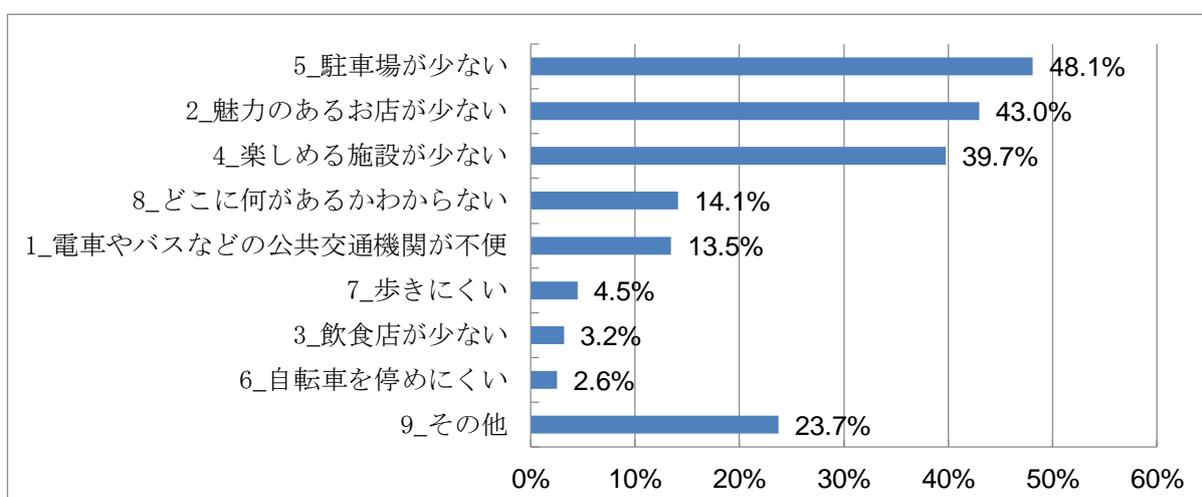
【問 17 で「ほとんど行かない」「まったく行かない」と答えた方におたずねします。】

問 23 行かない理由は何ですか

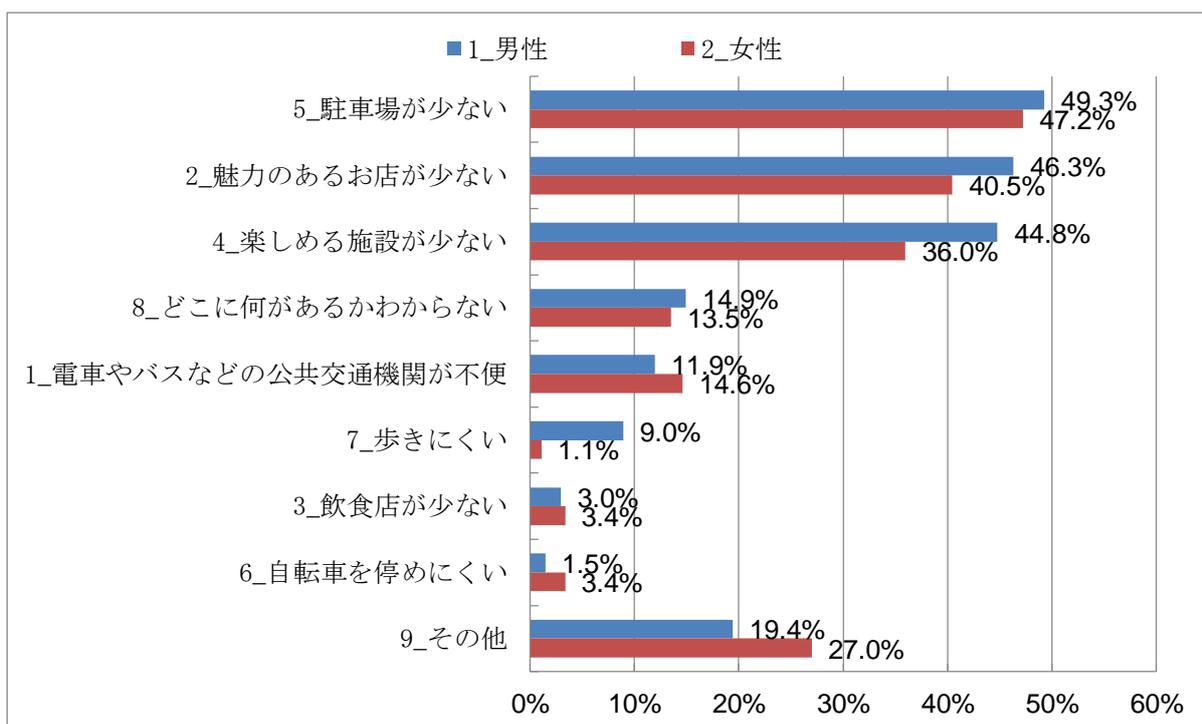
(複数回答 3 つまで)

- 1. 電車やバスなどの公共交通機関が不便
- 2. 魅力のあるお店が少ない
- 3. 飲食店が少ない
- 4. 楽しめる施設が少ない
- 5. 駐車場が少ない
- 6. 自転車を停めにくい
- 7. 歩きにくい (歩道が狭い・歩道が無いなど)
- 8. どこに何があるかわからない
- 9. その他

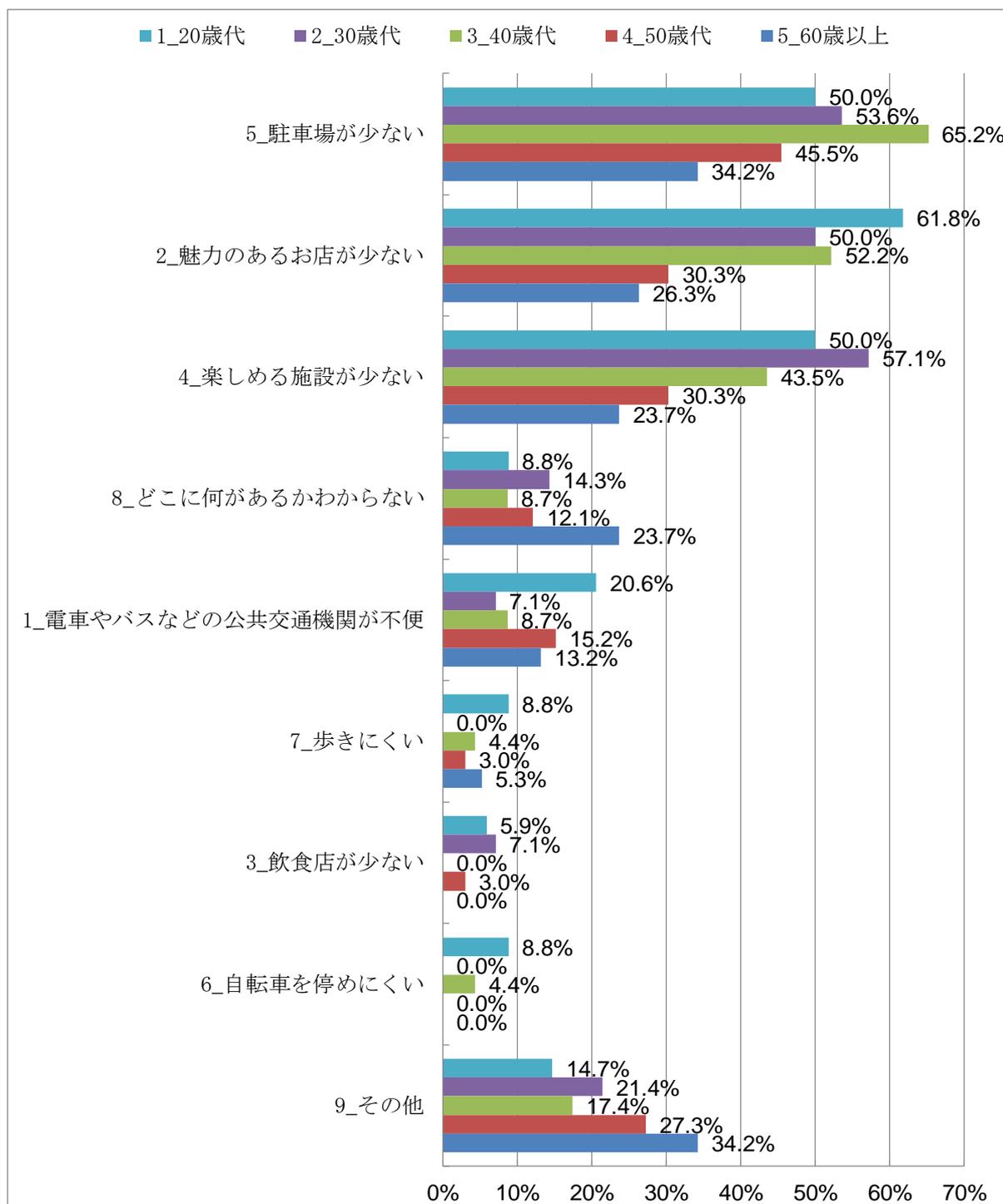
(全体)



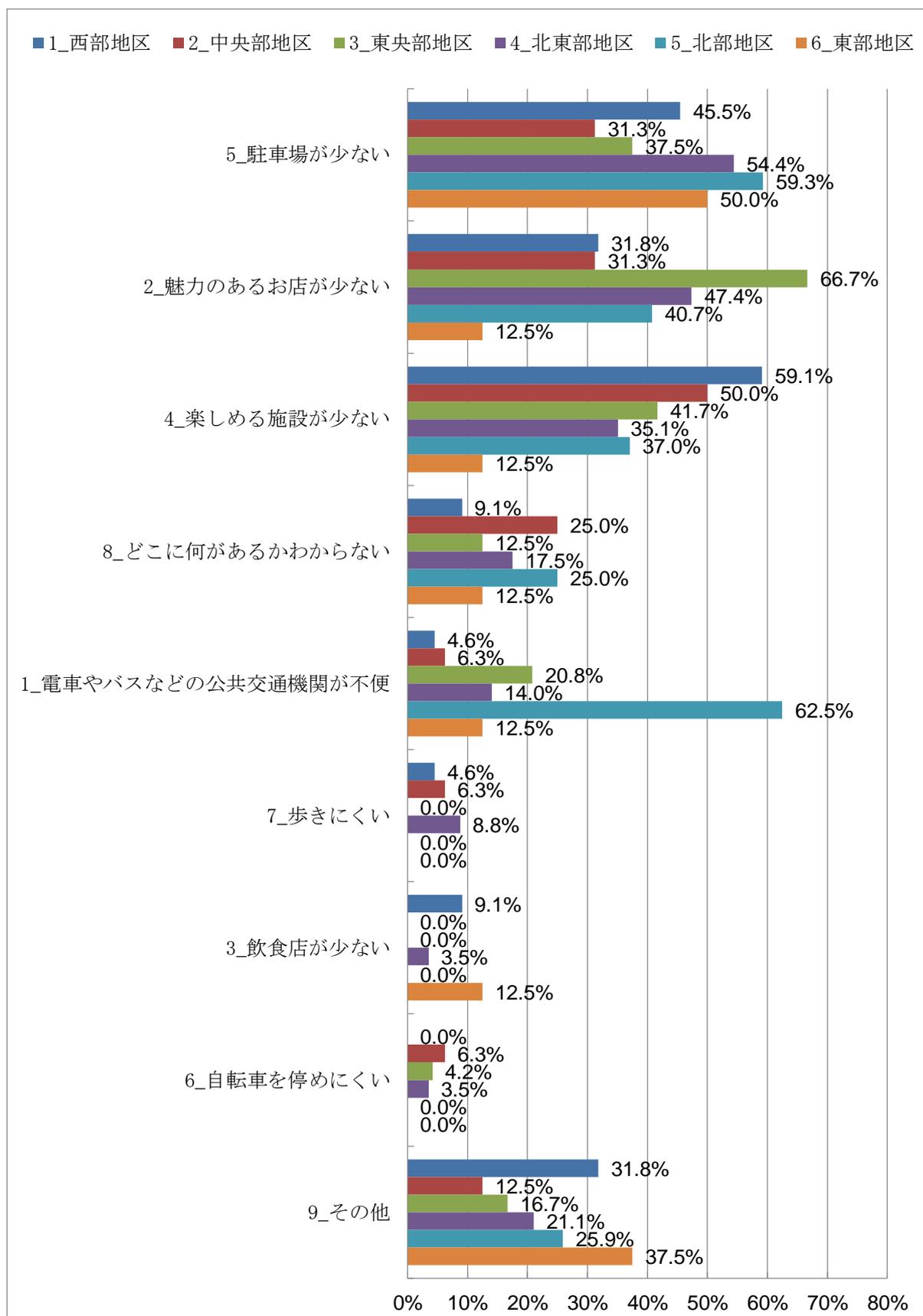
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



(その他)

分 類	意見数	比率
行く用事が無い	20	54.1%
老齢・身体不自由	4	10.8%
無料駐車場がない	3	8.1%
お酒飲まないので行く理由がない	2	5.4%
こわい，きたない，閉鎖的	1	2.7%
行く時間が無い	1	2.7%
腰痛のため	1	2.7%
入院中の家族をかかえている	1	2.7%
無回答	4	10.8%
合 計	37	100.0%

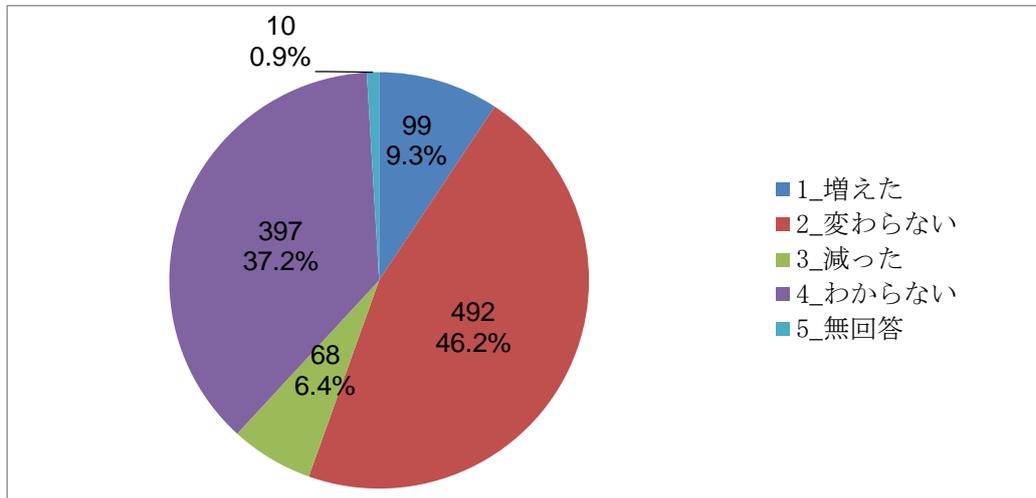
- ・ 本町・五稜郭地区に行かない理由については，全体では「駐車場が少ない」(48.1%)が最も多く，次いで「魅力のあるお店が少ない」(43.0%)，「楽しめる施設が少ない」(39.7%)が多かった。
- ・ 男女別でみると，「歩きにくい」について男性(9.0%)と女性(1.1%)で違いがみられた。
- ・ 年齢別にみると，「魅力のあるお店が少ない」については年齢が若いほど高くなる傾向があった。また，他の年代と比較すると，20歳代で「歩きにくい」(8.8%)，「自転車を停めにくい」(8.8%)の回答が一定程度あった。
- ・ 地域別にみると，東央部地区は「魅力のあるお店が少ない」という意見の割合が66.7%と他の地域と比べて特に多かった。

【すべての方におたずねします。】

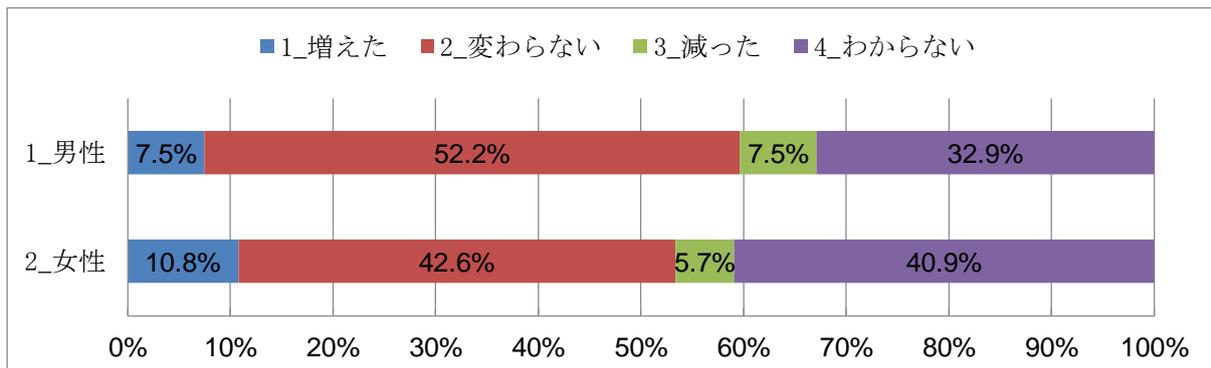
問 24 魅力あるイベントは増えたと思いますか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない

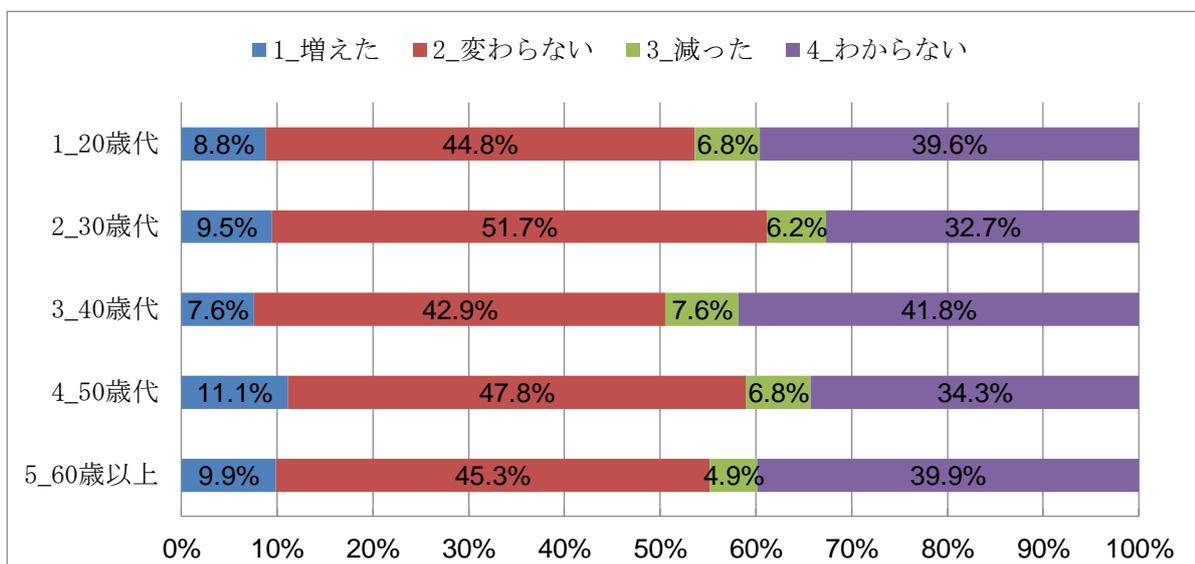
(全体)



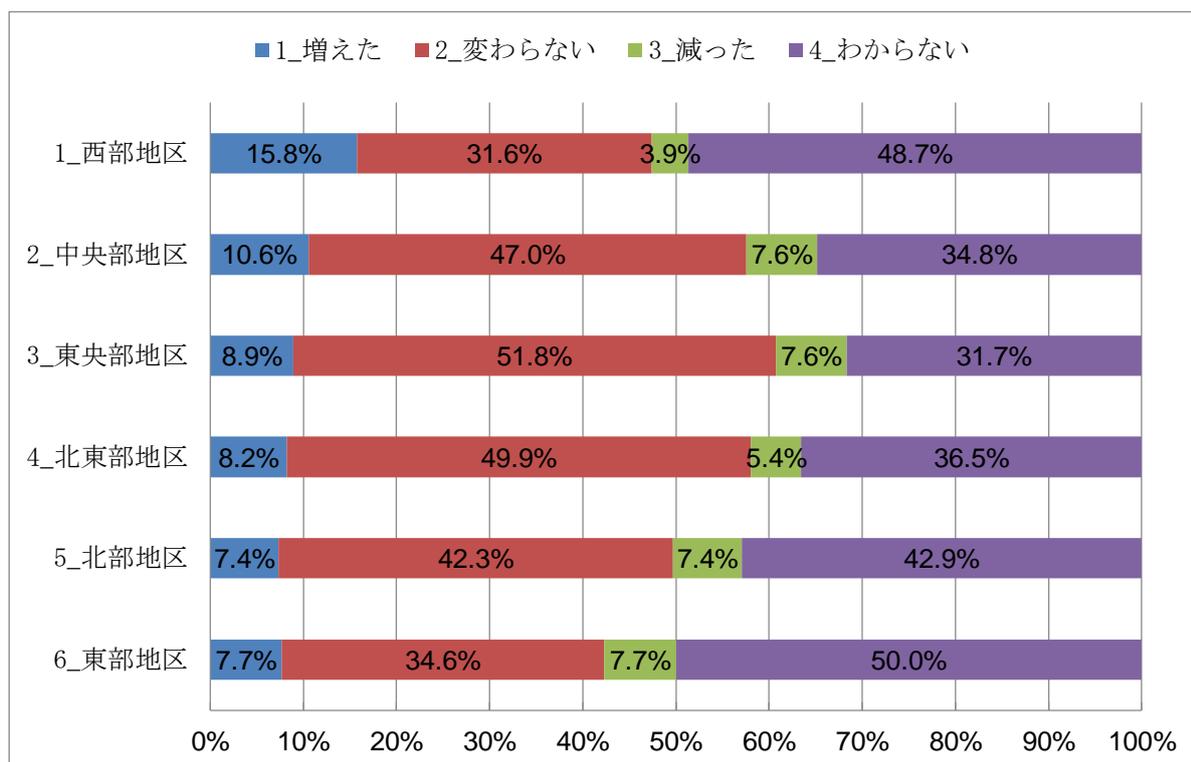
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

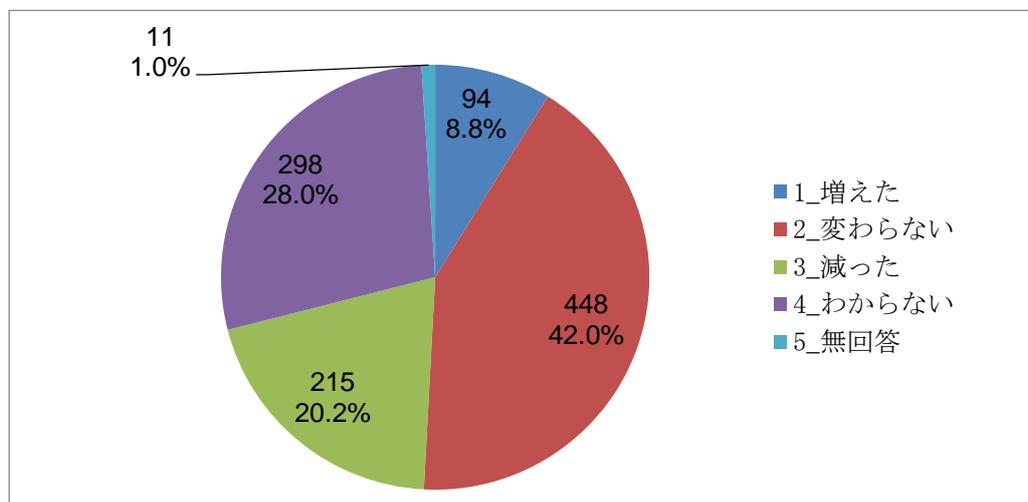


- ・ 本町・五稜郭地区の魅力があるイベントが増えたかについては、「変わらない」が492人（46.2%）「増えた」が99人（9.3%）で全体の半数以上（55.5%）が現状維持もしくは上向きの印象を持っているが、一方で「わからない」が397人（37.2%）と多く、イベントへの関心が薄いことが分かった。
- ・ 男女別でみると、「増えた」が男性7.5%，女性10.8%であるのに対し、「減った」が男性7.5%，女性5.7%であり、女性にとって魅力あるイベントは増えている。
- ・ 年齢別にみると、大きな違いはない。
- ・ 地域別にみると、西部地区では他の地域と比べて「増えた」（15.8%）が多いが、「わからない」の回答が西部地区（48.7%），東部地区（50.0%）で特に多く、イベントへの関心が薄いことが分かった。

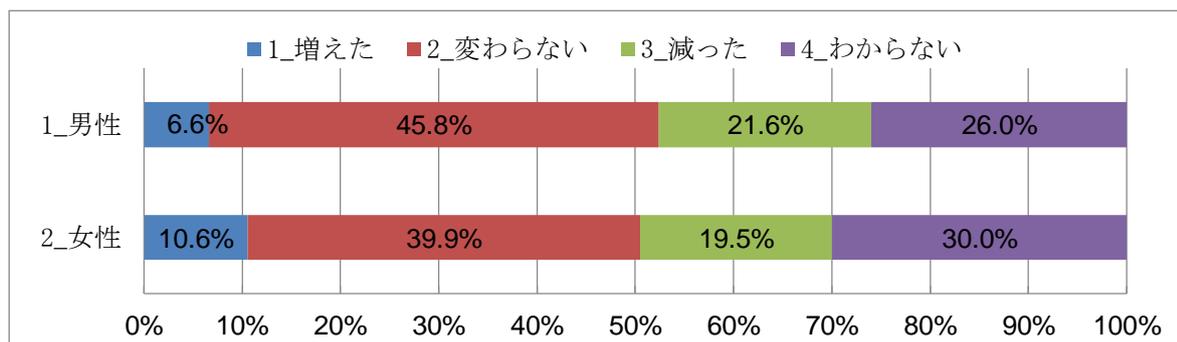
問 25 魅力的な商業施設（商店・飲食店）は増えたと思いますか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない

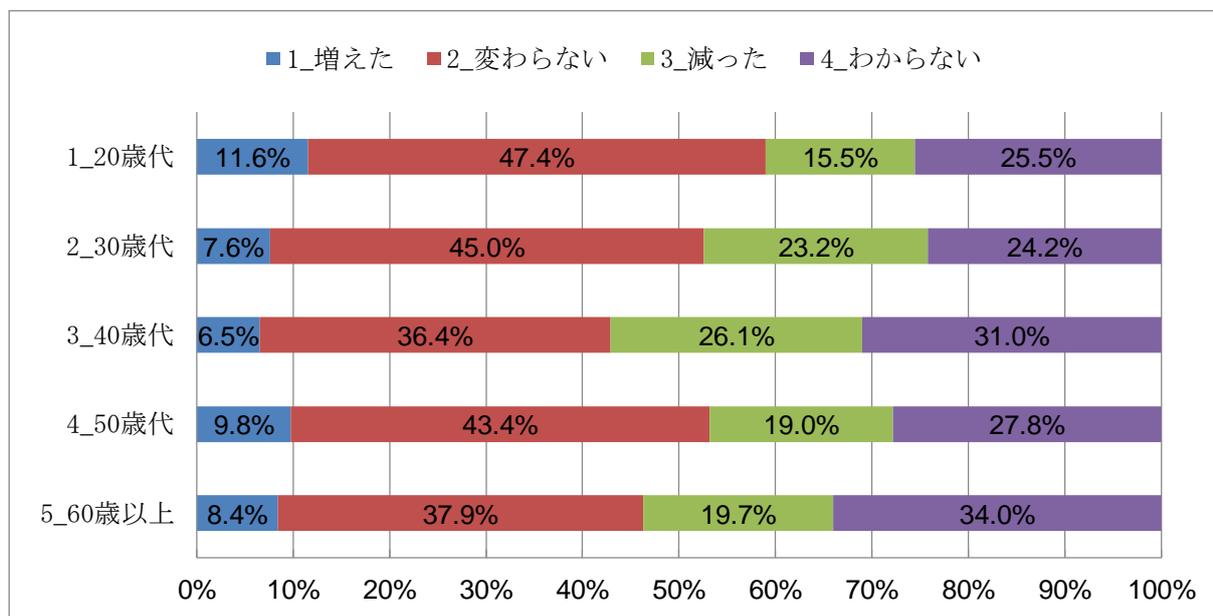
(全体)



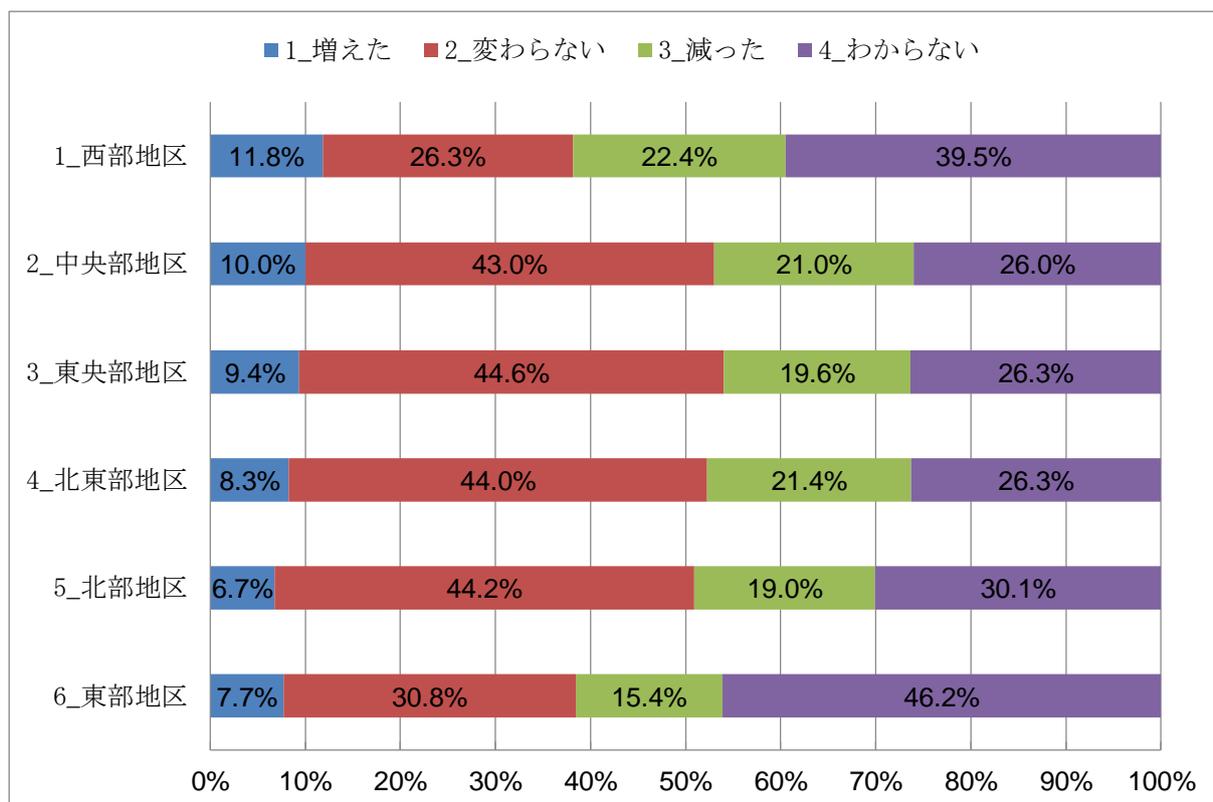
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

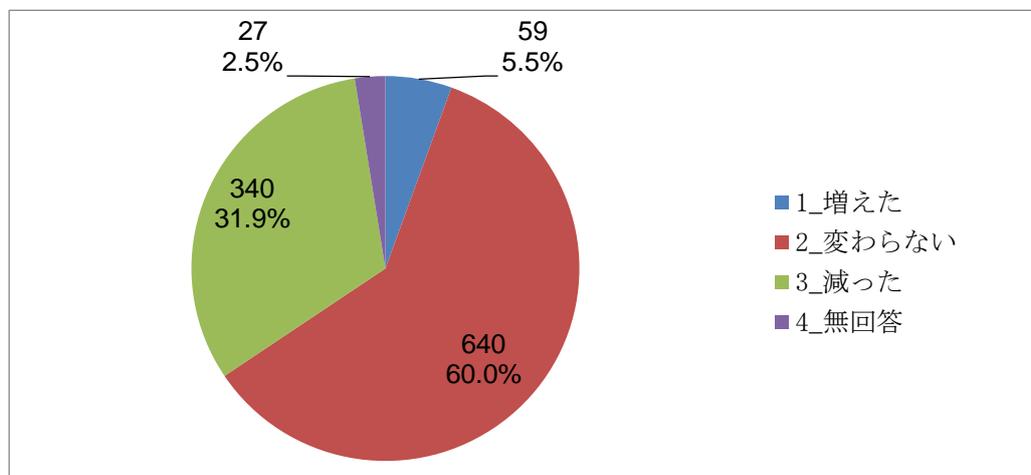


- ・ 本町・五稜郭地区の魅力的な商業施設が増えたかについては、全体では「増えた」(94人, 8.8%)が10%未満と低くなっている。
- ・ 男女別でみると、「増えた」については、男性(6.6%)よりも女性(10.6%)の割合が高かった。
- ・ 年齢別にみると、20歳代で「増えた」(11.6%)が高い一方、30歳代、40歳代では「減った」(23.2%, 26.1%)の割合が高かった。
- ・ 地域別にみると、西部地区と東部地区は他の地域と比べて「わからない」(39.5%, 46.2%)の割合が多く、関心度が低いことが分かった。

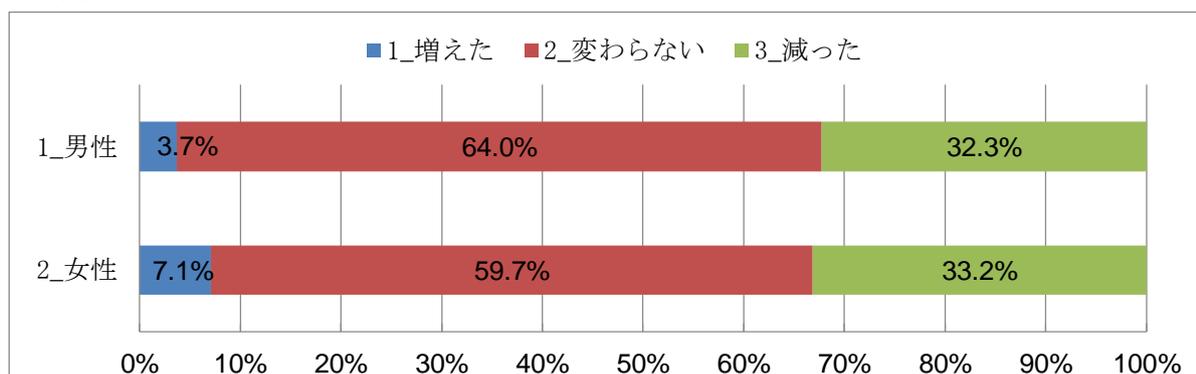
問26 公共交通（路面電車・バス）を利用して訪れる機会は増えましたか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った

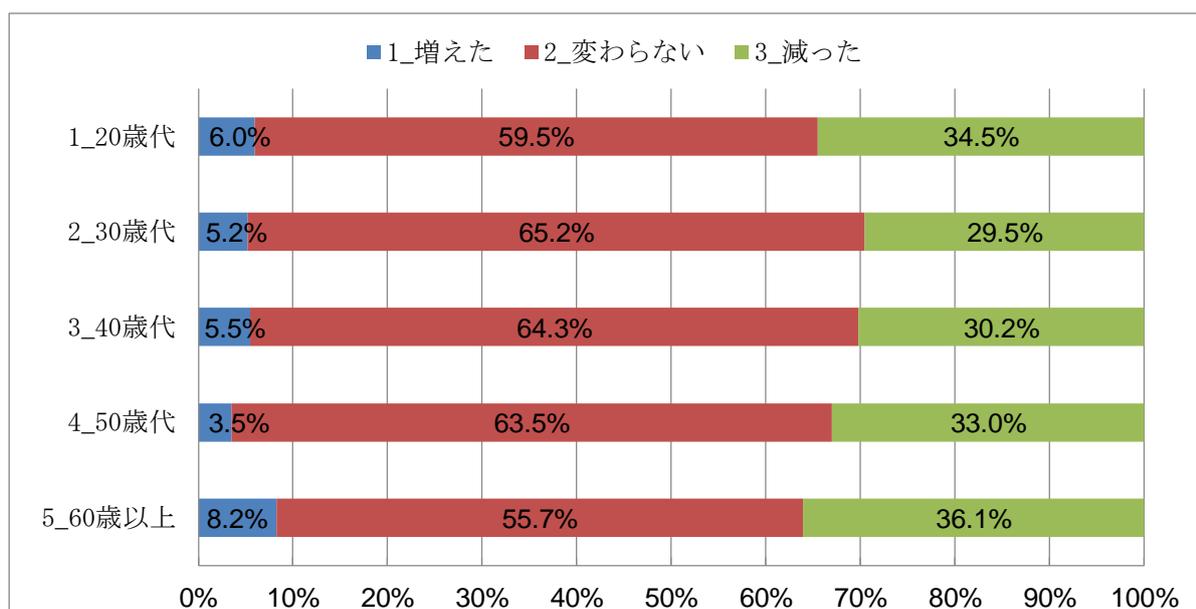
(全体)



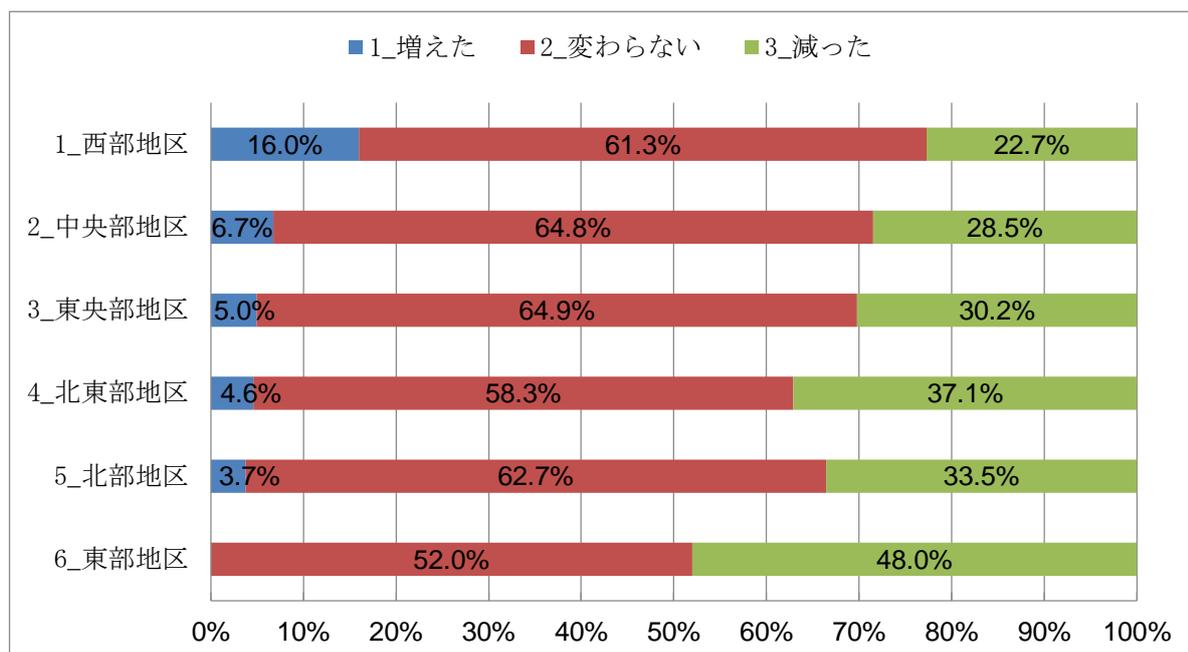
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

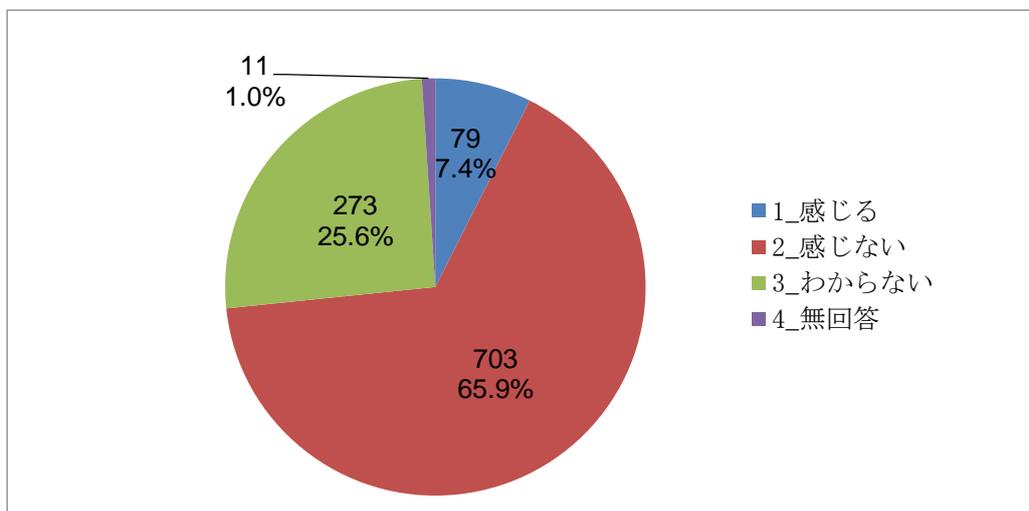


- ・ 本町・五稜郭地区で公共交通（路面電車・バス）を利用して訪れる機会は増えたかについては、全体では「変わらない」（640人，60.0%）が最も多く，次いで「減った」（340人，31.9%）が多かった。
- ・ 男女別でみると，各回答の比率はほぼ同じで，男女別で傾向の違いはみられなかった。
- ・ 年齢別にみると，60歳以上で「増えた」（8.2%）の割合が多かった。
- ・ 地域別にみると，西部地区で「増えた」（16.0%）が多く，東部地区では「減った」（48.0%）が約半数を占めた。

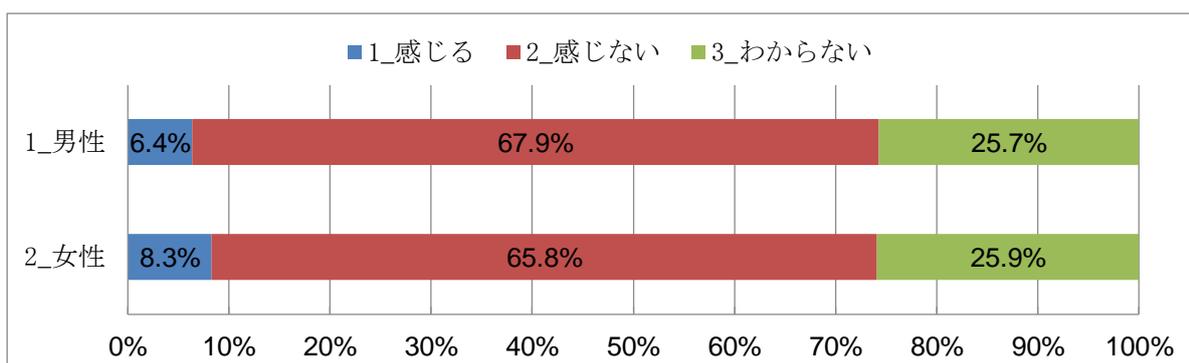
問 27 賑やかになってきたと感じますか

1. 感じる 2. 感じない 3. わからない

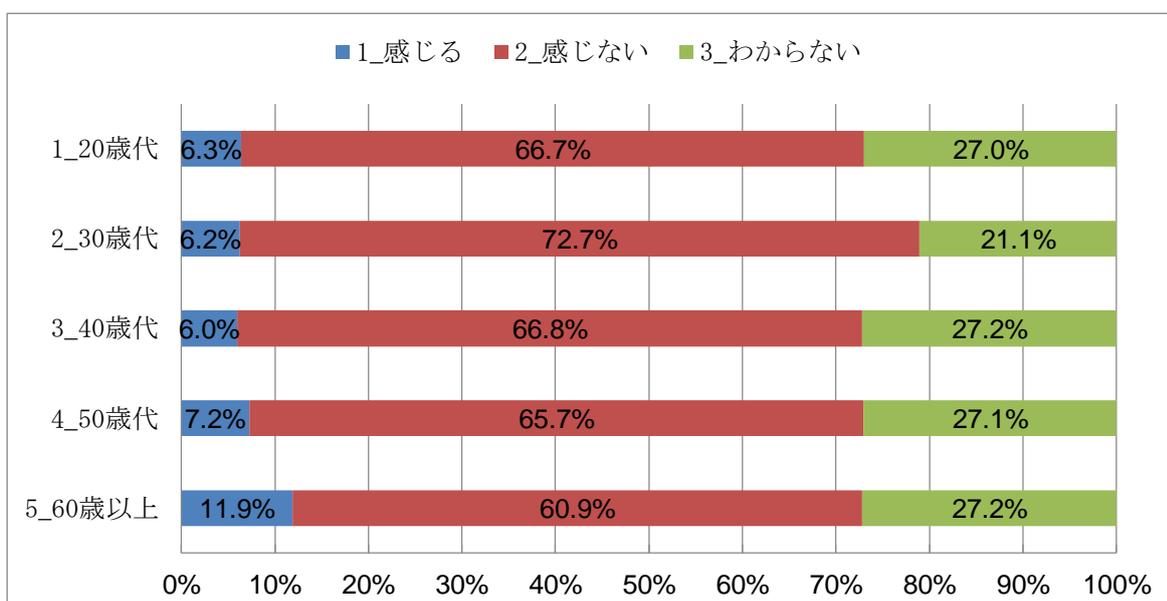
(全体)



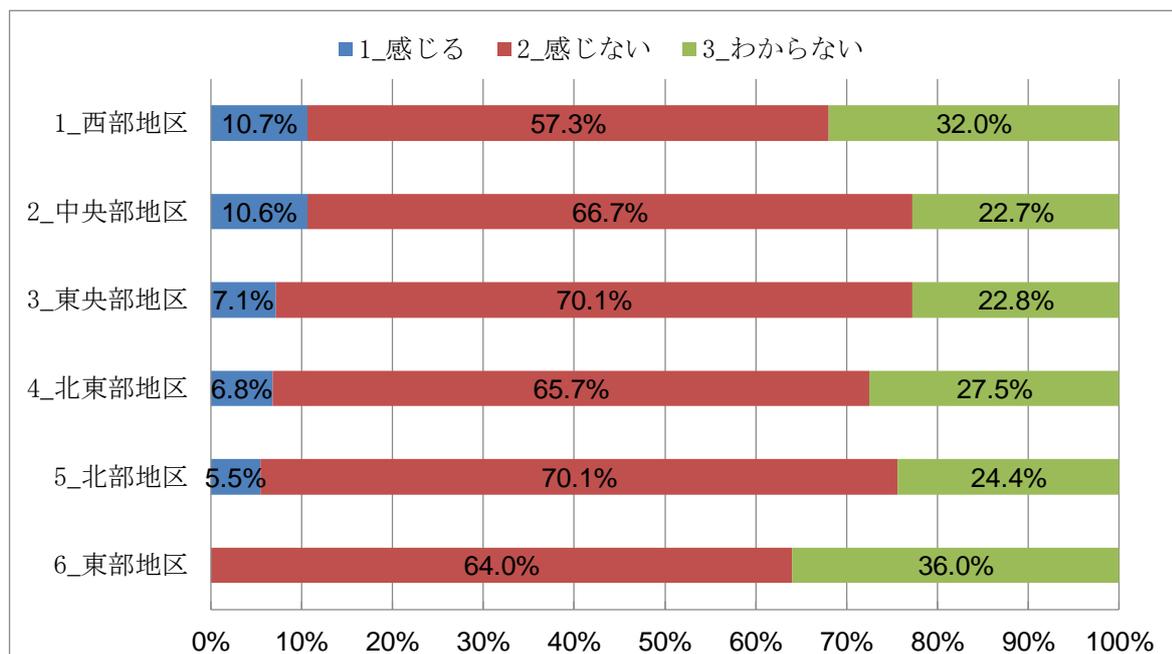
(男女別)



(年齢別)



(地域別)

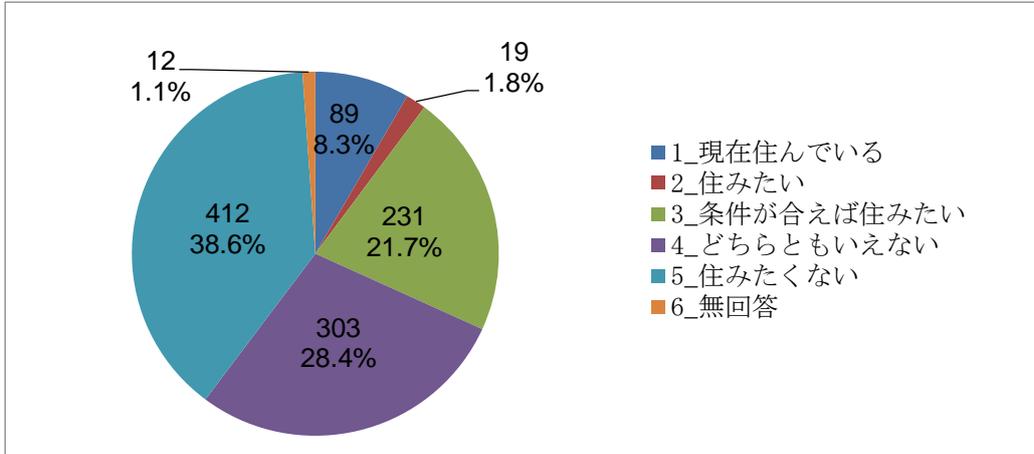


- ・ 本町・五稜郭地区について賑やかになってきたと感じるかについては、全体では「感じない」(703人, 65.9%)が最も多く、次いで「わからない」の273人(25.6%)となった。
- ・ 男女別で見ると、各回答の比率はほぼ同じで、特に大きな違いはみられなかった。
- ・ 年齢別にみると、「感じる」は60歳以上(11.9%)が最も多く、40歳代(6.0%)が最も少なかった。
- ・ 地域別にみると、「感じる」が西部地区(10.7%)で最も多く、次いで中央部地区(10.6%)が多かった、東部地区では「感じる」と回答した人はいなかった。

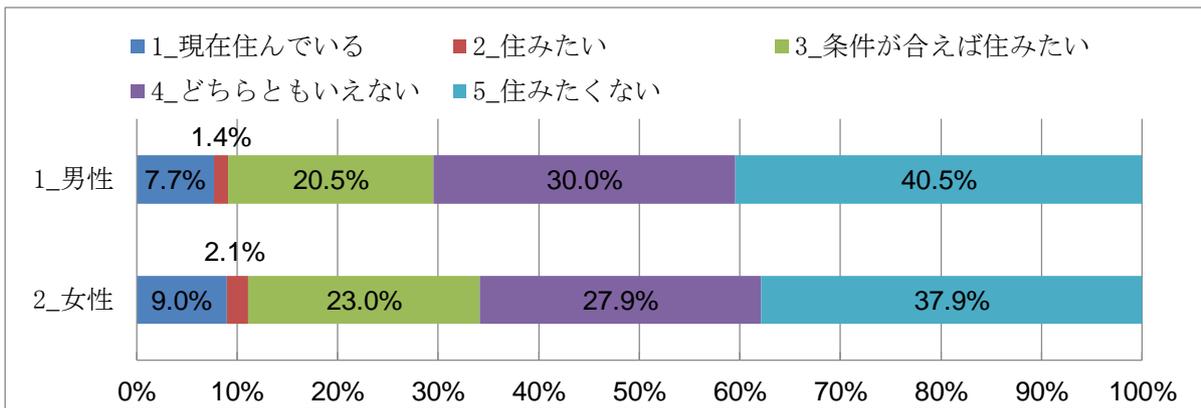
問 28 住みたいと思いますか

1. 現在住んでいる 2. 住みたい 3. 条件が合えば住みたい
 4. どちらともいえない 5. 住みたくない

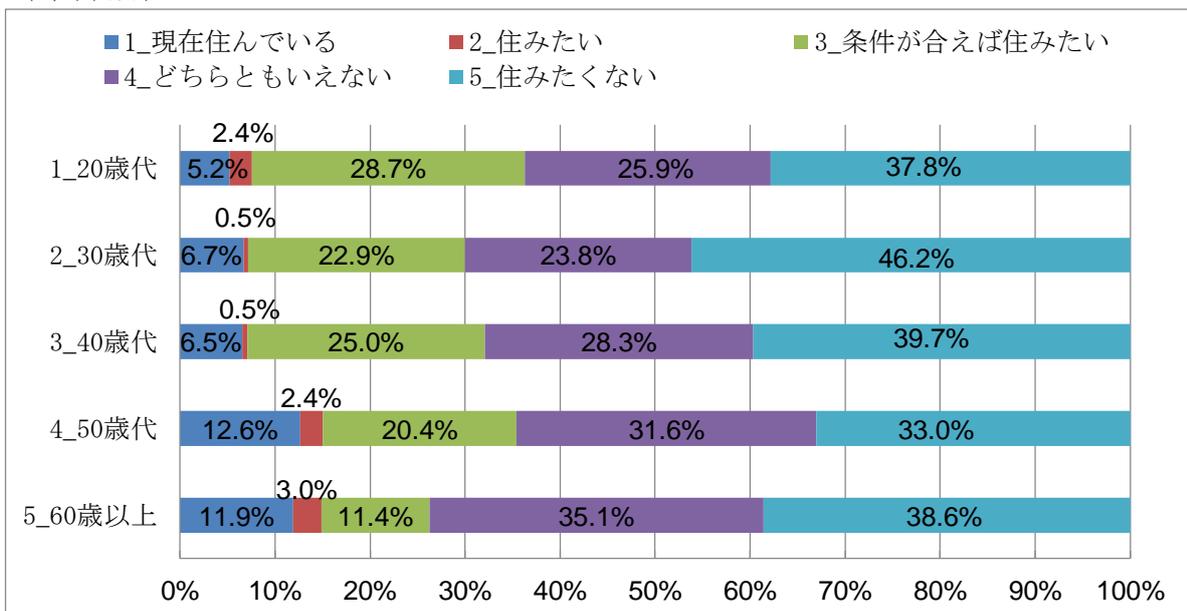
(全体)



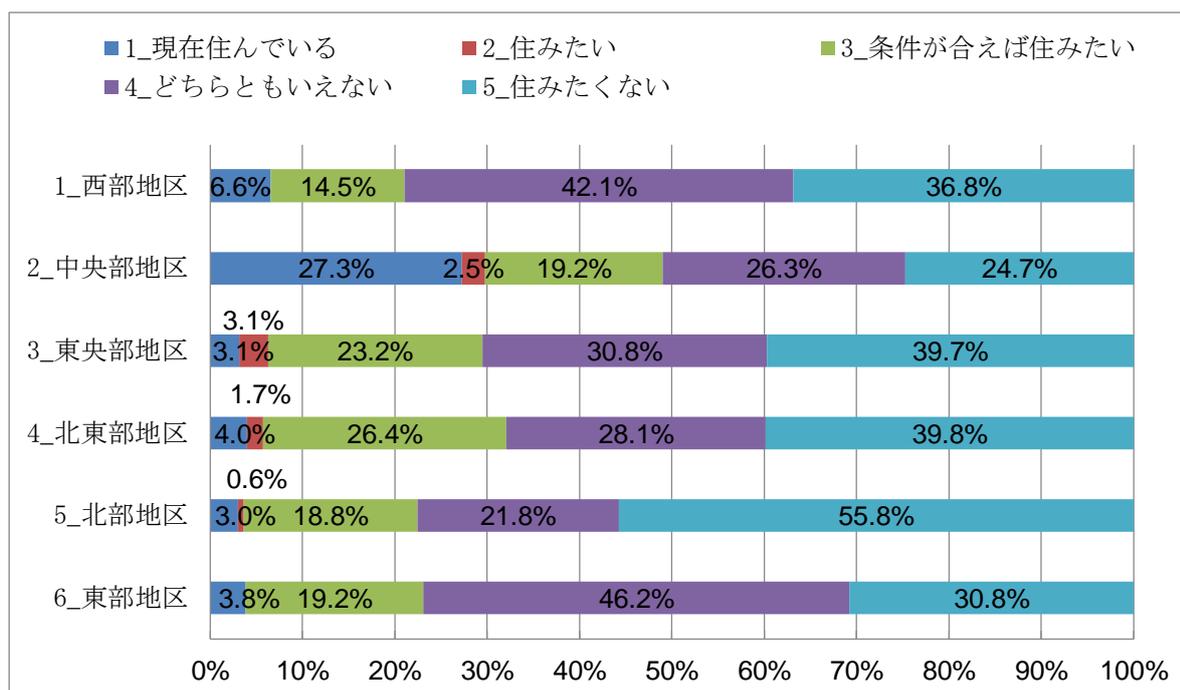
(男女別)



(年齢別)



(地域別)



- ・ 本町・五稜郭地区に住みたいかについては、全体では「住みたくない」(412人, 38.6%)が最も多く、次いで「どちらともいえない」の(303人, 28.4%)となった。
- ・ 男女別で見ると、大きな違いはみられなかった。
- ・ 年齢別にみると、30歳代において「住みたくない」(46.2%)の割合が最も多かった。
- ・ 地域別にみると、東央部地区(23.2%)と北東部地区(26.4%)で「住みたい」が比較的高かった。

問 29 中心市街地の活性化についてご意見をお聞かせください（自由記述）

分 類	意見	比率
特になし	299	36.1%
駐車場の充実	104	12.5%
大型店の誘致	88	10.6%
交通の見直し	85	10.3%
イベントの充実	76	9.2%
店舗の充実	49	5.9%
レジャー施設の充実	39	4.7%
子供向けの施設の充実	39	4.7%
品揃えの多様化	35	4.2%
飲食店の充実	29	3.5%
活性化	27	3.3%
活気	26	3.1%
広報活動	23	2.8%
まちなみ・景観	22	2.7%
水族館・動物園・遊園地の誘致	21	2.5%
魅力の向上	17	2.1%
空き店舗の活用	12	1.4%
パチンコ店等が多すぎる	8	1.0%
再開発に期待	7	0.8%
人口減少の対応策	7	0.8%
都市計画の見直し	7	0.8%
アリーナの活用	6	0.7%
若者向け店舗の充実	6	0.7%
公共施設・文化施設・スポーツ施設の充実	6	0.7%
就職先の充実	5	0.6%
各年齢層向けの施設	5	0.6%
アーケードの復活	4	0.5%
駐輪場の充実	4	0.5%
その他	3	0.4%
接客の見直し	3	0.4%

コンパクトシティに	2	0.2%
バリアフリー	2	0.2%
わからない	2	0.2%
営業時間の見直し	2	0.2%
家賃の見直し	2	0.2%
学校の誘致	2	0.2%
公園の充実	2	0.2%
施設の1か所集中	2	0.2%
大手企業の誘致	2	0.2%
イカのキャラクターの活用	1	0.1%
スカイウエー	1	0.1%
意見交換の場	1	0.1%
飲み場	2	0.2%
外国語での案内表示	1	0.1%
景気回復	1	0.1%
公共住宅の充実	1	0.1%
市民と観光客の交流	1	0.1%
市民と観光客を分ける	1	0.1%
施設の連携	1	0.1%
宿泊施設の充実	1	0.1%
必要ない・変えるのは難しい	2	0.2%
分煙の実施	1	0.1%
北海道分権	1	0.1%
合 計	1,096	

第Ⅱ章 地域有識者等を対象としたワークショップ

■ 函館駅前・大門地区ワークショップ

開催日 平成27年10月29日（木）17:00～18:00

開催場所 TMOビル2F会議室
（函館市若松町18-1）

参加者 6名

座長 函館大学 西村准教授

メンバー

函館都心商店街	川上 誠様
北洋銀行函館中央支店	小坂 義雄様
三井住友海上あいおい生命保険	日下 道子様
はこぶら編集長	安立 真由美様
万代町会長	永澤 和枝様

※ ワークショップとは別に、函館朝市協同組合連合会事務局長 松田 悌一氏および株式会社中合棒二森屋店副店長 菊田弘美氏から個別ヒアリングを実施した

- 中心市街地活性化事業によって現れた効果
 - ・ アーケードの撤去によって明るくなった
 - ・ グリーンプラザのイベント増加によりグリーンプラザが賑わってきた
 - ・ グリーンプラザ両脇に若者向けの店舗がたくさんオープンした
 - ・ キッズスタジアム事業により駅前を訪れる機会が増えた
 - ・ 高齢者サロン等の整備により新たな来街の楽しみができるという期待が高まった
- まだ事業効果が現れていないもの
 - ・ 駅前の再開発ビルの建替やはこだてみらい館等の整備による集客力
 - ・ 駅前通の整備
- 中心市街地活性化事業と関係なく現れた効果
 - ・ イベントの開催により商店街青年部が活発となった
 - ・ 若者の興味を引く新しい店（自転車やサーフィン）の開店により、スケボーなどを楽しむ若者も来街するようになってきた
- 今後求められているもの
 - ・ アーケード撤去後の事業完了イメージの広報・共有が必要

- ・ 観光案内板等の設置
- ・ 集客施設の整備・誘致
- ・ 市内外から駅前への公共交通アクセスの改善
- ・ 民間事業者の積極的な活動
- ・ 高齢者が休んだり会話をしたりできる場所の整備
- ・ 若者の起業意欲やまちの活性化に対する意気込みを地域活性化に結びつける
- ・ イベントの情報発信を個別に行うのではなく、はこぶらなどの公的サイトで行い発信力を高める
- ・ イベントを派生させて来街者の周遊を図る
- ・ 民間事業者と連携し、ハード・ソフト事業を充実させる
- ・ 函館駅前に降り立ったときのワクワク感をつくる
- ・ 市民が“歩く”まちづくり
- ・ 函館駅前グリーンプラザまで人を誘導する仕掛けづくり

■ 本町・五稜郭地区ワークショップ

開催日 平成27年11月13日（金）18:00～19:30

開催場所 五稜郭ビル6Fセミナールーム
（函館市本町25-13）

参加者 5名

メンバー

株式会社函館丸井今井 宮崎 みゆき様

北海道銀行五稜郭支店 相原 哲哉様

ホテルネッツ函館 三上 博様

函館インフォメーション・ネットワーク株式会社

木村 由香里様

函館市青年センター 仙石 智義様

- 中心市街地活性化事業によって現れた効果
 - ・ 駅・朝市のフリーWi-Fiは観光客に好評である
 - ・ 五稜郭交差点地下道の復活によって街を歩く人が増えることへの期待が高まっている
- まだ事業効果が現れていないもの
 - ・ 本町の再開発ビルや市民交流プラザの整備による集客力
- 中心市街地活性化事業と関係なく現れた効果
 - ・ 五稜郭バルやハロウィンなど定期的なイベントや地域独自のイベントが定着してきた
 - ・ 病院・銀行などへ高齢者が多く集まる
 - ・ アリーナがオープンしたことにより宿泊者が増加している（宿泊ベース1.5～2.0倍）
- 今後求められているもの
 - ・ いろいろな場所へのフリーWi-Fiの整備
 - ・ 駅名・バス停名の整理（JR「五稜郭駅」と市電の「五稜郭公園前駅」、複数存在する「五稜郭」バス停）
 - ・ 観光客に対応した交通アクセスの改善
 - ・ 駐車場の情報案内や無料もしくは駐車しやすい駐車場の整備
 - ・ イベント広場の整備
 - ・ 高齢者が休んだり会話をしたりできる場所の整備
 - ・ 日中に開店しているお店が並ぶ、歩いて楽しい街並みづくり

第Ⅲ章 有識者への個別ヒアリング

■ 独立行政法人国立高等専門学校機構

函館工業高等専門学校 准教授 奥平 理氏

はじめに、中心市街地活性化基本計画掲載事業の進捗状況を確認する。ハード面の事業には若干の遅れがみられたものの、ソフト面の事業は順調に進捗したと考えられる。ハード面での遅れについては暫時解消されて、事業の進捗に大きな影響を与えないことが期待される。さらに、中心市街地活性化基本計画掲載事業の進捗状況から、商店街などの地域の動きを読み取ることができた。各種のイベントや事業が企画されており、新たなイベントが少しずつ増えてきている。また各種の事業では、商店街などが積極的にまちづくりに参加する姿勢を示していることから、本事業の進捗状況と事業効果については順調に推移しているといえる。

つぎに、今回のアンケート調査結果と2回のワークショップでの議論内容から、函館を代表する中心市街地である函館駅前・大門地区（以下、駅前地区）と本町・五稜郭地区（以下、本町地区）への市民のイメージを確認する。商業施設の魅力に関する設問では、両地区で魅力ある施設が「減った」、「変わらない」とする率が60%を超えており、現状では目に見える変化に乏しい状況がうかがえる。一方、イベントの魅力に関する設問では、駅前地区では「増えた」が24.0%で、9.3%の本町地区を大きく上回っており、中心市街地活性化の取り組みが先行する駅前地区で効果が現れている。なお、上記の設問で「わからない」が30%程度みられる。

ワークショップでは、両地区の再開発ビルへの期待や駐車場の整備への期待など、活発な議論が行われてきた。

こうした議論については、市民向けに広く公開するとともに、より多くの市民からの多様な意見を吸収できる仕組み（例：パブリックコメント）を取り入れることで、市民に参加意識を与えることができる。またアンケートの結果から、駅前地区・本町地区ともに事業やイベントを展開する際には広報・宣伝に留意して、より多くの市民に事業やイベントを認知してもらえるようにする必要がある。

以上

■ 株式会社日本政策金融公庫

函館支店 支店長 久木田 眞郎氏

基本計画事業には5分野57項目の事業があるが、各項目の実施時期・期間等が明確に示されており計画的に進捗が図られている。ただ基本計画事業は5カ年計画であり、現在中間地点であることからその効果を測定、判断することは困難であるが、前回アンケート調査結果と比較出来る項目で見ると、①「どれくらいの頻度で本町・五稜郭地区に行きますか」では訪問頻度が減少、②「本町・五稜郭地区に住みたいと思いますか」では住みたくなが増加する等その効果が現時点で表れているとは言い難い。一方、ワークショップにおいてはイベントの増加により賑わってきた、アリーナ効果で宿泊者が増加した、フリーWi-Fiは観光客に好評等の意見もあり、完了事業においては効果もみられつつある。

5カ年計画完了後には、その効果が一段と表れてくるものと思われるが、特にハコモノについては市民が利用するかどうかはその運営内容がカギとなることから十分な検討が望まれる。また、個人的な感想であるが、函館は日本有数の観光都市であるが、観光客を迎えるにあたり、タクシー、飲食店、小売店等での接客・マナー等において他観光都市と比較し改善の余地があると感じる。観光客がまた函館を訪れたい、函館市民がこの店、施設に行きたいと思わせリピーターを増やすためにも、ハード面の整備とともにおもてなしの心を涵養していくソフト面での仕掛け作りも必要なのではないかと考える。

現中間時点での基本計画事業について、個別事業は計画的に進捗しており、完了事業等の効果を勘案すれば総じて順調に実施されていると言える。

以上

第Ⅳ章 函館市調査

中心市街地歩行者通行量調査【中活計画指標関係】

■駅前・大門地区(8地点)

<平日>

地点名	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	H27/H24(基準年)
和光ビル	3,334	2,758	1,656	2,352	70.5
棒二アネックス	4,032	3,806	2,336	3,414	84.7
日硝堂	2,444	2,108	1,852	1,962	80.3
棒二森屋	3,720	2,840	3,290	3,604	96.9
フクスケヤ	1,980	1,774	1,934	1,566	79.1
リーガルシューズ	1,574	1,522	1,968	1,646	104.6
リストール跡	1,418	1,672	1,586	1,708	120.5
ニールック	1,692	962	964	1,130	66.8
合計	20,194	17,442	15,586	17,382	86.1

<休日>

地点名	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	H27/H24(基準年)
和光ビル	3,256	3,714	1,808	2,772	85.1
棒二アネックス	3,798	4,200	3,472	3,956	104.2
日硝堂	2,606	2,746	1,914	2,432	93.3
棒二森屋	3,070	4,298	3,834	3,872	126.1
フクスケヤ	1,900	2,220	2,034	1,870	98.4
リーガルシューズ	1,296	1,794	2,628	2,104	162.3
リストール跡	1,356	1,996	1,442	1,574	116.1
ニールック	1,388	1,242	1,130	1,442	103.9
合計	18,670	22,210	18,262	20,022	107.2

■本町・五稜郭・梁川地区(8地点)

<平日>

地点名	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	H27/H24(基準年)
常口アトム	1,142	904	982	1,226	107.4
丸井今井	6,594	3,166	4,840	4,080	61.9
旧グルメシティ五稜郭店	4,430	5,824	4,936	4,852	109.5
北洋銀行①	2,618	2,538	3,714	3,092	118.1
北洋銀行②	2,672	2,456	2,576	2,272	85.0
なか米穀店	3,712	3,376	3,814	3,590	96.7
HBC放送局	1,136	860	1,098	1,036	91.2
テーオー小笠原	1,774	1,230	1,448	1,604	90.4
合計	24,078	20,354	23,408	21,752	90.3

<休日>

地点名	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	H27/H24(基準年)
常口アトム	708	932	1,036	920	129.9
丸井今井	5,180	3,934	4,430	3,788	73.1
旧グルメシティ五稜郭店	2,744	4,876	4,402	4,588	167.2
北洋銀行①	1,460	2,030	2,034	1,852	126.8
北洋銀行②	1,468	1,748	1,412	1,596	108.7
なか米穀店	3,038	3,790	3,356	3,878	127.6
HBC放送局	1,432	1,372	1,250	1,178	82.3
テーオー小笠原	1,860	2,000	1,652	2,068	111.2
合計	17,890	20,682	19,572	19,868	111.1

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	H27/H24(基準年)
駅前・大門地区 (平日+休日)	38,864	39,652	33,848	37,404	96.2
本町・五稜郭・梁川地区 (平日+休日)	41,968	41,036	42,980	41,620	99.2
16地点総合計	80,832	80,688	76,828	79,024	97.8
平均値(総合計/2)	40,416	40,344	38,414	39,512	97.8

↑ 基準値

※目標値(平成29年)→

41,000

101.4

イベント一覧(平成26年度)

	月	イベント	場所	主催者
1	4月	大門バル	大門横丁ほか	(株)はこだてティーエムオー
2	5月	箱館五稜郭祭	五稜郭公園ほか	箱館五稜郭協賛会
3	5月	中島三郎助祭	中島康亮	中島町商店街振興組合
4	5月	五稜郭バル	五稜郭地区	五稜郭バル実行委員会
5	5月	箱館ストリートフェスティバル	グリーンプラザ	箱館移動販売促進連合会
6	6月	大門バル	大門横丁ほか	(株)はこだてティーエムオー
7	6月	はこだて花と緑のフェスティバル	グリーンプラザ	はこだて花と緑のフェスティバル実行委員会
8	7月	函館朝市どんぶり横丁市場感謝祭	函館朝市	函館朝市第一商業協同組合
9	7月	大門合同学生祭	グリーンプラザ	大門合同学生祭実行委員会
10	7月	大門サンフェスタジャズストリート	グリーンプラザ	函館都心商店街振興組合
11	7月	市民創作函館野外劇	五稜郭公園	NPO法人市民創作函館野外劇の会
12	8月	函館港まつり	全域	函館港祭り実行委員会
13	8月	はこだて国際科学祭	五稜郭タワーほか	サイエンス・サポート函館
14	8月	大門ビアガーデンフェスティバル	グリーンプラザ	(株)はこだてティーエムオー
15	8月	大門横丁ビアガーデン	大門横丁	(株)はこだてティーエムオー
16	9月	はこだてグルメサーカス	グリーンプラザほか	はこだてグルメサーカス実行委員会
17	9月	大門街楽市	駅前地区	函館都心商店街振興組合
18	9月	函館朝市市民感謝祭	函館朝市	函館朝市協同組合連合会
19	9月	大門音楽祭	グリーンプラザ	函館市中心街まちづくり協議会
20	10月	函館いか祭り	グリーンプラザ	函館いか祭り実行委員会
21	10月	五稜郭バル	五稜郭バル	五稜郭バル実行委員会
22	10月	函館うまいものまつり	テーオーデパートほか	函館うまいもの祭り実行委員会
23	10月	はこだてスイーツフェスタ	棒二森屋	はこだてスイーツフェスタ実行委員会
24	10月	ハコバ	棒二森屋	ハコバ実行委員会
25	10月	ハッピーハロウィンワンダーランド	五稜郭地区	五稜郭商店街振興組合
26	10月	大門横丁 開業記念イベント	大門横丁	(株)はこだてティーエムオー
27	10月	箱館ストリートフェスティバル	グリーンプラザ	箱館移動販売促進連合会
28	12月	はこだて冬フェスティバル	五稜郭公園	はこだて冬フェスティバル実行委員会
29	12月	五稜星の夢	五稜郭公園	五稜星の夢実行委員会
30	11月	大門バル	大門横丁ほか	(株)はこだてティーエムオー
31	1月	大門スノーパーク	グリーンプラザ	大門スノーパーク実行委員会
32	2月	大門バル	大門横丁ほか	(株)はこだてティーエムオー
33	2月	冬の親子体験デー	ホテル法華クラブ	協同組合五稜郭
34	3月	五稜郭バル	五稜郭地区	五稜郭バル実行委員会
1	毎月	中島康亮横丁	中島康亮	中島康亮横丁実行委員会
2	毎月	ヒトハコ市	五稜郭地区	(株)まちづくり五稜郭

第V章 まとめ

定量指標の今回調査値の結果を今回実施した調査から分析する。

- 数値目標の達成状況等による効果発現の評価（都市再生整備計画 定量指標との比較）

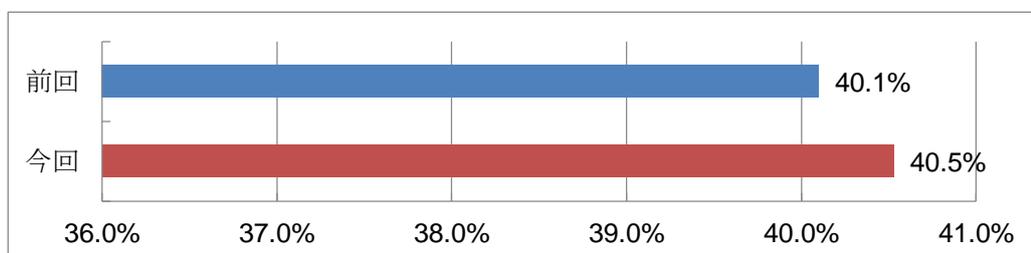
指 標	従前値	今回調査値	目標値
歩行者通行量（人）	(H24) 40,416	(H27) 39,512	(H29) 41,000
イベント開催数（回/年）	(H23) 45	(H26) 58	(H29) 51
本町・五稜郭地区への来街頻度（%）	(H21) 21	(H27) 18.8	(H29) 26
函館駅前・大門地区への来街頻度（%）	(H20) 10.8	(H27) 12.0	(H29) 20

- 歩行者交通量は、休日は増加傾向にあるものの、平日の減少数が多く、従前値（H24）と比較して、904人減少している
- 函館駅前・大門地区では、和光ビル前の通行量が特に減少し、本町・五稜郭地区では、丸井今井前が特に減少している
- イベント開催数については、本町・五稜郭地区でのイベント開催数の増加により、従前値（H23）より13回増加している
- 来街頻度は、駅前・大門地区の1.2%増加に対し、本町・五稜郭地区が2.2%減少している

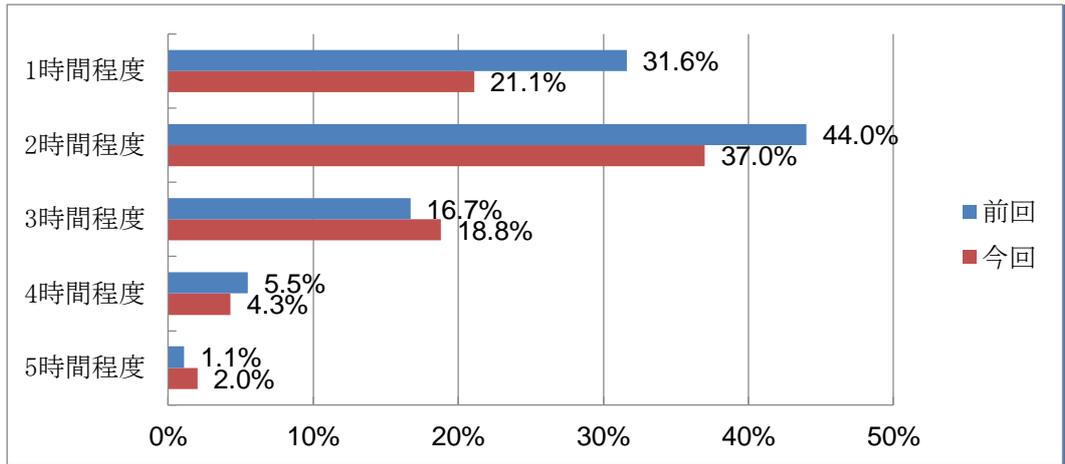
- 別の定量的な指標を用いた効果発現の評価（前回アンケート調査結果との比較考察）

- 来街頻度・目的および賑やかさについて（函館駅前・大門地区）

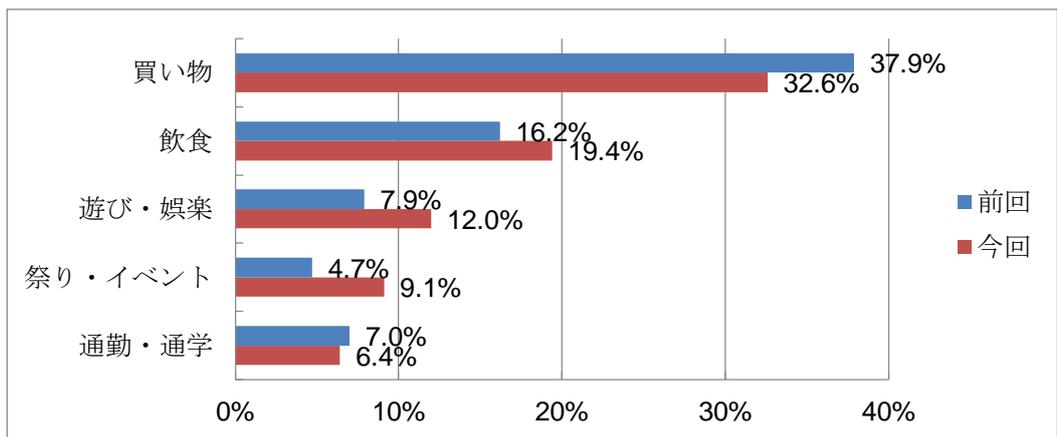
- 毎日～月1回程度訪れる割合は、40.1%から40.5%とあまり変化はない。



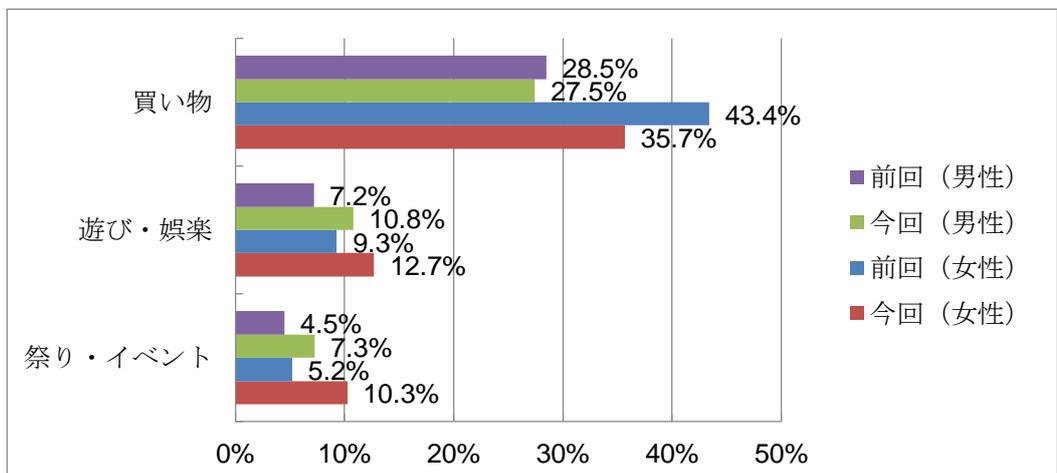
- 滞在時間では、もっとも回答数が多かった2時間程度が44.0%から37.0%、1時間程度が31.6%から21.1%に減少している一方で、3時間以上滞在の滞在者が増加している。



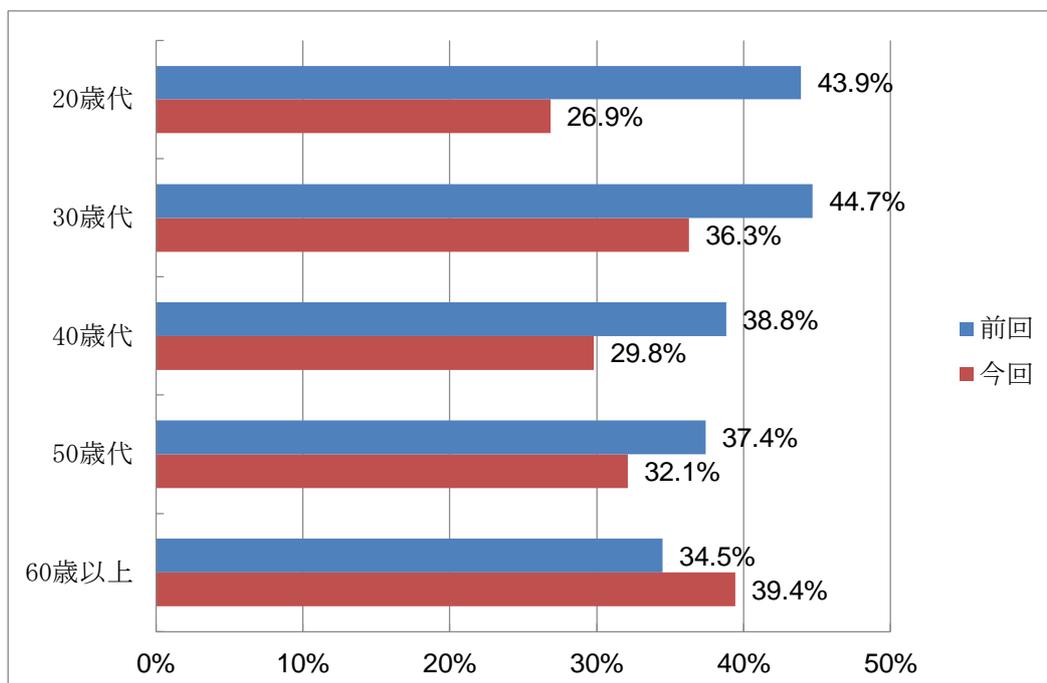
- 平日の来街目的では、前回・今回ともに回答数が一番多い「買い物」や「通勤・通学」が減少する一方で、「飲食」・「遊び・娯楽」・「祭り・イベント」が伸びている。



- 男女別で見ると、「買い物」では男性がほぼ変わらないのに対して、女性が大きく減少しているが、「遊び・娯楽」・「祭り・イベント」では女性の伸びが大きい。



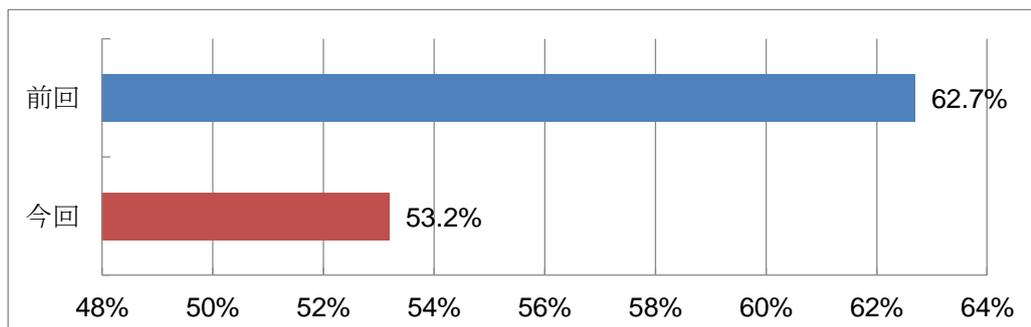
- 年齢別で見ると、「買い物」では60歳以上が34.5%から39.4%に伸びる一方でその他の年齢層ではいずれも減少しているが、特に20歳代では43.9%から26.9%と減少幅が大きい。



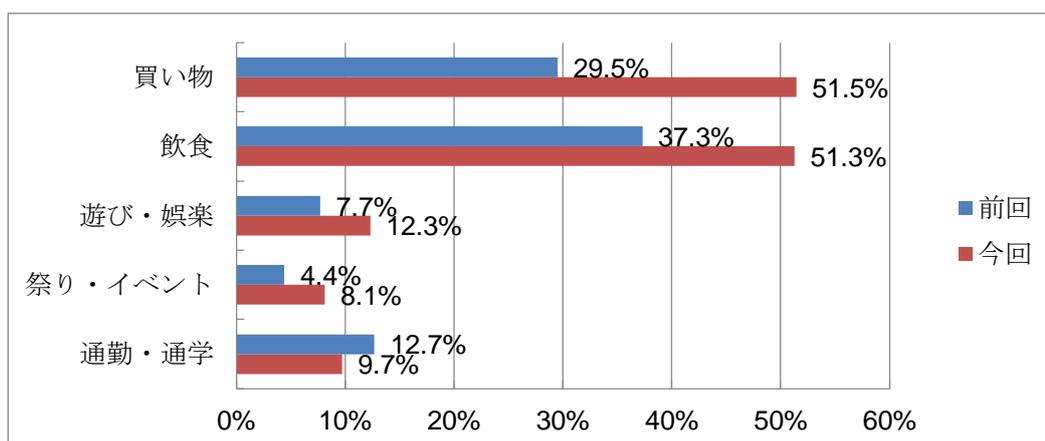
- 賑やかになってきたと感じている人の割合は7.51%と低く、男女別による差はみられないが、年齢別では60歳以上が若干多い（P42-43問15参照）。

■ 来街頻度・目的および賑やかさについて（本町・五稜郭地区）

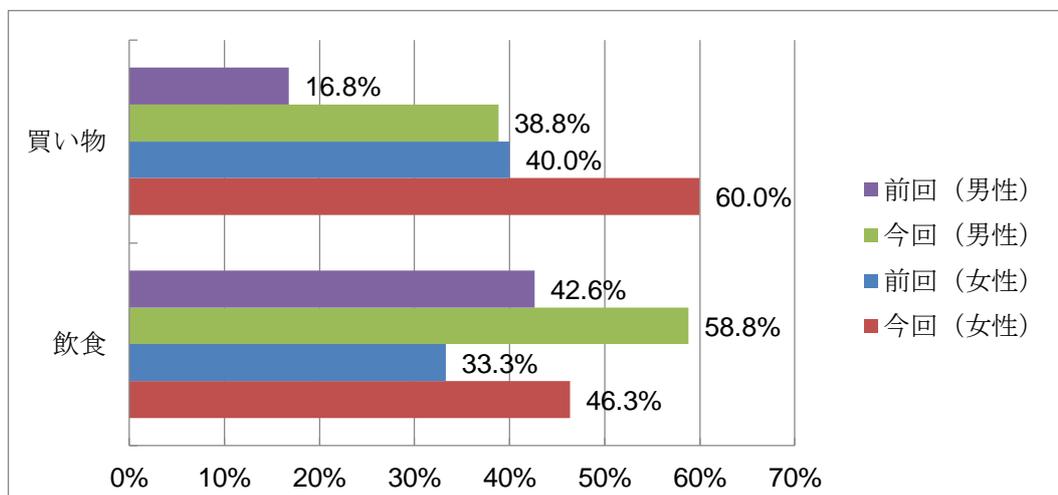
- 毎日～月1～3回程度訪れる割合が，62.7%から53.3%に減少している。



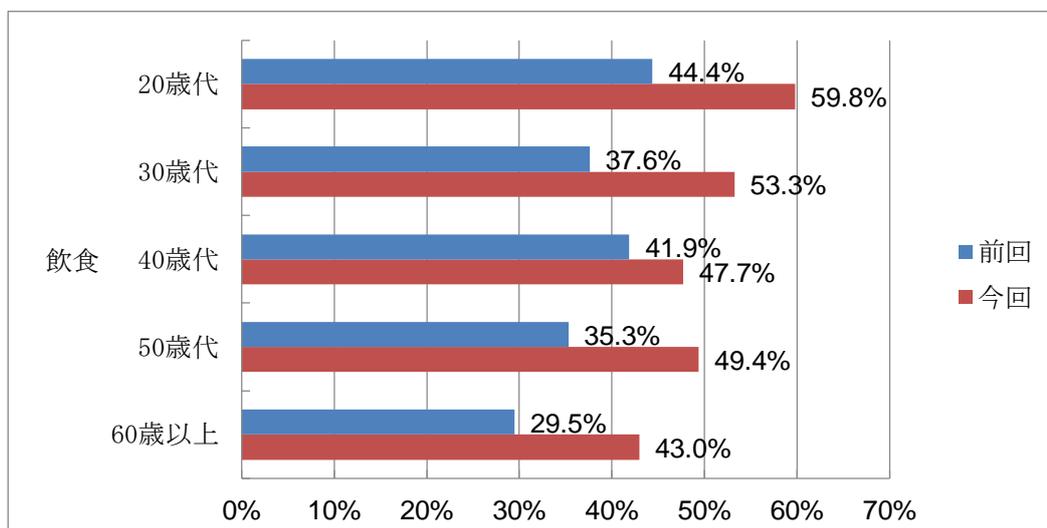
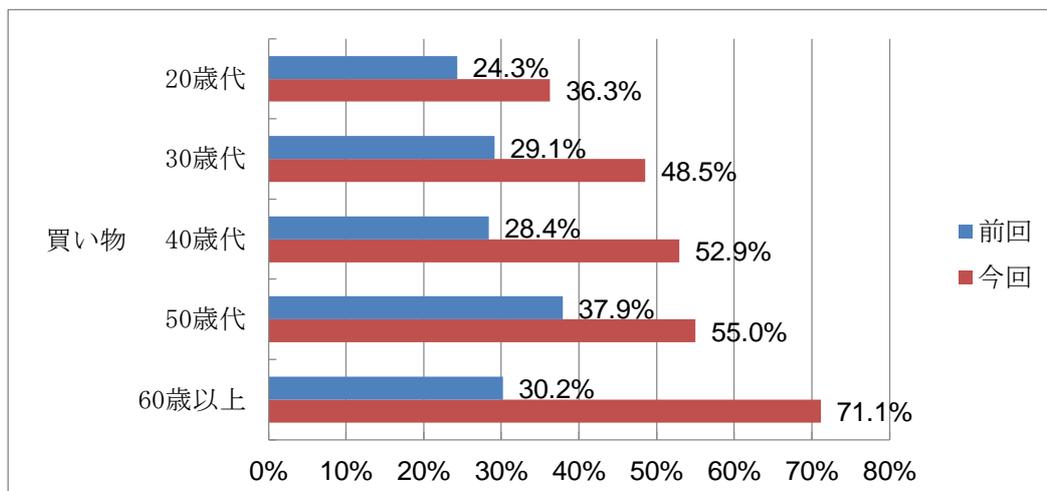
- 平日の来街目的では，「買い物」が29.5%から51.5%，「飲食」が37.3%から51.3%に大きく伸びたほか，「遊び・娯楽」・「祭り・イベント」でも増加している。通勤・通学は若干減少している。



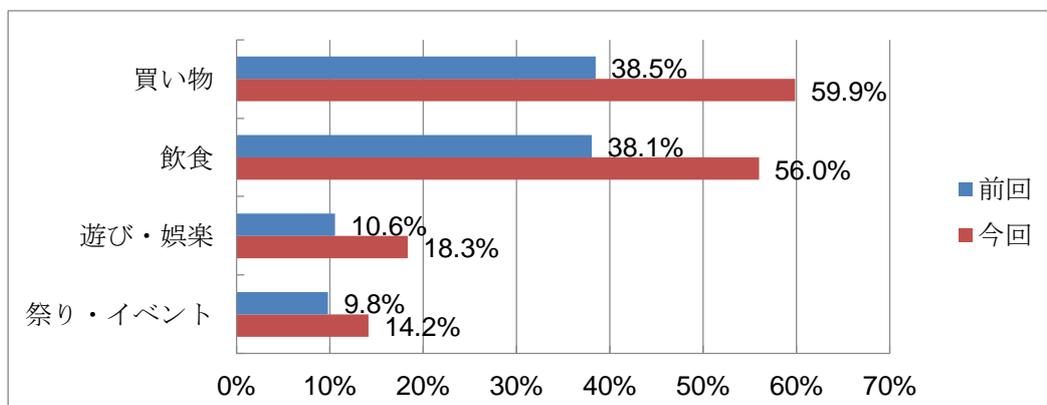
- 男女別で見ると，「買い物」・「飲食」とともに大きく伸びており，伸びの違いはみられない。



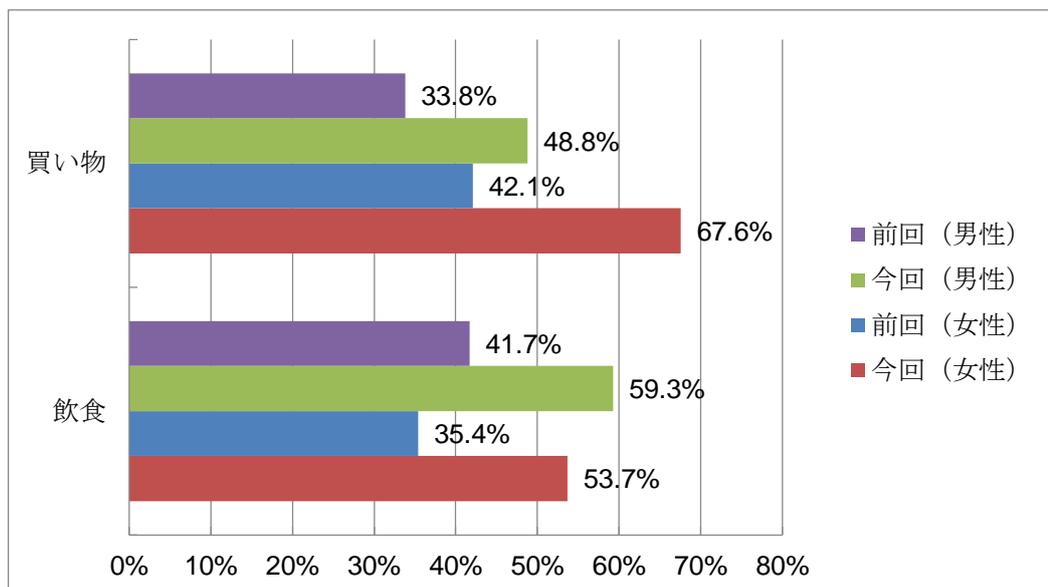
- 年齢別にみると、「買い物」では特に60歳以上に高い伸びがみられ、「飲食」では40歳代以外の年代で15%程度の伸びが見られる。



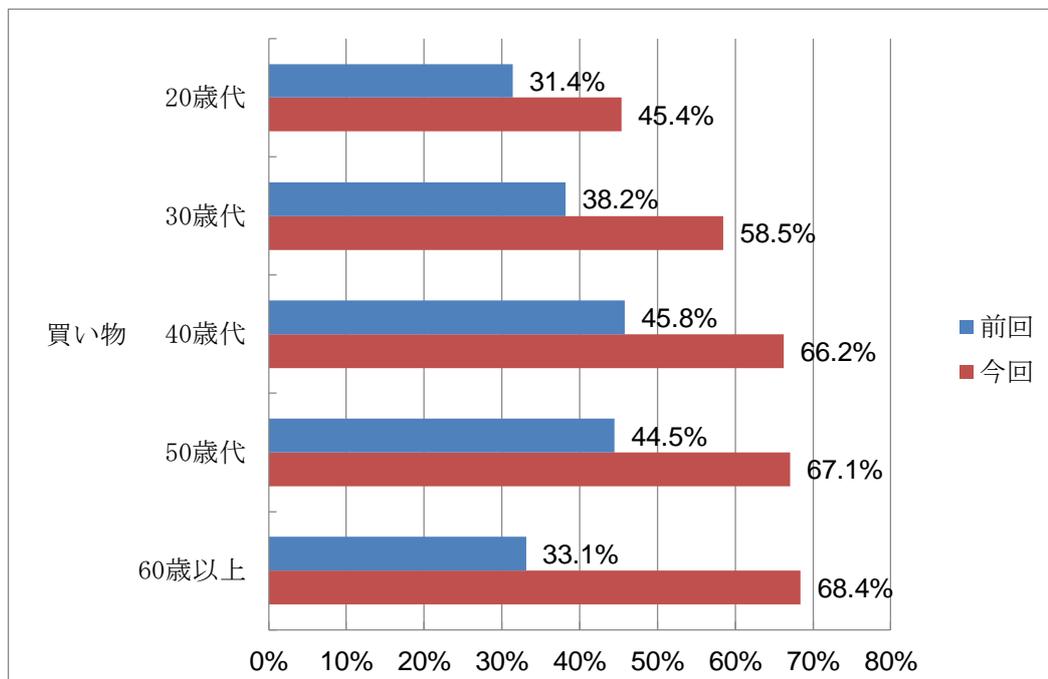
- 休日の来街目的でも、「買い物」が38.5%から59.9%に、「飲食」が38.1%から55.9%に伸び、平日同様大きな変化が見られる。

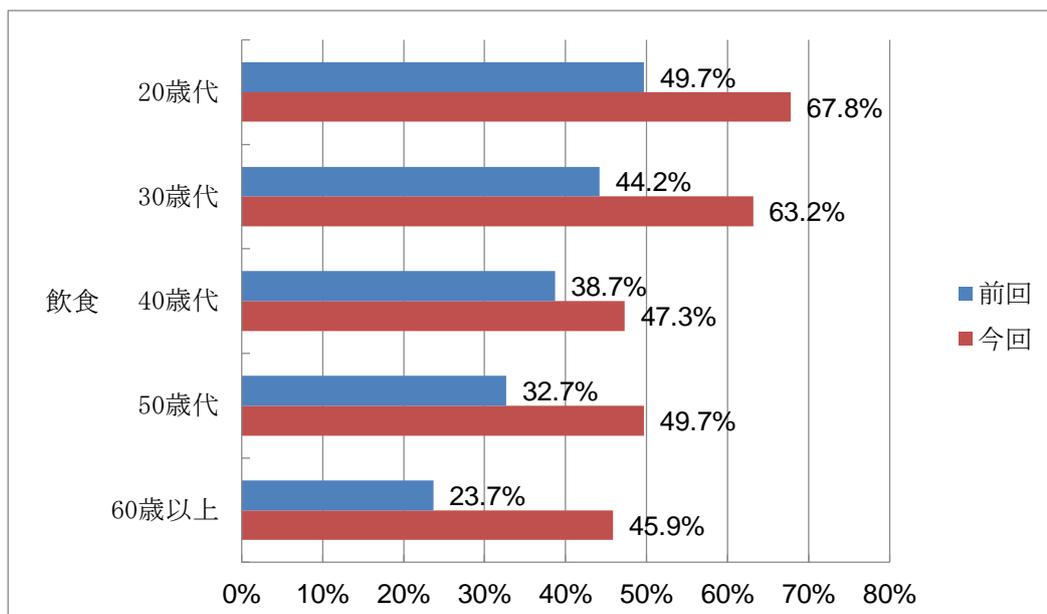


- 男女別でみると、「飲食」は男女ともに同程度の伸びだが、「買い物」では女性の伸びが大きい。



- 年齢別でみると、「買い物」では特に30歳代から60歳以上までが高い伸びを示しているが、「飲食」では40歳代以外で高い伸びを示している。





- 賑やかになってきたと感じている人の割合は7.4%と低いが，男女別では女性，年齢別では60歳以上が比較的高い（P77-78 問27参照）。

- ・ 前回アンケート調査結果との比較から，函館駅前・大門地区および，本町・五稜郭地区ともに，平日は「飲食」「遊び・娯楽」「祭り・イベント」は増加しているものの毎日来街する「通勤・通学」が減少しており，特に本町・五稜郭地区は3.2%減少しており，定量指標の歩行者通行量や来街頻度の今回調査値へ影響しているものとうかがえる
- ・ しかし，イベント開催数の増加は，ワークショップの結果などからも両地区の「遊び・娯楽」や「祭り・イベント」による来街目的の割合を増加させており，休日の歩行者通行量を増加させている要因と考えられる
- ・ ただし，これまでは既存の施設でのイベントの開催となっており，施設規模や利用形態などから新たに平日，休日に来街を増加させるイベント等の開催は難しいと考えられるが，今後も中心市街地活性化基本計画に基づく事業が実施され，新たに函館駅前および本町両地区で進められている再開発事業が平成28年度中に完成し，その建物内に平日，休日ともに集客できる「はこだてキッズプラザ（旧子育て世代活動支援プラザ）」「はこだてみらい館（旧はこだておもしろ館）」「市民交流プラザ」が整備される予定となっていることから，今後は，イベントだけではなく，散歩やサークル活動での来街が増加することにより，定量指標数の各項目の増加が期待できるものと考えられる。

■次に、中心市街地の各地区についておたずねします。あてはまるものに○をつけて下さい。

【函館駅前・大門地区についておたずねします。】

問5 どれくらいの頻度で函館駅前・大門地区に行きますか

- | |
|--|
| 1. 毎日 2. 週3回程度 3. 週1回程度 4. 月2回程度 5. 月1回程度
6. 2～3ヶ月に1回程度 7. ほとんど行かない(年に1回程度) 8. まったく行かない |
|--|

【問5で「毎日」～「2～3か月に1回程度」と答えた方におたずねします。

それ以外の方は問11にお進みください。】

問6 どれくらいの時間滞在されますか

- | |
|---|
| 1. 1時間以下 2. 2時間程度 3. 3時間程度 4. 4時間程度 5. 5時間程度
6. 6時間程度 7. 6時間以上 |
|---|

問7 平日に訪れるときの主な目的は何ですか【複数回答3つまで】

- | |
|--|
| 1. 買い物 2. 飲食 3. 通勤・通学 4. 習い事や趣味のサークル 5. 理美容
6. 遊び・娯楽(映画、キッズスタジアム等) 7. 散歩 8. 祭り・イベント 9. 銀行
10. その他() |
|--|

問8 休日に訪れるときの主な目的は何ですか【複数回答3つまで】

- | |
|--|
| 1. 買い物 2. 飲食 3. 通勤・通学 4. 習い事や趣味のサークル 5. 理美容
6. 遊び・娯楽(映画、キッズスタジアム等) 7. 散歩 8. 祭り・イベント 9. 銀行
10. その他() |
|--|

問9 主にどのような交通手段を使いますか【複数回答3つまで】

- | |
|---|
| 1. 徒歩 2. 自転車 3. 路面電車 4. バス 5. 乗用車 6. タクシー 7. バイク
8. JR 9. その他() |
|---|

問10 誰と訪れますか【複数回答3つまで】

- | |
|---|
| 1. 家族 2. 恋人 3. 友人 4. 同僚・上司 5. ひとり 6. その他() |
|---|

【問5で「ほとんど行かない」「まったく行かない」と答えた方におたずねします。】

問11 行かない理由は何ですか【複数回答3つまで】

- | |
|--|
| 1. 電車やバスなどの公共交通機関が不便 2. 魅力のあるお店が少ない 3. 飲食店が少ない
4. 楽しめる施設が少ない 5. 駐車場が少ない 6. 自転車を停めにくい
7. 歩きにくい(歩道が狭い・歩道が無いなど) 8. どこに何があるかわからない
9. その他() |
|--|

【すべての方におたずねします。】

問12 魅力あるイベントは増えたと思いますか

- | |
|---------------------------------|
| 1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない |
|---------------------------------|

問13 魅力的な商業施設（商店・飲食店）は増えたと思いますか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない

問14 公共交通（路面電車・バス）を利用して訪れる機会は増えましたか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った

問15 賑やかになってきたと感じますか

1. 感じる 2. 感じない 3. わからない

問16 住みたいと思いますか

1. 現在住んでいる 2. 住みたい 3. 条件が合えば住みたい 4. どちらともいえない
5. 住みたくない

【本町・五稜郭地区についておたずねします。】

問17 どれくらいの頻度で本町・五稜郭地区に行きますか

1. 毎日 2. 週1～4日程度 3. 月1～3回程度 4. 年に2～6回程度
5. ほとんど行かない（年に1回程度） 6. まったく行かない

【問17で「毎日」～「年に2～6回程度」と答えた方についておたずねします。

それ以外の方は、問23にお進みください。】

問18 どれくらいの時間滞在されますか

1. 1時間以下 2. 2時間程度 3. 3時間程度 4. 4時間程度 5. 5時間程度
6. 6時間程度 7. 6時間以上

問19 平日に訪れるときの主な目的は何ですか【複数回答3つまで】

1. 買い物 2. 飲食 3. 通勤・通学 4. 習い事や趣味のサークル 5. 理美容
6. 遊び・娯楽 7. 散歩 8. 祭り・イベント 9. 銀行 10. 図書館・美術館 11. 通院
12. その他（ ）

問20 休日に訪れるときの主な目的は何ですか【複数回答3つまで】

1. 買い物 2. 飲食 3. 通勤・通学 4. 習い事や趣味のサークル 5. 理美容
6. 遊び・娯楽 7. 散歩 8. 祭り・イベント 9. 銀行 10. 図書館・美術館 11. 通院
12. その他（ ）

問21 主にどのような交通手段を使いますか【複数回答3つまで】

1. 徒歩 2. 自転車 3. 路面電車 4. バス 5. 乗用車 6. タクシー 7. バイク
8. その他（ ）

問 22 誰と訪れますか【複数回答3つまで】

1. 家族 2. 恋人 3. 友人 4. 同僚・上司 5. ひとり 6. その他 ()

【問 17 で「ほとんど行かない」「まったく行かない」と答えた方におたずねします。】

問 23 行かない理由は何ですか【複数回答3つまで】

1. 電車やバスなどの公共交通機関が不便 2. 魅力のあるお店が少ない 3. 飲食店が少ない
4. 楽しめる施設が少ない 5. 駐車場が少ない 6. 自転車を停めにくい
7. 歩みにくい(歩道が狭い・歩道が無いなど) 8. どこに何があるかわからない
9. その他 ()

【すべての方におたずねします。】

問 24 魅力あるイベントは増えたと思いますか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない

問 25 魅力的な商業施設(商店・飲食店)は増えたと思いますか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. わからない

問 26 公共交通(路面電車・バス)を利用して訪れる機会は増えましたか

1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った

問 27 賑やかになってきたと感じますか

1. 感じる 2. 感じない 3. わからない

問 28 住みたいと思いますか

1. 現在住んでいる 2. 住みたい 3. 条件が合えば住みたい 4. どちらともいえない
5. 住みたくない

問 29 中心市街地の活性化について、ご意見をお聞かせください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました

■ ワークショップ資料

中心市街地活性化計画事業効果分析調査におけるワークショップ

【日時】平成27年10月29日（木）17:00～18:00

【場所】TMOビル会議室

【参加者】

座長 函館大学 西村准教授

メンバー

函館都心商店街 川上 誠 様

はこぶら編集長 安立 真由美 様

三井住友海上あいおい生命保険 日下 道子 様

北洋銀行函館中央支店 小坂 義雄 様

万代町会長 永澤 和枝 様

■開催趣旨

中活計画期間（H25～H29）の中間年である今年、中活事業として実施された事業が、計画策定時と比較して中活区域内の地域への程度の効果をもたらしているか、その状況を把握すると共に、活性化に不足しているものなど、地域の皆様からの様々なご意見をいただき、今後の中活計画の取り組みに反映させていくため、ワークショップを開催する。

■議題

- ① 別添資料（中活事業の取り組み状況）のとおり事業を実施しているが、地域（函館駅前・大門エリアおよび本町・五稜郭・梁川・中島エリア）では、平成25年度（以前？）と比較して、どの程度の活性化の効果を感じているか。
- ② 中活計画事業の効果をより感じるために必要な取り組みなどのアイデア（ソフト施策中心に）を聴取

■成果

- ・効果や問題点などのグループ化
- ・効果を上げるアイデアの集約

中心市街地活性化基本計画掲載事業の取り組み状況について

分野1 市街地の整備改善のための事業

page 1

No	事業計画	事業主体	登載実施年度	現在の取り組み状況等
1	グリーンプラザの整備	市	H26~28	整備内容について検討中
2	市道広小路整備事業	市	H26~28	同上
3	市道ときわ通改築事業	市	H25	H25年度 完成済み
4	市道放射2-2号線歩道整備事業	市	H26~27	整備内容について再検討中
5	市道ときわ通歩道整備事業	市	H26	H26年度 完成済み
6	歩行者用案内サインの設置	市	H25	H25年度 完成済み 19基設置
7	アーケード撤去事業	函館都心商店街 振興組合	H26~27	8月 撤去開始予定, 10月 終了予定
8	事業効果分析調査	市	H27~29	H27年度 実施予定
9	函館駅前若松地区第一種市街地再開発事業	株NAアーバン デベロップメント	H24~28	事業実施中
10	函館本町地区優良建築物等整備事業	S P C函館本町 開発㈱	H26~28	事業実施中
11	函館南茅部線五稜郭交差点地下歩道修繕事業	北海道	H27~28	事業着手済み
12	駅前環境美化推進事業	市	H24~29	5月より植栽開始

分野2 都市福祉施設を整備する事業

No	事業計画	事業主体	登載実施年度	現在の取り組み状況等
13	子育て世代活動支援プラザ整備事業	市	H26~28	設置条例, 指定管理者選定作業開始
14	はこだておもしろ館整備事業	市	H26~28	
15	市民交流プラザ整備事業	市	H27~29	H27年度 整備基本計画策定, 実施設計 プロポーザル実施予定 H27~28年度 GLAYをモチーフと したレリーフおよびからくり時計を制作, 設置予定
16	ふれあいセンター整備事業	NPO法人日本障 害者・高齢者生活 支援機構	H25~26	H25年度 完成済み
17	大門キッズスタジアム事業	市	H22~27	H25年6月より 棒二アネックス6階で 開設
18	福祉ボランティアセンター整備事業	市	H28	整備内容について検討中
19	高齢者サロン整備事業	市	H28	整備内容について検討中
20	観光センター整備事業	市	H25~27	整備内容について再検討中
21	ジョブカフェ・ジョブサロン運営事業	道, 市	H24~	テーオー小笠原 6階で開設

分野3 住宅供給および居住環境向上のための事業

No	事業計画	事業主体	登載実施年度	現在の取り組み状況等
22	函館駅前若松地区第一種市街地再開発事業	株NAアーバン デベロップメント	H24~28	5階~16階 84戸予定 現在, 販売中
23	函館本町地区優良建築物等整備事業	S P C函館本町 開発㈱	H26~28	5階~19階 73戸予定 6月下旬より 販売予定
24	街なか居住支援事業	市	H25~	H25~26年度実績 中活エリアは10件 (全体で36件)

中心市街地活性化基本計画掲載事業の取り組み状況について

分野 4 商業活性化のための事業および措置

page 2

No	事業計画	事業主体	登載実施時期	現在の取り組み状況等
25	大規模小売店舗立地法の特例措置		H26～	H27 北海道へ大店立地法の特例区域設定に関する相談票提出
26	渡島ドーム整備事業	(株)函館朝市まちづくりの会	H25	H25年度 完成
27	複合施設「五稜郭ガーデン」整備事業	(株)まちづくり五稜郭	H27	H25年度 調査事業実施, H26年度 補助申請採択, H27年度 オープン 旧事業名 G-site整備事業
28	函館駅前若松地区第一種市街地再開発事業	㈱NAアーバン デベロップメント	H24～28	地下1階～2階 商業施設 3～4階 公共施設
29	中心市街地出店促進事業	市	H25～	H25～26年度実績 駅前・大門地区10件, 本町・五稜郭・梁川地区5件, その他の地区3件
30	はこだてコミュニティ整備事業	民間	H27	H27年度 国の補助金申請予定
31	函館本町地区優良建築物等整備事業	S P C函館本町 開発㈱	H26～28	地下1階～3階 商業施設 4階 公共施設
32	情報通信技術を活用した誘客および販売促進講座	はこだて雇用創造 推進協議会	H24～26	H24～26年度実績 82社参加
33	経営強化に関するセミナー	はこだて雇用創造 推進協議会	H24～26	H24～26年度実績 144社参加
34	中心市街地での起業家育成講座	はこだて雇用創造 推進協議会	H24～26	H24～26年度実績 46人参加
35	新規開業者利子補給事業	函館商工会議所	H25～	H25～26年度実績 3件
36	函館市中小企業融資制度の拡充	市	H25～	H25～26年度実績 7件
37	チャレンジオフィス事業	函館街づくり開発 ㈱	H24～	H24開設 現在, 10室のうち4室入居 済み
38	元気いっぱい商店街等支援事業	市	H23～	H26年度実績 中活エリア内9団体の うち, 8団体が活用
39	中島販売露店条例の整備	市	H25～	整備について検討中
40	福祉ショップ運営支援事業	市	H24～	駅前通の空き店舗でH24年度より開設
41	函館港まつり	函館港まつり実行 委員会	S10～	8月1日(金)～5日(火)
42	てくてくはこだて	てくてくはこだて 実行委員会	H23～	7コース設定(まちあるきマップ26コース 作成)
43	大門合同学生祭	㈱はこだてティ ームオー, 実行委 員会	H13～	7月11日(土)～12日(日)
44	大門サンフェスタジャズストリート	函館都心商店街 振興組合	H15～	7月18日(土)
45	大門音楽祭	函館市中心街まち づくり協議会	H16～	H27年度 開催日未定
46	大門バル	㈱はこだてティ ームオー	H21～	6月19日(金), 12月4日(金), 2月26日(金)
47	はこだてスイーツフェスタ	函館スイーツ推進 協議会	H22～	10月23日(金)～25日(日)
48	中島三郎助祭	中島町商店街振興 組合	H7～	5月15日(金)～16日(土)
49	中島れんばい横丁	NPO法人日本障 害者・高齢者生活 支援機構	H20～	H27年度 開催日未定
50	箱館五稜郭祭	箱館五稜郭祭協賛 会	S45～	5月16日(土)～17日(日)
51	市民創作 函館野外劇	NPO法人市民創 作「函館野外劇」 の会	S63～	7月18日(土)～8月16日(日)の 間で, 11回開催

[議案第3号] 中心市街地活性化基本計画掲載事業の取り組み状況について

分野5 公共交通機関の利便性の増進のための事業

page 3

No	事業計画	事業主体	登載実施時期	現在の取り組み状況等
52	バス停留所上屋整備事業	市	H26～29	整備箇所等について検討中
53	電車停留所整備事業	市	H25～29	H26年度 函館駅前電停整備完了 H27年度 五稜郭公園前電停整備予定 中央病院前電停の実施設計予定
54	観光等案内情報端末整備事業	市	H25～29	H27年度 スマートフォン用乗換案内 アプリケーション開発予定
55	超低床車両導入事業	市	H25～	H26年 1月導入済み
56	電動アシスト付き自転車レンタルサービス事業	北海道新幹線新函館開業対策推進機構	H22～	4月11日(土)～ 貸出拠点 3か所
57	Wi-Fi環境整備事業	市, 民間	H24～	外国人観光客等の受入体制の強化を図るため, H27年度は市内主要観光エリアに無線ルーターを250箇所設置予定

中心市街地活性化計画事業効果分析調査におけるワークショップ

【日時】平成27年11月13日（金）18:00～19:30

【場所】五稜郭ビル6F（本町25-13）

■開催趣旨

中活計画期間（H25～H29）の中間年である今年、中活事業として実施された事業が、計画策定時と比較して中活区域内の地域への程度の効果をもたらしているか、その状況を把握すると共に、活性化に不足しているものなど、地域の皆様からの様々なご意見をいただき、今後の中活計画の取り組みに反映させていくため、ワークショップを開催する。

■議題

- ① 別添資料（中活事業の取り組み状況）のとおり事業を実施しているが、地域（函館駅前・大門エリアおよび本町・五稜郭・梁川・中島エリア）では、平成25年度（以前？）と比較して、どの程度の活性化の効果を感じているか。
- ② 中活計画事業の効果をより感じるために必要な取り組みなどのアイデア（ソフト施策中心に）を聴取

■成果

- ・効果や問題点などのグループ化
- ・効果を上げるアイデアの集約

中心市街地活性化基本計画掲載事業の取り組み状況について

分野1 市街地の整備改善のための事業

page 1

No	事業計画	事業主体	登載実施年度	現在の取り組み状況等
1	グリーンプラザの整備	市	H26~28	整備内容について検討中
2	市道広小路整備事業	市	H26~28	同上
3	市道ときわ通改築事業	市	H25	H25年度 完成済み
4	市道放射2-2号線歩道整備事業	市	H26~27	整備内容について再検討中
5	市道ときわ通歩道整備事業	市	H26	H26年度 完成済み
6	歩行者用案内サインの設置	市	H25	H25年度 完成済み 19基設置
7	アーケード撤去事業	函館都心商店街 振興組合	H26~27	8月 撤去開始予定, 10月 終了予定
8	事業効果分析調査	市	H27~29	H27年度 実施予定
9	函館駅前若松地区第一種市街地再開発事業	株NAアーバン デベロップメント	H24~28	事業実施中
10	函館本町地区優良建築物等整備事業	S P C函館本町 開発㈱	H26~28	事業実施中
11	函館南茅部線五稜郭交差点地下歩道修繕事業	北海道	H27~28	事業着手済み
12	駅前環境美化推進事業	市	H24~29	5月より植栽開始

分野2 都市福祉施設を整備する事業

No	事業計画	事業主体	登載実施年度	現在の取り組み状況等
13	子育て世代活動支援プラザ整備事業	市	H26~28	設置条例, 指定管理者選定作業開始
14	はこだておもしろ館整備事業	市	H26~28	
15	市民交流プラザ整備事業	市	H27~29	H27年度 整備基本計画策定, 実施設計 プロポーザル実施予定 H27~28年度 GLAYをモチーフと したレリーフおよびからくり時計を制作, 設置予定
16	ふれあいセンター整備事業	N P O法人日本障 害者・高齢者生活 支援機構	H25~26	H25年度 完成済み
17	大門キッズスタジアム事業	市	H22~27	H25年6月より 棒二アネックス6階で 開設
18	福祉ボランティアセンター整備事業	市	H28	整備内容について検討中
19	高齢者サロン整備事業	市	H28	整備内容について検討中
20	観光センター整備事業	市	H25~27	整備内容について再検討中
21	ジョブカフェ・ジョブサロン運営事業	道, 市	H24~	テーオー小笠原 6階で開設

分野3 住宅供給および居住環境向上のための事業

No	事業計画	事業主体	登載実施年度	現在の取り組み状況等
22	函館駅前若松地区第一種市街地再開発事業	株NAアーバン デベロップメント	H24~28	5階~16階 84戸予定 現在, 販売中
23	函館本町地区優良建築物等整備事業	S P C函館本町 開発㈱	H26~28	5階~19階 73戸予定 6月下旬より 販売予定
24	街なか居住支援事業	市	H25~	H25~26年度実績 中活エリアは10件 (全体で36件)

中心市街地活性化基本計画掲載事業の取り組み状況について

分野4 商業活性化のための事業および措置

page 2

No	事業計画	事業主体	掲載実施時期	現在の取り組み状況等
25	大規模小売店舗立地法の特例措置		H26～	H27 北海道へ大店立地法の特例区域設定に関する相談票提出
26	渡島ドーム整備事業	(株)函館朝市まちづくりの会	H25	H25年度 完成
27	複合施設「五稜郭ガーデン」整備事業	(株)まちづくり五稜郭	H27	H25年度 調査事業実施, H26年度 補助申請採択, H27年度 オープン 旧事業名 G-site整備事業
28	函館駅前若松地区第一種市街地再開発事業	㈱NAアーバンデベロップメント	H24～28	地下1階～2階 商業施設 3～4階 公共施設
29	中心市街地出店促進事業	市	H25～	H25～26年度実績 駅前・大門地区10件, 本町・五稜郭・梁川地区5件, その他の地区3件
30	はこだてコミュニティ整備事業	民間	H27	H27年度 国の補助金申請予定
31	函館本町地区優良建築物等整備事業	S P C函館本町開発㈱	H26～28	地下1階～3階 商業施設 4階 公共施設
32	情報通信技術を活用した誘客および販売促進講座	はこだて雇用創造推進協議会	H24～26	H24～26年度実績 82社参加
33	経営強化に関するセミナー	はこだて雇用創造推進協議会	H24～26	H24～26年度実績 144社参加
34	中心市街地での起業家育成講座	はこだて雇用創造推進協議会	H24～26	H24～26年度実績 46人参加
35	新規開業者利子補給事業	函館商工会議所	H25～	H25～26年度実績 3件
36	函館市中小企業融資制度の拡充	市	H25～	H25～26年度実績 7件
37	チャレンジオフィス事業	函館街づくり開発㈱	H24～	H24開設 現在, 10室のうち4室入居済み
38	元気いっぱい商店街等支援事業	市	H23～	H26年度実績 中活エリア内9団体のうち, 8団体が活用
39	中島販売露店条例の整備	市	H25～	整備について検討中
40	福祉ショップ運営支援事業	市	H24～	駅前通の空き店舗でH24年度より開設
41	函館港まつり	函館港まつり実行委員会	S10～	8月1日(金)～5日(火)
42	てくてくはこだて	てくてくはこだて実行委員会	H23～	7コース設定(まちあるきマップ26コース作成)
43	大門合同学生祭	㈱はこだてティームオー, 実行委員会	H13～	7月11日(土)～12日(日)
44	大門サンフェスタジャズストリート	函館都心商店街振興組合	H15～	7月18日(土)
45	大門音楽祭	函館市中心街まちづくり協議会	H16～	H27年度 開催日未定
46	大門バル	㈱はこだてティームオー	H21～	6月19日(金), 12月4日(金), 2月26日(金)
47	はこだてスイーツフェスタ	函館スイーツ推進協議会	H22～	10月23日(金)～25日(日)
48	中島三郎助祭	中島町商店街振興組合	H7～	5月15日(金)～16日(土)
49	中島れんばい横丁	NPO法人日本障害者・高齢者生活支援機構	H20～	H27年度 開催日未定
50	箱館五稜郭祭	箱館五稜郭祭協賛会	S45～	5月16日(土)～17日(日)
51	市民創作 函館野外劇	NPO法人市民創作「函館野外劇」の会	S63～	7月18日(土)～8月16日(日)の間で, 11回開催

[議案第3号] 中心市街地活性化基本計画掲載事業の取り組み状況について

分野5 公共交通機関の利便性の増進のための事業

page 3

No	事業計画	事業主体	登載実施時期	現在の取り組み状況等
52	バス停留所上屋整備事業	市	H26～29	整備箇所等について検討中
53	電車停留所整備事業	市	H25～29	H26年度 函館駅前電停整備完了 H27年度 五稜郭公園前電停整備予定 中央病院前電停の実施設計予定
54	観光等案内情報端末整備事業	市	H25～29	H27年度 スマートフォン用乗換案内 アプリケーション開発予定
55	超低床車両導入事業	市	H25～	H26年 1月導入済み
56	電動アシスト付き自転車レンタルサービス事業	北海道新幹線新函館開業対策推進機構	H22～	4月11日(土)～ 貸出拠点 3か所
57	Wi-Fi環境整備事業	市, 民間	H24～	外国人観光客等の受入体制の強化を図るため, H27年度は市内主要観光エリアに無線ルーターを250箇所設置予定

■ 個別ヒアリング資料

有識者への個別ヒアリング

【有識者】

- 独立行政法人国立高等専門学校機構 函館工業高等専門学校 准教授 奥平 理氏
- 株式会社日本政策金融公庫 函館支店 支店長 久木田 眞郎氏

【依頼内容】

中心市街地活性化基本計画事業効果分析調査結果（アンケートおよびワークショップ）に対する総評の作成（400～800 字程度）

※ 以下の3点を含む

- ・ アンケート、ワークショップの考察
- ・ 事業の進捗に関する考察（事業の進捗状況の表を参考に）
- ・ 商店街など地域の動きに関する感想を元に事業の進捗と効果についての評価コメント（「順調」または「改善が必要」）